



大型クラゲ情報 第 2 8 号

平成 1 7 年 7 月 2 0 日
石川県水産総合センター

1 . 県内状況

- (1) 定置網
入網情報はありません。
- (2) 底びき網
入網情報はありません。

2 . 他県情報

長崎県対馬南端の^{つつざき}豆敷崎定置に入網情報有り
 7 月 8 日 1 0 ~ 1 5 個体
 7 月 9 日 1 0 0 個体の入網有り 傘径 2 5 ~ 3 0 c m の小型個体
 7 月第 3 週後半に多数入網の情報有り

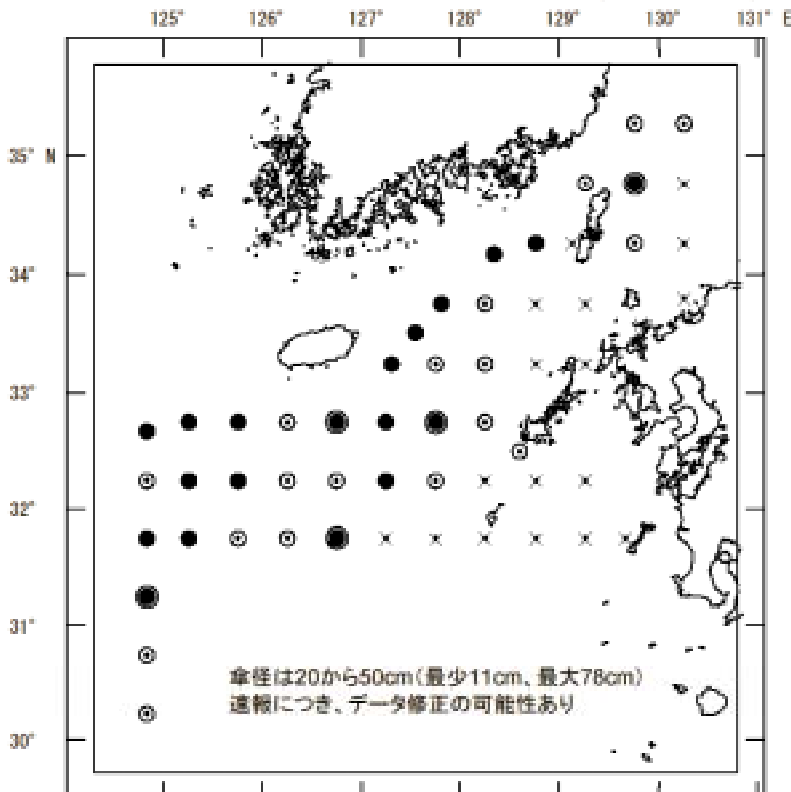
3 . 水研調査情報

水産総合研究センター西海区水産研究所陽光丸が実施した海洋観測で、7 月 1 0 日及び 7 月 1 1 日の両日長崎県対馬北東沖で本年初めて確認されました。

陽光丸の 7 月 8 日から 7 月 2 0 日までの航海での出現状況は下図のとおりです

大型クラゲ出現速報

水産総合研究センター
西海区水産研究所
陽光丸第 5 次航海
(2005.07.08-07.20)



- 非常に多い
- 多い
- 出現有り
- x 出現無し

昨年までの同時期調査情報

陽光丸 2 0 0 4 年調査では、7 月 1 0 日から 1 4 日にかけて、東シナ海韓国済州島南方海域でエチゼンクラゲを目視
 2 0 0 4 年 8 月 6 日長崎県対馬北東沖で水産大学校練習船「天鷹丸」が目撃
 2 0 0 3 年 8 月 1 9 日島根県浜田沖トロール調査で 4 0 ~ 5 0 個体の入網があった。



大型クラゲ情報

第29号

平成17年7月26日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

(1) 定置網

入網情報はありません。

(2) 底びき網

入網情報はありません。

2. 他県情報等

大型クラゲ情報第28号でもお知らせしましたが、長崎県対馬市、豆酸崎定置では最近500個体以上が入網しています。広島大学「豊潮丸」では、対馬の西方海域で数十mに1個体、多い場所では15m四方に20～30個体が観測されています。傘径は20～60cm。

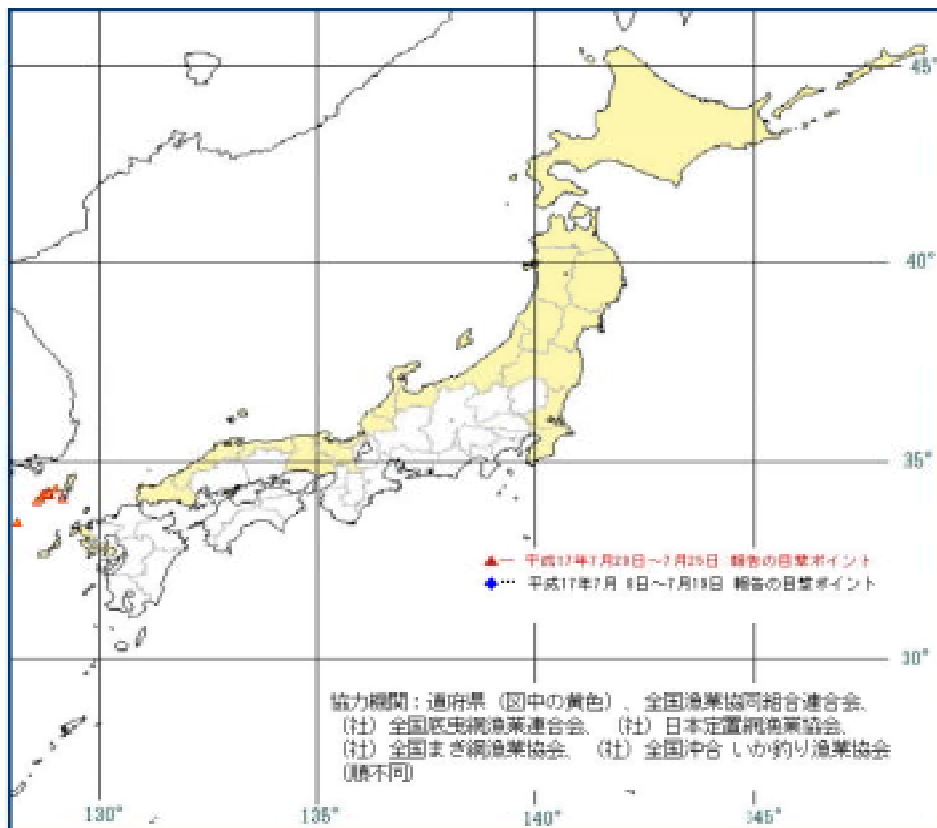
3. 今後の見通し

東シナ海や黄海で発生したクラゲの「通り道」となる対馬での観測結果では、連日多い日では500個体以上、少ない日でも20～30個体が入網しています。

現在の分布域は、対馬東方沖合いまで観察されているようですが、沿岸での観察は報告されていません。今後対馬暖流によって北上すれば、8月下旬頃には能登半島沖に来遊することが予想されます。現在台風7号が接近していますが、台風の影響で来遊が早まることも考えられます。

今後はクラゲの動向について十分に注意する必要があります。

大型クラゲ(Nemopsis nomurai)目撃情報マップ





大型クラゲ情報

第30号

平成17年8月 2日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

(1) 定置網

入網情報はありません。

(2) 底びき網

入網情報はありません。

2. 他県情報

7月26日以降、島根県沖合においても目撃及び大中型まき網漁業、定置網漁業で入網があったという情報が寄せられております。

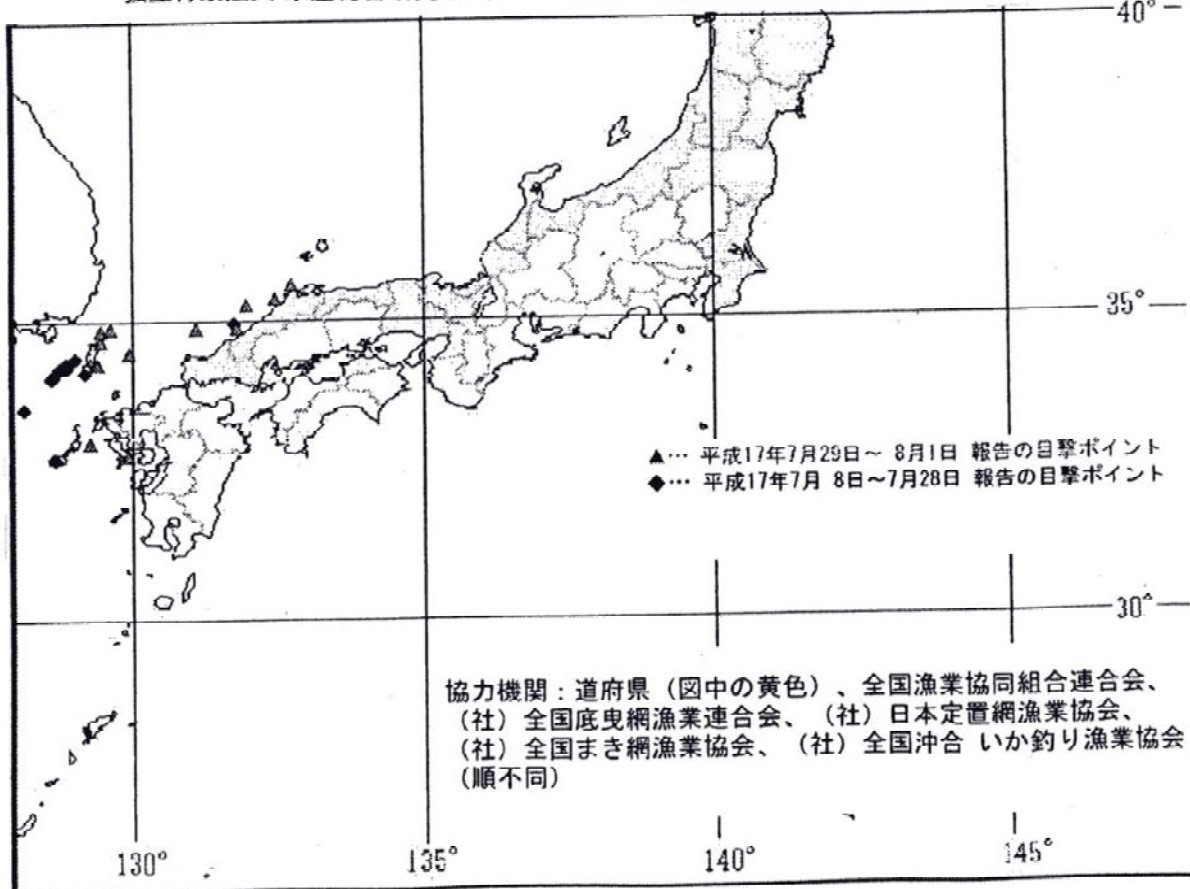
長崎県対馬周辺、壱岐島周辺、五島灘及び橘等島広範囲の海域に目撃情報及び入網情報が寄せられています。

両県共に目撃及び入網は2003年よりも多いとの情報です、今後の動向に充分注意をしていきたいと思っております。

県内で目撃、入網等がありましたら水産総合センターまでご連絡をお願いいたします。

大型クラゲ(*Nemopilema nomurai*) 目撃情報マップ

独立行政法人 水産総合研究センター 日本海区水産研究所 平成17年8月1日 更新





大型クラゲ情報

第 3 1 号

平成 1 7 年 8 月 1 0 日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

(1) 定置網

入網情報はありません。

(2) 底びき網

入網情報はありません。

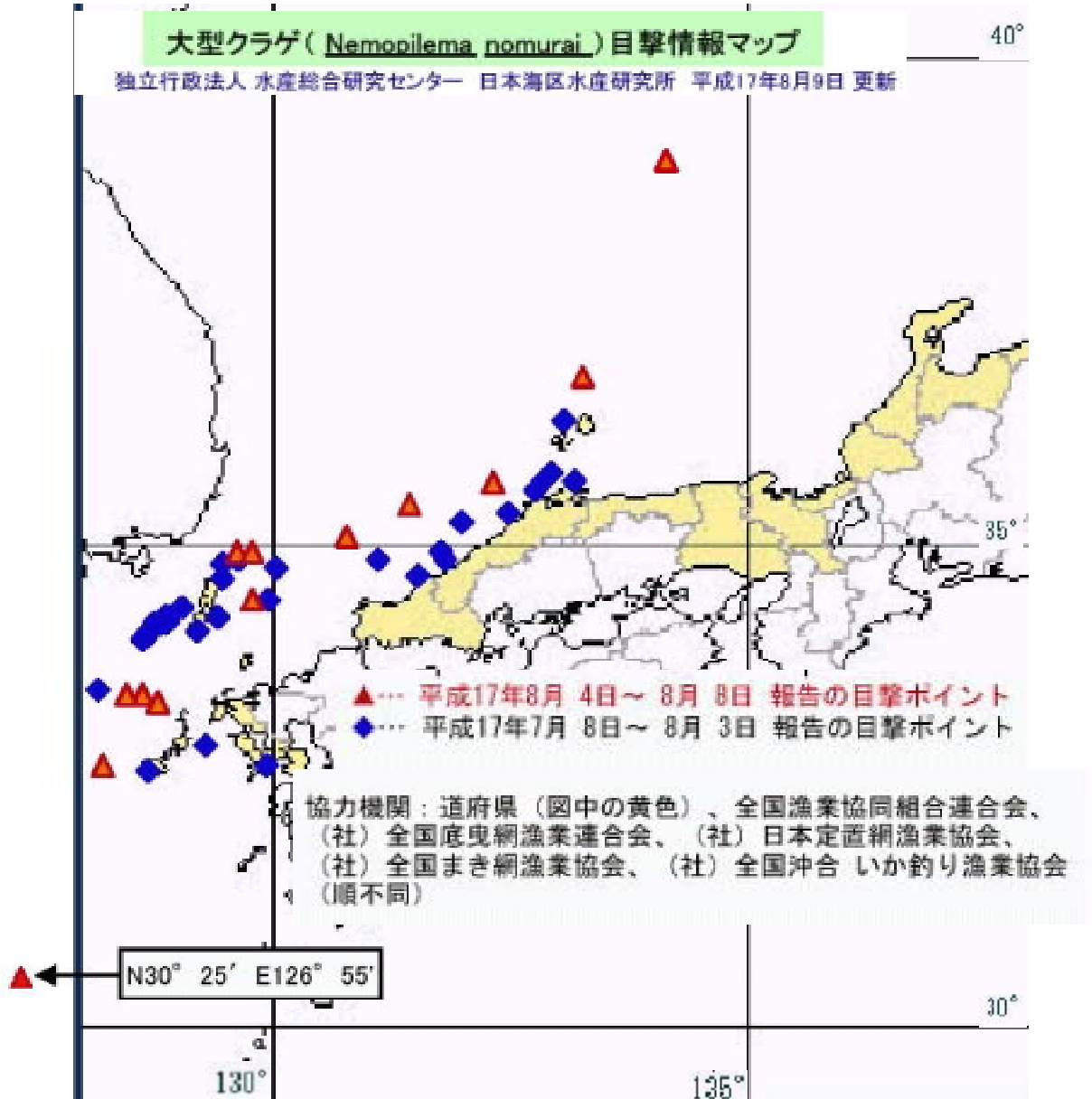
2. 他県情報

8月3日大和堆での沖合底びき網操業で、傘径1mのエチゼンクラゲがかけ回し1操業当たり3~4個体の入網、その他まき網及び以西底びき網操業での入網情報あり

8月5日経ヶ岬北北西30マイル沖で大中型まき網で12トンのクラゲ入網

8月9日山口県阿武町宇田郷地先の定置網で20~30個/網、見島周辺で小手繰り網で大量入網(2隻は網破損) 島根県水産試験場調査船島根丸でのクラゲ対策網試験操業中大量入網(推定5トン)で網を切断したとの情報が寄せられています。

この他、日水研の目撃情報マップは下図で、クラゲ出現情報集は次ページに掲載。目撃海域が石川県方面に広がってきましたので、今後の動向に要注意。





大型クラゲ情報

第32号

平成17年8月17日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

(1) 定置網

美川定置	8月16日	3個体入網	傘径50cm
曾々木定置	8月17日	1個体入網	傘径40~50cm

(2) 底びき網

入網情報はありません。

(3) 刺し網漁業等

入網情報はありません。

2. 他県情報

8月11日島根水試試験船の益田沖での小型用クラゲ対策網操業で曳網距離0.8マイル(曳網時間28分)で約50kg入網(水深120m)、クラゲ排出口を閉めて操業、曳網距離0.8マイルで1トン以上の入網有り(水深132m)。

8月10日鳥取水試試験船の浜田沖の沖合底びき試験操業で22~215kgの入網が有りました(水深457~924m)。

兵庫県では、大型定置網に8月9日1個体、8月10日1個体、8月11日3個体の入網がありました。

京都府では京丹後市の大型定置網で8月11日1個体、8月12日3~4個体の入網、伊根町の大型定置網に8月12日1個体、8月13日3個体、8月17日3個体、2個体、舞鶴市の大型定置網に8月17日1個体の入網がありました。

福井県では、8月9日36°45.9N、135°49.8Eで約50cmの大型クラゲ1個体が目視されています。

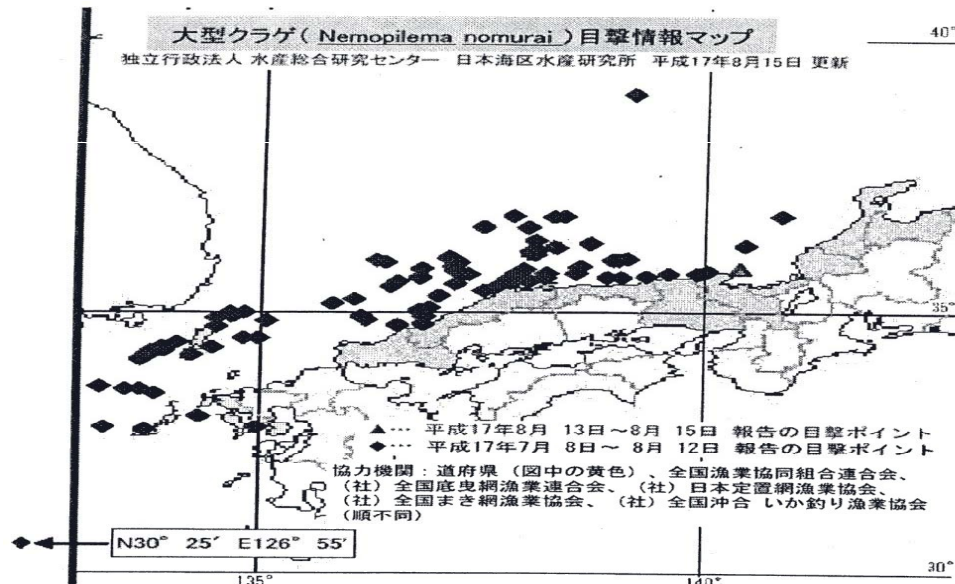
大型クラゲ目撃情報マップは次ページに記載してあります。

3. その他

8月11日県庁で県内漁業関係者の参加を求め大型クラゲ(エチゼンクラゲ)来遊に係る連絡会議を開催いたしました。

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には速やかな情報の提供をお願いします。





大型クラゲ情報

第33号

平成17年8月26日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

(1) 定置網

加賀市	8月16日以降	1~40個体ほぼ毎日入網	傘径40~100cm
	8月26日	70個体及び20個体入網	
富来町	8月18日	1個体入網	傘径50cm
羽咋市	18日/19日	1~4個体入網	傘径50cm
門前町	8月22日	7個体入網	傘径60~70cm
輪島市	8月25日	100個体入網	
	8月26日	100個体、40個体、4個体の入網	

(2) 底びき網

加賀市 8月21日 大和堆操業で1曳網当たり約30個体

(3) 刺し網漁業等

輪島市	8月17日	100個体	
加賀市	8月19日	1個体	こぎ刺し網
	21日	1個体	こぎ刺し網
内灘町	8月19日	1個体	傘径50cm
	8月19日	1個体	傘径50cm

(4) ごち網

柴垣	8月17日	6個体	傘径70cm
	8月18日	7個体	傘径70cm
内灘町	8月24日	1個体	傘径70cm
富来町	8月26日	1隻出漁するも大量のクラゲで操業中止	

県内各地の各種漁業種類に入網の報告が続々と寄せられています、8月21日輪島市の小型底ひき網組合がクラゲ対策網の試験操業を実施しました、この際にも第一回目の網に6個体(傘径70~92cm)第二回目の網に5個体(傘径83~110cm)の入網がありました。まだ内浦での入網報告はありませんが、新潟県佐渡市の大型定置網及び名立市のごち網及び刺し網の入網報告もあり充分注意を払ってください。

9月1日に底ひき網が解禁となります、操業場所によっては入網の可能性も考えられますので充分注意をされて操業してください。

2. 他県情報

8月19日 新潟県で大型クラゲの入網情報が出されました。佐渡市の大型定置網2ヶ所にそれぞれ1個体の入網、8月21日に本土側の名立市でごち網で1~6個体、刺し網で1個体の入網が報告されています。

3. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には速やかな情報の提供をお願いします。



大型クラゲ情報

第34号

平成17年8月30日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

(1) 定置網

加賀市	8月27日	45個体入網
	28日	1個体入網
輪島市	8月26日	40個体、1～2個体の入網
すずし	8月27日/28日/29日	2～8個体入網

(2) 底びき網

情報はありません

(3) 刺し網漁業等

加賀市 操業日毎に 1～2個体 こぎ刺し網・刺し網

(4) ごち網

志賀町	8月28日	一網50個体入網傘径60～100cm
高浜町	8月29日	一隻大量入網により操業中止 一隻大量入網により破網

県内各地の各種漁業種類に入網の報告が続々と寄せられています、8月27日までの定置網での入網情報が8月29日及び8月30日と少なくなりました(30日は潮流が早い状況)が、外浦中部でのごち網操業で8月28日と29日に大量入網の情報がありました。

9月1日に底びき網が解禁となります、操業場所によっては大量入網の可能性も考えられますので充分注意をされて操業してください、底びき各船の安全操業を祈念しております。

2. 他県情報

8月24日 兵庫県沖の沖合底びき網漁場でトロール試験操業時に大型クラゲの入網情報が出されました。

- 1) 兵庫県浜坂沖(35°54.10'N、134°21.92'E、水深310m)
3～4個体 傘径30～70cm(広げた状態)
- 2) 兵庫県浜坂沖(35°51.62'N、134°22.47'E、水深276m)
3個体 傘径30.40.70cm(広げた状態)

8月26日京都府京丹後市三津沖の大型定置網1ヶ所に300～400個体の大型クラゲの入網がありました、傘径は50～60cmでクラゲには活力があったという情報がありました。

3. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には速やかな情報の提供をお願いします、また、直接漁業者の方へ電話等で取材をすることもありますのでご協力をお願いいたします。



大型クラゲ情報

第35号

平成17年9月2日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

1) 底びき網

底びき網が9月1日解禁となりましたが、当日の大型クラゲの入網情報をお知らせします。

加賀地区

90～110m水深で大量に入網し、一部漁船で網が破網した。

金沢地区

主に500m前後で操業した船が多く、ほとんど入網がみられずたまに2、3個体入網した。

福浦地区

450～600mで操業する船と150m前後で操業する船にわかれていたが、深い漁場では2、3個体入網する程度で大きさも40～50cm程度と小型、浅場ではほとんど入網がない状況

羽咋～富来地区

いくらか入網していたようだが大きな支障がない状況

輪島市地区

100m前後で操業していた漁船の一部で大量入網があり、破網した漁船もある。その他の海域では10個体程度の入網がみられた。

珠洲～内浦地区

禄剛崎沖合200m前後で1m程度のものが2個体入網した。また、300m前後では1網あたり3～5個体程度入網がみられた。長手崎沖250m前後では、1～3個体程度の入網。

(参考)

三国沖合の水深100m前後で操業していた福井県三国の底びき網漁船に大量の大型クラゲが入網し操業に支障有りとの情報。

2) 定置網

すずし漁協 9月1日 40～50個体入網

2. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には速やかな情報の提供をお願いします。

また、直接漁業者の方へ電話等で聞き取りすることもありますのでご協力をお願いいたします。



大型クラゲ情報

第36号

平成17年9月13日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

1) 底びき網

加賀地区では、水深400m～500mのエビ・カレイ場で入網は数個体程度、ごち網では水深45m～50mで場所によっては200個体以上入網しています。

金沢地区のエビ場では、今まで数個体程度であったが20～30個体と増加しています。

輪島地区では、猿山沖のカレイ場の100m以浅で依然多くの入網があります。

金沢地区や輪島地区などでは、クラゲ対策の仕切り網を使用していますが、網目が2尺と大きいことから通過してしまうようです。

2) 定置網

9月7日に通過した台風14号の影響で外浦・内浦の定置網が大きな被害を受けたため、入網の情報はありません。

9月12日に操業を開始した能登島沖の大敷網では、初日に10個体の入網がありました。また漁業取締船からは祿剛埼沖1マイルで3個体の大型クラゲが確認されるように、内浦海域でも来遊が確認されています。

3) その他の漁業

加賀から金沢沖にかけての沿岸では、刺網や釣りの漁具にクラゲがかかり、思うような操業が困難な状況が続いています。また輪島地区でも刺網に影響が出ています。

(参考)

福井県の越前町や河野村一帯の定置網には、9月に入ってから急に入網数が多くなり、多い定置網では一日に1000～2000個体も入網しています。

また台風通過後には、それまで大きさが50cm程度でしたが80cm～1mの大型クラゲも混じるようになっていきます。

福井県で大型クラゲが大量に定置網に入網しています。石川県沖では、外浦海域の水深100m前後で底引網に入網が見られましたが、台風通過後には加賀～金沢地区の沿岸にも来遊が見られるようになりました。

今後は対馬暖流や沿岸流によって沿岸域や内浦海域にも大量に来遊することが予想されますので、十分に注意願います。

2. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には速やかな情報の提供をお願いします。

また、直接漁業者の方へ電話等で聞き取りすることもありますのでご協力をお願いいたします。



大型クラゲ情報

第37号

平成17年9月22日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

1) 底びき網

加賀地区では、水深400m～500mのエビ・カレイ場でクラゲの入網は台風通過後増加傾向にあります、ごち網ではタイ場では場所によっては100個体以上入網しています。金沢地区のエビ場では、今まで数個体程度であったが20～30個体と増加しています。タイ場では一網30～40個体の入網も見られます。

輪島地区では、時化続きで出漁する船が少なく情報が収集できませんでした。

珠洲地区ではエビ場ではクラゲの入網は少なく、浅いところでも少なくなっているようです。

金沢地区や輪島地区などでは、クラゲ対策の仕切り網を使用していますが、数十個単位で入網すると効果が発揮されないようです。

2) 定置網

9月7日に通過した台風14号の影響で外浦・内浦の定置網が大きな被害を受けたため、入網の情報はありません。

操業を開始した志賀町の定置網で10～20トン、輪島市の定置網で4トンの入網がありました。

連休明けの20日頃から能登町沖の小型定置網に3～20個体の入網が報告され始め、内浦海域でも来遊が確認されています。

3) その他の漁業

加賀から金沢沖にかけての沿岸では、刺網や釣りの漁具にクラゲがかかり、思うような操業ができない状況が続いています。また輪島地区でも刺網に影響が出ています。珠洲地区においても100m以浅で多くのクラゲにより、刺し網の操業に支障があるようです。

2. 他県情報

京都府の各定置網で9月9日以降、大量のクラゲの入網が報告されています、京丹後市の定置では1,000個体以上、舞鶴市の定置では200～600個体の入網があり、台風通過後に出現が急増しているようです。

福井県においても、越廼村沖定置で5～500個体、越前町沖定置で1,000～2,000個体、三方郡美浜町沖定置で60～200個体、三方町沖定置で200～600個体、大飯町沖定置で20～220個体、高浜町沖定置で10～1,000個体の入網がありました。台風通過後に入網数が増加すると共に、大きさも大きくなっているようです。

今後は対馬暖流や沿岸流によって沿岸域や内浦海域にも大量に来遊することが予想されますので、十分に注意願います。

2. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には、速やかな情報の提供をお願いいたします。

また、直接漁業者の方へ電話等で聞き取りすることもありますので、ご協力をお願いいたします。

台風17号が発生し日本に接近しそうな情勢です、台風の動きに注目をしていただきますようお願いいたします、クラゲの動きもそれに伴って変化することもあります。



平成17年9月28日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

1) 底びき網

加賀地区では、水深400m～500mのエビ・カレイ場でクラゲの入網は台風14号通過後（9月7日）増加傾向にありますが、先週末から出漁が少なく情報を収集できませんでした。

輪島地区では、時化続きで出漁する船が少なく情報が収集できませんでした。

珠洲地区では、ハタハタ中心の操業で一網当たり2～3個体の入網があるようです。

金沢地区や輪島地区などでは、クラゲ対策の仕切り網を使用していますが、数十個単位で入網すると効果が発揮されないようです。

2) 定置網

志賀町の定置網で9月26日に200～300個体、9月27日に3,000～4,000個体、9月28日に2,000個体の入網がありました。

輪島市の定置網で9月27日に300～500個体、9月28日に300～500個体の入網がありました。クラゲ対策網を使用して操業しているがこれまでに比べ操業時のクラゲ除去作業が軽減されているようです。

すずし漁協の小型定置網にも沢山のクラゲが入網しています。

能登町沖の小型定置網に3～20個体の入網が報告され始めました。

穴水町の大型定置で9月26日に400～500個体、9月27日に70個体、9月28日に100個体の入網がありました。

七尾市の各地の大型定置網にも10～30個体の入網が報告されています。

3) その他の漁業

加賀から金沢沖にかけての沿岸では、刺網や釣りの漁具にクラゲがかかり、思うような操業ができない状況が続いています。

また輪島地区でも刺網に影響が出ています。珠洲地区においても100m以浅で多くのクラゲにより、刺し網の操業に支障があるようです。

2. 他県情報

兵庫県但馬海域の大型定置網で9月21日～26日の間で多い日には1,000個体の入網がありました、底びき網漁業では水深150m前後で1.5トン以上の入網がありました。

京都府の各定置網で9月15日以降も大量のクラゲの入網が続いています、京丹後市の定置では1,000個体以上、舞鶴市の定置では3～1,000個体の入網がありました。

福井県においても、越廼村沖定置で100個体、越前町沖定置で100個体、三方郡美浜町沖定置で100個体、高浜町沖定置で100個体の入網がありました。

台風14号通過後に入網数が増加すると共に、傘径も大きくなっているようです。

今後は対馬暖流や沿岸流によって沿岸域や内浦海域にも大量に来遊することが予想されますので、十分に注意願います。

2. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。

県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には、速やかな情報の提供をお願いいたします。

また、直接漁業者の方へ電話等で聞き取りすることもありますので、ご協力をお願いいたします。

台風19号が発生しております、現在の進路では日本に接近しそうな情勢ではありませんが、今後の台風の動きに注目をしていただきますようお願いいたします、クラゲの動きもそれに伴って変化することもあります。

水産総合センターホームページに大型クラゲ情報を掲載しましたのでご利用下さい。

URL : <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/>

今年度発行した第28号以降掲載しています。



平成17年10月8日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

1) 底びき網

加賀地区では、水深400m～500mのエビ・カレイ場でクラゲの入網は増加傾向にありますが、入網を避けながらの操業が続いています。

輪島地区では、クラゲにより操業が制限されることはないようです。

珠洲地区では、ハタハタ中心の操業ですが操業に支障が無いようです。

各地区で、クラゲ対策の仕切り網を使用していますが、大量に入網すると効果が発揮されていないようです。

2) 定置網

志賀町の定置網で10月3日以降100～300個体の入網がありました、クラゲ対策網を施して操業を行っていますが一昨年や昨年のようなクラゲの排除に時間がかからず操業が出来るようです。

輪島市の定置網で10月6日の朝操業で100個体以上、昼操業で100～200個体、10月7日の朝操業で30～40個体の入網がありました。クラゲ対策網を使用しているがこれまでに比べ操業時のクラゲ除去作業が軽減されているようです。

すずし漁協の小型定置網に2～3個体のクラゲが入網しています。

能登町沖の小型定置網に4～10個体の入網が毎日続いています。

能登町の中型定置に10月6日100個体の入網がありました。

七尾市の大型定置網に30～40個体の入網が続いています。

3) その他の漁業

珠洲市祿剛崎沖水深90m以浅で大量のクラゲが確認されています、船がまるでクラゲの上を航行しているような感じあったとの報告がありました、内浦地域の各種漁業者の方は充分注意をしてください。

2. 他県情報

兵庫県但馬海域の大型定置網で9月27日～10月3日の間で多い日には3,000個体の入網がありました、底びき網漁業では水深230、240、250m前後で最大200個体／一網の入網がありました。

京都府では、9月20日～26日に舞鶴市周辺の定置網で1回の網あげ当たり30～1,000個体（傘径50～80cm主体）、小型底びき網（水深140～150m）で1回の網あげ当たり20～30個体（傘径60～70cm）の入網が見られています。

福井県では、県内全域の定置網で大量に入網（一回の網あげ当たり数十～数千個体）がありました。

沖合底びき網のエビ場（水深500～600m）で一回の網あげ当たり50～100個体（傘径50～100cm）が入網しています。

石川県以西の他府県では、まだ大量入網の情報が発せられています、また、小型個体の報告も多くあります、今後も対馬暖流や沿岸流によって石川県沿岸域にも大量に来遊することが予想されますので、十分に注意願います。

2. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です、県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には、速やかな情報の提供をお願いします。

また、直接漁業者の方へ電話等で聞き取りすることもありますので、ご協力をお願いいたします。



平成17年10月14日
石川県水産総合センター

1. 県内状況

1) 底びき網

加賀地区では、エビ・カレイ場でクラゲの入網が増加傾向にあり、クラゲを避けながらの操業が続いています。

輪島地区では、クラゲ対策網の使用やクラゲの入網を避けながらの操業が続いています。

珠洲地区では、ハタハタ中心の操業ですが、操業に支障はないようです。

金沢地区では、タイ場で1操業当たり20～30個体の入網がありました。エビ場ではクラゲの入網が増加傾向にあり、クラゲを避けながらの操業が続いています。

各地区でクラゲ対策の仕切り網を使用していますが、大量に入網すると効果が発揮されていないようです。

2) 定置網

志賀町の定置網で1日200～300個体の入網が続いています。クラゲ対策網を施して操業しており、クラゲの除去に時間がかからず操業が出来ているようです。

輪島市の定置網で10月13日の朝操業で500個体以上、昼操業で500個体の入網がありました。クラゲ対策網を使用して操業しており、操業時のクラゲ除去作業が軽減されているようです。

すずし漁協の定置網に10月10日以降、100個体以上の入網がありました。

能登町の小型定置網に10～100個体の入網が毎日続いています。

能登町の中型定置に10月12日に300個体の入網がありました。

能登町の大型定置で10月12日に200個体以上、13日に50個体以上の入網がありました。

能登内浦地域の大型定置網では、冬網への切り替えが徐々に進んでいます。台風14号で被災した定置網でも復旧作業が進み、操業を開始するものが増えていきます。大型クラゲの動向が気にかかると思われますが、充分注意され操業していただきたいと思います。

3) その他の漁業

ごち網では、加賀市で一操業当たり100個体以上の入網が見られた日もありました。

志賀町では1日に2回破網した船もあり、2年前よりひどい状況との情報もあります。

刺し網では、加賀市で先週末頃から少しづつ操業が出来る船が増えてきました。

金沢市では先週末から操業に支障が出始めています。

2. 他県情報

長崎県対馬及び吉岐海域の定置網では、9月下旬から10月1日の間、クラゲの入網量が減少傾向にあります。

山口県萩市周辺の定置網では、10～1500個体の入網がありました。傘径は20cmから100cmと幅が大きく、小型のクラゲも多く見られています。

京都府京丹後市周辺の定置網では、9月27日から10月3日の間、1操業当たり150～2,700個体、伊根町地先で20～800個体、舞鶴市地先で300～1000個体（傘径50～80cm主体）の入網がありました。

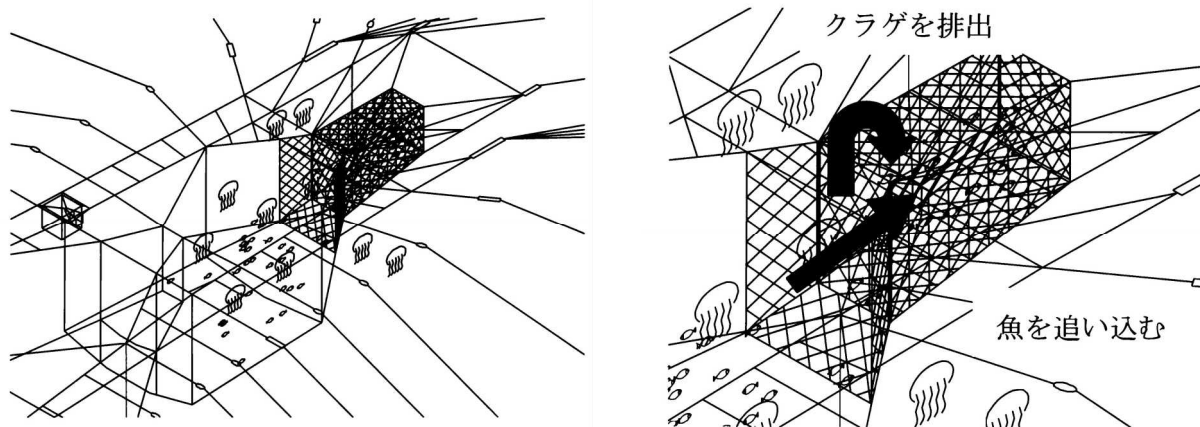
福井県の一部の定置網では、一操業当たり10～3000個体の入網がありました。

若狭湾西部の小型底びき網（操業水深100～140m）では、一操業当たり0～200個体（傘径50～80cm主体）の入網がありました。

3. 定置網におけるクラゲ対策について

県内の一部の定置網では、落とし網と金庫網の間に配置した大目網で魚とクラゲを分離し、金庫網の廊下天井網の上に排出する方法が採用されています。天井網の上へ排出したクラゲは船のプロペラで水流を作り流しています。

当初は大目網の目合いを2尺（30cm×30cm）としていましたが、クラゲの一部も金庫網へ入網してしまい操業に支障が出たため、現在は目合いを1尺（15cm×15cm）としており、比較的綺麗に分離されているようです。



資料：漁具改良マニュアル ー大型クラゲ対策のためにー
（平成17年8月 独立行政法人 水産総合研究センター）

4. その他

県では、引き続き大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していく予定です。県内で大型クラゲの目撃や入網等が確認された場合には、速やかな情報提供をお願いします。

また、直接漁業者の方へ聞き取りすることもありますので、ご協力をお願いします。



大型クラゲ情報

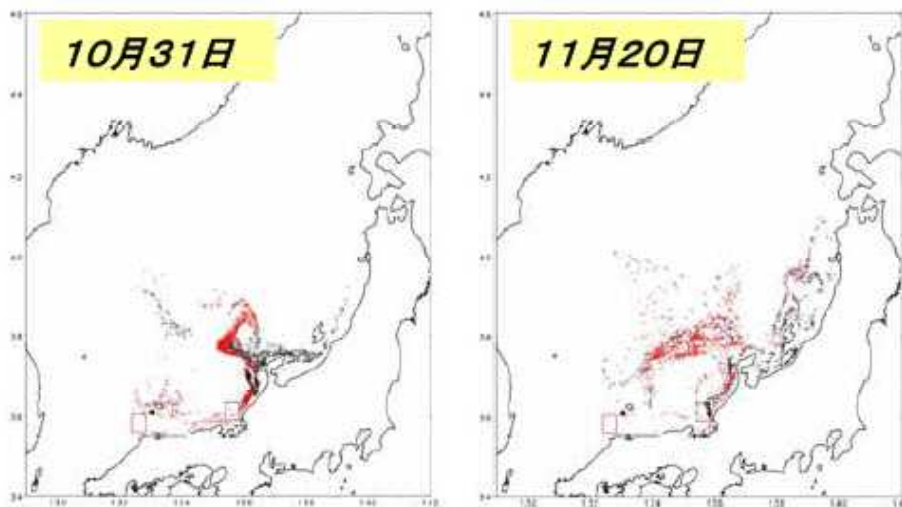
第41号

平成17年10月20日
石川県水産総合センター

平成17年10月18日、独立行政法人水産総合研究センターは大型クラゲの来遊予測の第2報を発表しました。

それによると、9月下旬～10月上旬に福井県若狭沿岸及び島根県出雲沿岸に出現している大型クラゲの大量濃密群は、11月中旬には次のように漂流移動する事が予想されています。この予報は、水研センターが九州大学応用力学研究所と共同しながら実施しているものです

- ① 福井県若狭沿岸の濃密群は、10月下旬には石川県能登半島を越えて新潟県の佐渡海峡に達する。
- ② 島根県出雲沿岸の濃密群は、徐々に東へ移動し、石川県能登半島から東北方面へ拡大するものの、11月中旬においても相当量の大型クラゲが石川県能登半島を越えず、その西方に留まる。
- ③ これらの予報は、今後の気象条件によって大きく変化する可能性があるものの、②のような分布状況下において北西季節風が日本海沿岸に向けて吹くと、沖合にいる大型クラゲの接岸量がさらに増大する恐れがある。



数値シミュレーションモデルから推定された10月31日及び11月20日における大型クラゲの分布域。黒色及び赤色の粒子は、10月上旬にそれぞれ若狭沿岸(黒色の枠で囲んだ海域)及び出雲沿岸(赤色の枠で囲んだ海域)に分布していた大型クラゲを示す。

1. 県内状況

1) 底びき網

加賀地区では、エビ・カレイ場でクラゲの入網が増加傾向にあり、1網で100個体の入網があることもあります。今週始めから小型個体(傘径20cm程度)

が見受けられ、これらは対策網の大目網を抜けてコッドに入り苦慮している状況です。

輪島地区では、クラゲ対策網の使用やクラゲの入網を避けながらの操業が続いています。

珠洲地区では、ハタハタ中心の操業ですが、操業に支障はないようです。

金沢地区では、タイ場で1操業当たり20～30個体の入網がありました。エビ場ではクラゲの入網が増加傾向にあり、クラゲを避けながらの操業が続いています。

各地区でクラゲ対策の仕切り網を使用していますが、大量に入網すると効果が発揮されていないようです。また、ここ数日間に入網するクラゲは小型個体（20cm程度）が多くなり、大目網を通過してコッド内に入ってくる状況です。

2) 定置網

志賀町の定置網で、10月17日に2,000～3,000個体、18日8,000個体、19日20,000個体、20日に10,000個体の入網がありました。クラゲ対策網を施して操業していますが、クラゲの除去のため、2度網をたぐった、後魚の取り上げを行っている状況です。

門前町の定置網ではここ一週間毎日クラゲが数千個体入網しています。排出しても次から次と入網が続き、2003年と同様の様相となって来ました。

輪島市の定置網で10月17日の朝操業で100個体以上、昼で100個体の入網がありました。クラゲ対策網を使用して操業しており、クラゲ除去作業が軽減されているようです。朝操業時クラゲの入網が多いときは昼に船を出しクラゲの排出作業のみを行っています。

すずし漁協の定置網で、10月18日に5個体、19日に100個体、20日に1,000個体以上の入網がありました。

能登町の小型定置網で、ここ一週間は10個体前後の入網が毎日続いています。

能登町の大型定置で10月18日に500～1,000個体以上、19日に200個体以上の入網がありました。

七尾市の大型定置網でも10月20日に300～800個体の入網がありました。

3) 刺し網漁業

加賀市で先週末頃から少しずつ操業が出来る船が増えてきました。

金沢市では先週末から操業に支障が出始めています。

すずし漁協の外浦地域では、クラゲの増加で操業がしにくくなり、他の漁業種類へ転換する船が少しずつ増えています。

2. 他県情報

兵庫県の但馬沿岸の定置網で、10月12日～10月17日に一回の網あげ当たり数個体～1,500個体（傘径30～120cm）の入網でした。

福井県の一部の定置網では、一回の網あげ当たり50～6,000個体（傘径30～100cm）の入網がありました。

若狭湾西部の小型底びき網（操業水深100～140m）で、一操業当たり0～100個体（傘径30～50cm主体）の入網がありました。

平成17年10月27日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市では、1操業当たり20～100個体の入網がありました。10月中旬から小型個体が見られ、傘径は30～80cmが中心となっています。

金沢市では、タイ場で1操業当たり50～60個体の入網がありました。小型個体が増加しているため、クラゲ対策網の大目網を抜るクラゲが多くなっています。

輪島市では、クラゲ対策網の使用やクラゲの入網を避けながらの操業が続いています。

珠洲市では、1操業当たり6～7個体の入網がありました。操業海域には多数のクラゲが浮遊しており、入網数も増加傾向にあります。

(2) 定置網

金沢市や志賀町では、1日当たり数千個体の入網がありました。

輪島市では、1日当たり200～300個体の入網がありました。

珠洲市では、1日当たり数百個の入網がありました。

能登町では、1日当たり数個体の入網がありました。入網数はかなり減少しているようです。

(3) 刺網

加賀市では、網にクラゲがかかるため操業を見合わせている船もあります。

金沢市では、クラゲを避けながらの操業が続いていますが、網にかかるクラゲの数は増加傾向にあります。

2 他県情報

(1) 山口県

沿岸の定置網では、10月11日～16日に1日当たり数個体の入網があり、沿岸域ではやや減少傾向にあるようです。クラゲの傘径は20～40cmが中心となっています。沖合底びき網では、全海域で大量入網があり、傘径は1m以上が中心となっています。

(2) 島根県

沿岸の定置網では、場所により数百個単位の入網があるものの、沿岸ではクラゲの数がかなり減ってきたようです。底びき網では依然大量入網があり、傘径は1m以上が中心となっています。

(3) 兵庫県

但馬沿岸の定置網で、10月18日～24日に多い日で2,000～3,000個体の入網がありました。

(4) 福井県

沿岸の定置網では、10月25日に300～1,500個体、10月26日に300～3,000個体の入網がありました。入網したクラゲの傘径は50～100cmが中心となっています。

平成17年11月4日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市では、1操業当たり20~200個体の入網がありました。10月中旬から小型個体が見られ、傘径は30~80cmが中心となっていましたが、ここ数日間で小型個体が少なくなりました。

金沢市では、タイ場で1操業当たり30個体の入網がありました。小型個体が増加しているため、クラゲ対策網の大目網を抜くクラゲが多くなっています。

珠洲市では、カレイ場で1操業当たり20~30個体の入網がありました。操業海域には多数のクラゲが浮遊しており、入網数も増加傾向にあります。

11月6日ズワイガニが解禁されますが、操業水深帯のクラゲに関する情報が不足しています。操業海域によっては大量入網の可能性も考えられますので、充分注意をして操業にあたってください。底びき各船の安全操業を祈念しております。

(2) 定置網

金沢市や志賀町では、ここ1週間、1日当たり数千個体の入網が続いています。

門前町では、ここ1週間くらい数千個の入網が続いています

輪島市では、10月末から1日当たり数千個体の入網と増加傾向にあります。

珠洲市では、1日当たり200~300個体の入網が続いています。

能登町では、一ヶ統の定置網ではここ一週間1,000個体前後の入網が続いていますが、その他の網では1日当たり数個体の入網となっています。

七尾市では、今週になってクラゲの入網が増加し始め、1日当たり数百個~数千個の入網がありました。

(3) その他

志賀町の巻き網で、10月末、一網で1,000個体の入網がありました

珠洲市の巻き網で、11月3日、4日それぞれ120トン、60トンのクラゲの入網がありました。

志賀町のごち網では、ここ4・5日水深80~100mの操業では一網当たり1~3個体の入網となっていますが、これより浅い海域では多くのクラゲで操業不能状態となっています。

水産総合センター漁業調査指導船「禄剛丸」で能登内浦海域での水温観測時に大型クラゲの目視調査(1調査点当たり30分間、両舷側より5m以内での個体数を計測、巡航速度12ノット)を実施しました。その結果、珠洲沖で800個体、能登町で約100個体、七尾市能登島沖で200個体、七尾市鵜の浦沖で160個体を確認しました。

2 他県情報

(1) 山口県

沿岸の定置網では、10月17日~23日に1日当たり数個体の入網があり、沿岸域ではやや減少傾向にあるようです。クラゲの傘径は20~80cmが中心となっています。沖合底びき網では、全海域で多少数は減りましたが、まだまだ多いようです。

(2) 島根県

沿岸の定置網では、場所により千個体を越える入網も見られますが、沿岸ではクラゲの数がかなり減ってきたようです、また、小型個体も減少しているようです。底びき網では依然大量入網があり、傘径は1 m以上が中心となっています。

(3) 兵庫県

但馬沿岸の定置網で、10月24日～31日に多い日で1,000個体の入網がありました。

(4) 京都府

10月18日～24日の定置網では、宮津市地先で一回の網あげ当たり100～500個体、舞鶴市地先で300～3,300個体（傘径50～100 cm）の入網がありました。

(5) 福井県

沿岸の定置網では、10月31日に500～3,000個体、11月1日2日に20～5,000個体の入網がありました。入網したクラゲの傘径は30～100 cmが中心となっています。

(6) 長崎県

10月16日～10月22日の対馬沿岸の定置網では、数百個体が入網した日があるものの、ほとんど入網しない日が多かったようです。



平成17年11月18日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

底びき網各船は、カニ場操業で一網当たり1～3個体の入網があるようですが、操業に支障を来すような状況ではないようです。

(2) 定置網

金沢市では、ここ1週間、1日当たり数千個体の入網が続いています、このためクラゲの排出に日に2度沖に出ることもあります。

門前町では、ここ1週間くらい時化のため操業していません。周辺の海域には多数のクラゲが浮遊しています。

輪島市では、11月11日に数十個、14日に数百個の入網がありました。

珠洲市では、1日当たり数十個体の入網が続いています。

能登町では、一ヶ統の定置網では11月16日に100～200個体、17日に100個体以上の入網がありました。鶴川地区の小型定置網で1日当たり20～100個体の入網が続いています。

(3) その他

外浦の巻き網で、数千個体の入網がありました、クラゲを避けながらの操業ですが、多くのクラゲで操業を回避することもありました。

加賀市のごち網では、タイ場では一網に50個体以上が入網することもあります、カレイ場ではここ一週間増加傾向にあります。

2 他県情報

(1) 山口県

沿岸の定置網では、10月31日～11月6日の間に1日当たり4～8個体の入網があり、沿岸域ではやや減少傾向にあるようです。クラゲの傘径は30～80cmが中心となっています。

(2) 島根県

11月4日、5日の両日、地びき網で漁獲物の6～7割が大型クラゲで占められました。沖合底びき網では（水深200m以深）ごくわずかな入網でした。

(3) 兵庫県

但馬沿岸の定置網で、10月28日～11月1日に一回の網あげ当たり1,000個体の入網がありました。

(4) 京都府

11月1日～7日の定置網における入網状況は、網野町地先で一回の網あげ当たり1,000個体、伊根町地先で700～2,000個体、舞鶴市地先で500～2,500個体（傘径50～100cm）の入網がありました。

(5) 福井県

県内の一部の海域の定置網で、11月9日～15日に一回の網あげ当たり5,000個体以上の入網がありました。入網したクラゲの傘径は50～150cmが中心となっています。

底びき網では、カニ場の240～350mの海域で一回の網あげ当たり0～5個体の入網が見られました、クラゲの傘径は30～80cmでした。

(6) 長崎県

10月30日～11月5日の対馬沿岸の定置網では、週の前半に2トン程度の入網した日があったものの、操業に支障を来すようなクラゲの入網は少なくなったようです。



平成17年12月2日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市及び金沢市の底びき網各船は、カニ場操業で一網当たり1～3個体の入網で、操業に支障を来すような状況ではないようです。

輪島市では、カニ場においても入網個体数が若干増加傾向にあるようです。

珠洲市では、カニ場の一部で入網個体数が増加しています。メギス場では、ここ数日で急激に増加し操業に支障がでています。12月1日に一隻が破網したようです。

(2) 定置網

外浦地区での操業は11月下旬で終了しています。

門前町では、時化の合間を見ながら撤収作業をしていますが、周辺の海域には多数のクラゲが浮遊しています。

珠洲市では、11月末には100個体前後の入網があったようですが、12月に入り1日当たり10～20個体の入網となっています。

能登町では、ここ一週間では大型定置及び小型定置では数十個体の入網が続いています。

七尾市の大型定置網で、ここ一週間は数十～数百個体の入網が続いていますが、千個体を越えるようなことはなくなりました。

(3) その他

加賀市のごち網では、タイ場では一網に50個体以上が入網することもあります、カレイ場ではここ一週間で、一網に50個体以上入網する事もあり増加傾向にあります。

2 他県情報

(1) 山口県

沿岸の定置網では、11月14日～20日の間に1日当たり4～50個体の入網があり、沿岸域ではやや減少傾向にあるようです。クラゲの傘径は80～100cmが中心となっています。

(2) 鳥取県

11月28日に大山町名和地先の定置網で約200個体の入網がありました。

沖合底びき網では（水深200m以深）一網当たり10～20個体の入網でした。

(3) 兵庫県

但馬沿岸の定置網で、11月21日～28日に最多で約1,000個体の入網がありました。

沖合底びき網では、但馬沖水深270～300mの海域で多い場合一網当たり7～8個体の入網でした。

(4) 京都府

11月22日～28日の定置網における入網状況は、久美浜町地先で一回の網あげ当たり150～800個体、伊根町地先で700～2,000個体、舞鶴市地先で10～1,000個体（傘径50～100cm）の入網がありました。

小型底びき網では（京都府沿岸水深240m前後）では、一回の網あげ当たり0～5個体（傘径60～70cm）の入網がありました

(5) 福井県

県内の一部の海域の定置網で、11月24日～29日に一回の網あげ当たり30～2,000個体以上の入網がありました。入網したクラゲの傘径は50～150cmが中心となっています。

底びき網では、カニ場の240～350mの海域で一回の網あげ当たり0～5個体の入網が見られました。クラゲの傘径は50～80cmでした。

(6) 富山県

11月19日～25日の定置網における入網状況は、氷見市沿岸から朝日町沿岸の広範囲にわたり1～3,000個体の入網がありました。入網したクラゲの傘径は20～100cmでした。



平成17年12月14日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市及び金沢市の底びき網各船は、カニ場操業で一網当たり数個体の入網で、ここ数日は増加傾向にあるようです。

その他の地区では、時化のためここ一週間は出漁が出来ない状況です。

(2) 定置網

珠洲市では、今週始めから150~200個体前後の入網があったようですが、12月初旬に数十個体に減少していましたが、若干増加しているようです。

能登町では、先週末から200~300個体の入網となっています、12月初旬は大型定置及び小型定置で数十個体の入網でしたが若干増えてきています。

七尾市の大型定置網で、ここ一週間は数十個体の入網が続いています。

(3) その他

加賀市のごち網では、タイ場では一網に数十個体以上が入網することもあります、斃死個体が増加する傾向にあり、入網数も若干少なくなったように感じられるそうです。

2 他県情報

(1) 長崎県

対馬沿岸の定置網では、11月27日~12月3日の間に1日当たり20~30個体の入網がありました、前週よりも減少傾向にあるようです。壱岐沿岸域では11月28日に200~300個体の入網がありました、その後は数個体の入網のようです。クラゲの傘径は100~130cmが中心となっています。

(2) 京都府

11月29日~12月5日の間に京丹後市久美浜地先の定置網で700~5,000個体、伊根町蒲地先の定置網で500~2,000個体、宮津市粟田地先の定置網で10~40個体、舞鶴市千歳地先の定置網で10~4,000個体の入網がありました。

小型底びき網では(水深230~280m)一網当たり10個体の入網でしたが、11月下旬以降、増加の傾向であります。

(3) 福井県

11月30日~12月6日までの間に、美浜町地先の定置網500~5,000個体以上、小浜市地先の定置網で100~1,000個体、高浜町地先の定置網で80~200個体の入網がありました。傘径は30~100cmが中心でした。底びき網では、カニ場の水深240~350mの海域では1回の網あげ当たり数個体の入網でした。

(4) 富山県

11月29日～12月5日の間に、朝日町沿岸の定置網で300～700個体／一ヶ統、黒部市沿岸の定置網で30～100個体／一ヶ統、氷見市沿岸の定置網で2～15個体／一ヶ統の入網があったほか各地でも多くのクラゲの入網が見られています。



平成17年12月28日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市及び金沢市の底びき網各船では、カニ場操業で一網当たり50個体以上の入、クラゲの排出に困っている状況です。斃死個体や衰弱個体が見受けられるようになってきています、個体の傘径は大きくなっています。

輪島市の底びき網では、カニ場においてもクラゲが多く入網するようになりました。

珠洲市の小型底びき網では、近場のカニ場で大量入網により破網した船が多くいました。

その他の地区では、時化のためここ一週間は出漁が出来ない状況です。

(2) 定置網

珠洲市では、先週中頃から1,000個体以上の入網が続いています。

能登町では、12月20日に1,000個体以上の入網した網がありました、12月26日には40~50個体の入網となり、斃死個体が多くなっています。小型定置で5~10個体の入網が続いています。

(3) その他

加賀市のごち網では、タイ場では一網に数十個体以上が入網することもあります。珠洲市及び能登町周辺のタラ刺し網もクラゲの影響で操業が出来ない状況にあります。

2 他県情報

(1) 長崎県

対馬沿岸の定置網では、12月11日~17日の間に1日当たり200個体の入網がありました、傘径は100cmが中心となっています。

(2) 京都府

12月13日~19日の定置網における入網状況は、久美浜町地先で1日当たり200~500個体、宮津市地で10~35個体、舞鶴市地先で300個体の入網がありました。傘径は50~80cmが中心です。

(3) 福井県

12月14日~21日までの間に、県内の一部の定置網で一回の網あげ当たり80~5,000個体以上の入網がありました。傘径は50~100cmが中心でした。

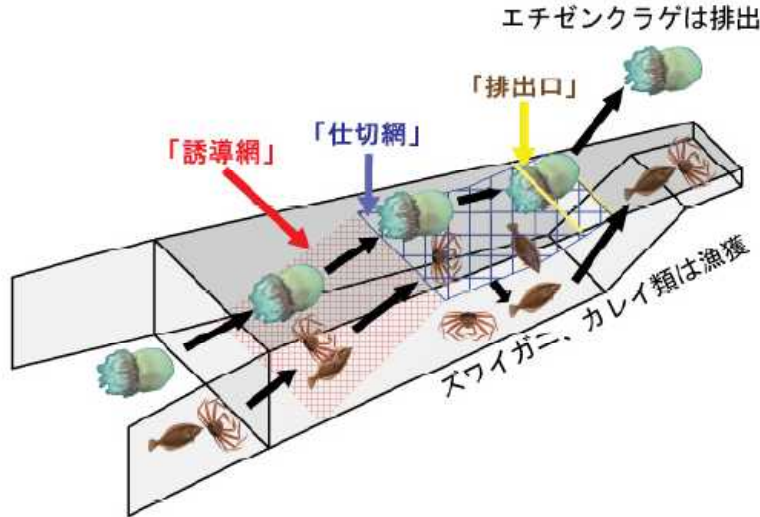
(4) 山口県

12月5日~11日の間に、萩市沿岸の定置網で一回の網あげ当たり20~200個体の入網がありました。傘径は100~150cmが中心でした。

その他

独立行政法人 水産総合研究センターから「漁具改良マニュアル」第2版が12月に発行されました。

小型底びき網（駆け廻し）及び沖合底びき網（駆け廻し）の事例が掲載されていますので紹介をします（詳細は、関係漁協等に配布してあるマニュアルを参照願います）。



図

1 小型底びき網漁業（駆け廻し）

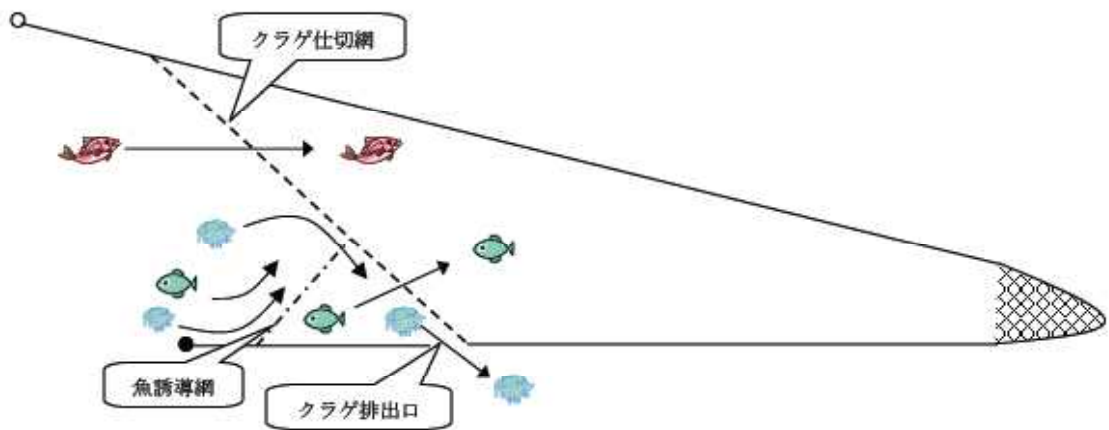


図 2

沖合底びき網漁業（駆け廻し）

大型クラゲ仕切網（目合 600～240mm）

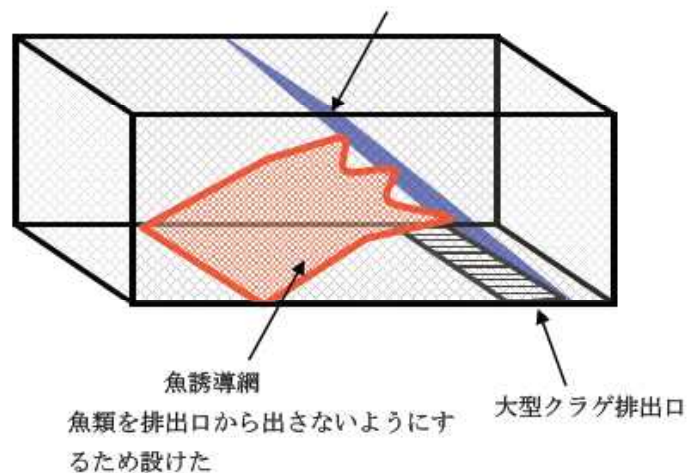


図 3 沖合底びき網漁業（駆け廻し）



平成18年1月16日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市の底びき網各船は、カニ場操業で一網当たり50～60個体の入網で、衰弱個体、斃死個体の入網が増えています。

金沢市の底引き網各船では、ハタのカニ場で一網当たり数十個体の入網で、衰弱個体、斃死個体、崩れた破片が多くなっています。

石川とぎの底びき網各船では、一網当たり数十個体の入網で、斃死個体及び崩れた破片が多くなっています。

輪島市の底びき各船では、カニ場で増加傾向にあります、入網するクラゲの小型化が見られるそうです。

(2) 定置網

珠洲市では、数十個体前後の入網が続いています、年末に見受けられたクラゲの大量入網は、なくなっています。

能登町では、12月下旬は大型定置及び小型定置で数十個体の入網でしたが、ここ数日は少なくなっています。

七尾市の大型定置網で、ここ一週間は沖の網に数個体の入網がありますが、斃死個体或いは崩れた破片が中心になっています。

(3) その他

加賀市のごち網では、タイ場では一網に数十個体以上が入網することもあります、斃死個体が増加する傾向にあり、一時期よりは入網数も若干少なくなったようです。

2 他県情報

(1) 長崎県

12月25日～1月7日の状況は、対馬や壱岐においては、大量出現及び大量入網の情報はありません。

(2) 京都府

12月27日～1月9日の間に、京丹后市久美浜地先の定置網で20～200個体、舞鶴市千歳、田井地先の定置網で3～300個体の入網がありました。

傘径は50～80cmが中心でした

小型底びき網では、水深230～280mのズワイガニ漁場で、多いときで一網当たり10個体程度の入網がありました。

(3) 福井県

1月5日～1月12日までの間に、県内の定置網に一回の網あげ当たり50～3,000個体の入網が、1月12日には、一網当たり100～600個体の入網がありました。傘径は30～100cmが中心でした。



平成18年1月30日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市の底びき網各船は、カニ場操業で一網当たり十数個体個体の入網で、衰弱個体、斃死個体の入網が増えています。タイ場については、操業を回避しているの
で情報はありません。

金沢市の底引き網各船では、ヘタのカニ場で一網当たり20～30個体の入網で、
衰弱個体、斃死個体、崩れた破片が多くなっていますが、排出網利用で労力は軽減
されているそうです。

輪島市の底びき網各船では、カニ場で増加傾向にあります。入網するクラゲの小
型化が見られるそうです。

(2) 定置網

珠洲市では、1～2個体前後の入網が続いています。先週末に数百個体の入網が
あったようですが、それ以降は大量入網の情報はありません。

能登町では、ここ一週間では少なくなっています。

七尾市の大型定置網で、ここ一週間は、沖の網に数個体の入網がありますが、斃
死個体或いは崩れた破片が中心になっています。

(3) その他

能登町の刺し網（タラ場）で、数日前にクラゲの破片が多数網に掛かったそう
です。

2 他県情報

(1) 長崎県

1月8日～1月14日の状況は、対馬や壱岐においては、大量出現及び大量入網
の情報はありません。

(2) 京都府

1月17日～1月23日の間に、京丹後市久美浜地先の定置網で10～70個体、
舞鶴市地先の定置網で3～200個体、宮津市地先で5～10個体の入網がありま
した。傘径は50～100cmが中心でした。

小型底びき網では、水深230～280mのズワイガニ漁場で、多いときで一網
当たり20～30個体（傘径約80cm）程度の入網がありました。

(3) 福井県

1月19日～1月25日までの間に、県内の定置網に一回の網あげ当たり30～
3,000個体の入網がありました。斃死個体や崩れた破片の入網が見られるよう
になってきました。傘径は50～100cmが中心でした。

カニ漁場の水深240～350mの海域で、一網当たり10～20個体（傘径3
0～50cm）が入網し、その中には斃死個体も見られました。



平成18年2月14日
石川県水産総合センター

1 県内状況

(1) 底びき網

加賀市の底びき網各船では、カニ場操業で斃死個体の入網があるようですが、操業に支障が出ているような情報はありません。

金沢市の底びき網各船では、斃死個体、崩れた破片の入網があるようですが、操業に支障はありません。

輪島市の底びき網各船では、一時期よりは減ってはいるが斃死個体や崩れた破片の入網が続いています。

(2) 定置網

珠洲市では、入網の情報はありません。

能登町では、入網の情報はありません。

七尾市の大型定置網で、各網に崩れた破片が数個程度の入網です。

(3) その他

能登町の刺し網（タラ場）で、数日前にクラゲの破片が多数網に掛かったそうです。

加賀市のごち網では、福井寄りの漁場で斃死個体の大量入網があり網を切って排出した日がありました。

2 他県情報

(1) 山口県

1月23日～29日に萩市地先の定置網で、一回の網あげ当たり30～300個体（傘径20～150cm）の入網がありました。

(2) 京都府

1月31日～2月6日の間に、京丹后市久美浜地先の定置網で10～25個体、舞鶴市地先の定置網で数十～200個体、宮津市地先で0～5個体の入網がありました。傘径は50～80cmが中心で活力のない個体や破損個体が多くみられます。

小型底びき網では、水深230～280mのズワイガニ漁場で、殆ど入網がありませんでした、水深170～180mのハタハタ漁場では多い時で一網当たり50～60個体程度の入網がありました。

(3) 福井県

2月1日～2月7日までの間に、県内の定置網に一回の網あげ当たり0～50個体の入網がありました。斃死個体や崩れた破片が多く見られました。傘径は50～100cmが中心でした。

3 今後の見通し

日本海西部海域で減少傾向が見られるとともに、斃死個体や衰弱個体或いは崩れた破片の増加等から、大型クラゲの影響も終息に向かっています。これからは石川県沖合での入網も次第に減少すると考えられます。



平成18年度 大型クラゲ情報 第1号

平成18年7月20日
石川県水産総合センター

1. 大型クラゲ出現・出現予測情報について

現時点における大型クラゲに関する情報を知らせします。

独立行政法人水産総合研究センターからの情報によれば、中国及び韓国政府の研究機関より、以下の情報が寄せられたとのことです。

中国：黄海海域において6月に大型クラゲの群泳が発見された。

韓国：6月28日に韓国水域において初めて大型クラゲの出現が確認された。

水産総合研究センターにおいて、上記情報を基に、独立行政法人海洋研究開発機構と共同で海流予測モデルを用いて、向こう1ヶ月の大型クラゲの移動を予測した結果、今月末頃（7月23日の週）には、長崎県の対馬周辺海域に大型クラゲが到達する可能性が示されたとのことです。

（参考） 昨年は、7月8日に対馬周辺海域で大型クラゲが初めて発見され、本県では、8月16日に美川沖の定置網で初めて確認されました。

なお、対馬海流の状況は毎年変化するため、本年度の日本海への来遊予測については今のところ出されていません。

2. 情報提供のお願い

今年も心配していた大型クラゲの出現情報がよせられるようになりました。

県では県内外の情報収集に努め、出現状況や防除対策事例等の提供を実施していきますので、大型クラゲの目撃や入網等の情報の速やかな提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第2号

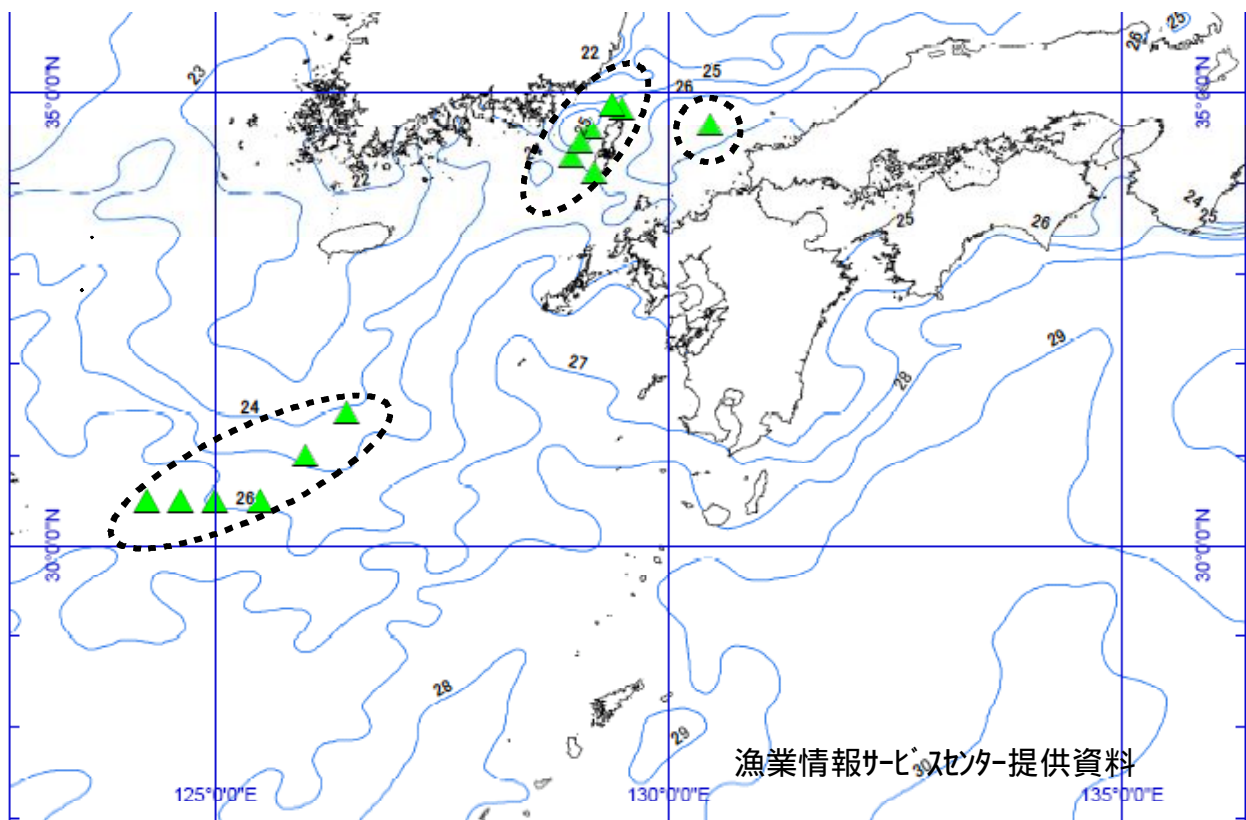
平成18年7月27日
石川県水産総合センター

大型クラゲ出現情報について

7月21～24日に大学（広島、長崎、水産大学校）の調査船と水産総合研究センターの調査船が対馬の西方沖から北方沖及び、東シナ海沖合で大型クラゲを発見しております。

初発見の時期は昨年より2週間程度遅れています。

今回、目撃・確認した数量は単体～160個体/箇所、昨年の同時期と比べると発見数は少ないようですが、傘径は10～80cm（50cm前後が中心）で、昨年よりやや大きい模様です。



（参考） 昨年の7月下旬には対馬南端の定置網（豆酸）ですでに多数の入網がありました。

—昨年（平成16年）は7月中旬に済州島南方沖で初めて発見され、8月6日に対馬北東沖で目撃されています。

大型クラゲの目撃や入網等の情報の速やかな提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第3号

平成18年8月9日
石川県水産総合センター

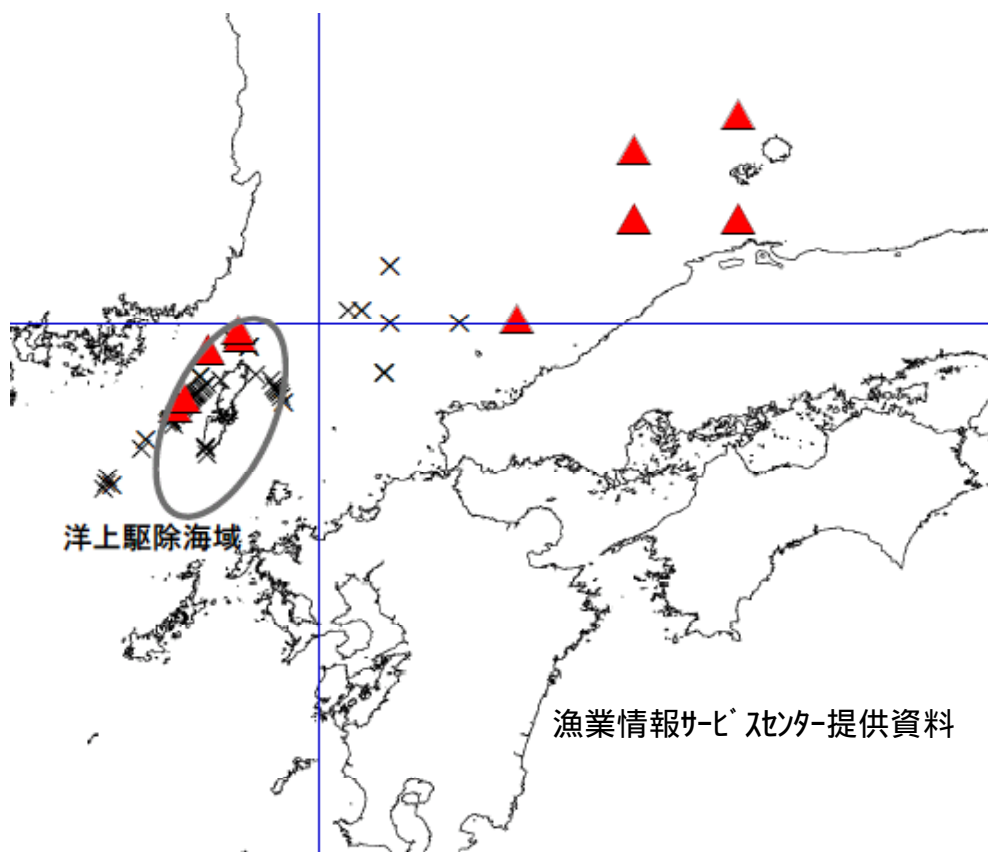
大型クラゲ出現情報について

8月8日現在、大型クラゲのまとまった群れは、引き続き対馬の西方、北方で発見されています。また、分布の先端は1定点で1個体程度と少ない状況ながらも、隠岐島西の東経133度に達しています。

また、島根半島沖への接岸傾向も伺えます。

傘径は26～104cmと幅広いですが、50cm以上が主体と大型個体が多くなってきました。

大型クラゲの分布はこれまで、対馬海峡付近を中心として沖合傾向にありましたが、本県にも近づいてきましたので、今後は十分な注意が必要です。



(参考) 昨年の8月当初には隠岐島付近でも目撃が頻発し、同月上旬には山口～京都の沖合海域のまき網、底曳網において入網がみられ、漁具被害も出始めていました。

大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報の提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第4号

平成18年8月18日
石川県水産総合センター

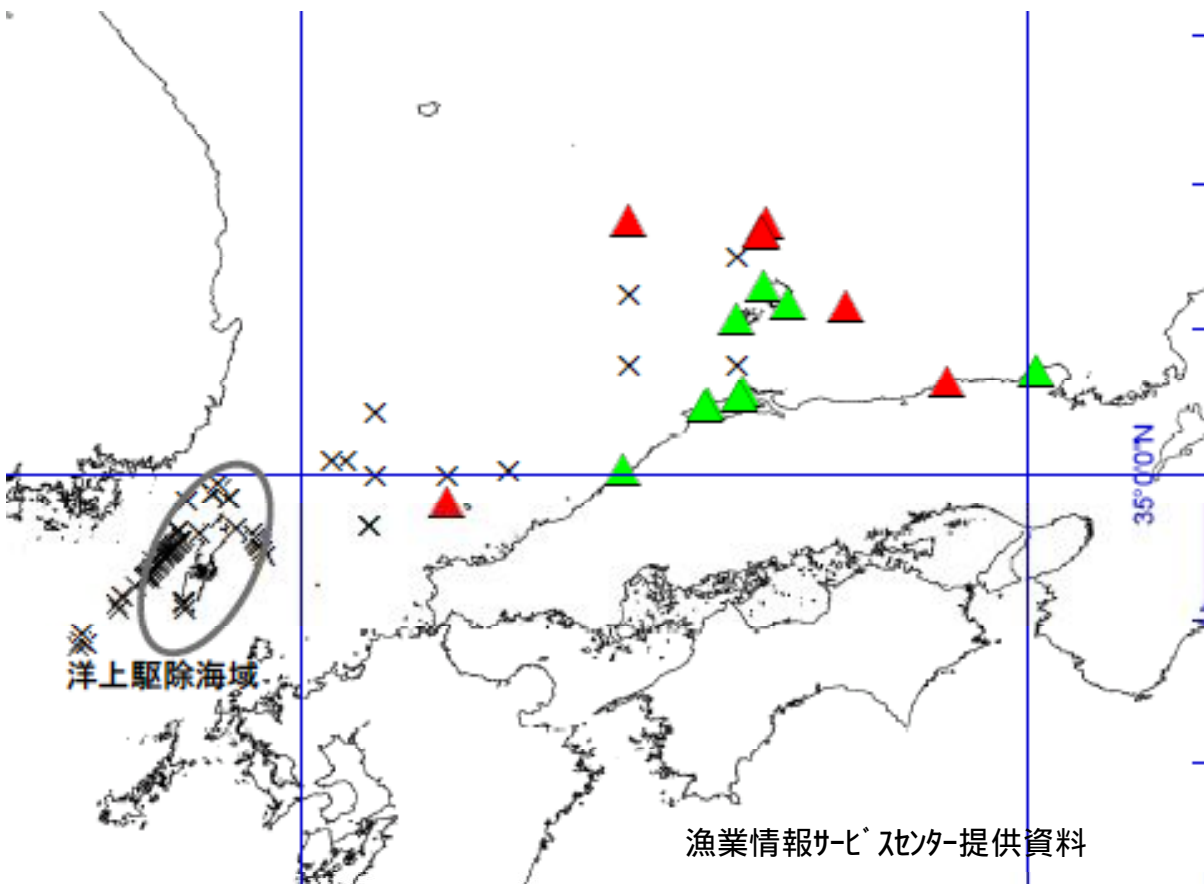
大型クラゲ出現情報及び予測について

8月17日現在、大型クラゲの分布の先端は京都府京丹後市網野町の定置網に達しています。今のところ、その個数は1～2個に留まっています。しかし、島根県の松江市、出雲市及び隠岐周辺の定置網ではおおむね数十個/日・網の入網がみられています。

傘径は50～60cmが主体です。

今後、大型クラゲは対馬暖流に乗って沖合を移動し、分布の先端は8月30日頃には能登半島を越え、佐渡島付近に達すると予測されます。また、能登半島以西の沖合にはまとまった大型クラゲの分布が見られることから、若狭湾～本県の沿岸に出現する可能性もあります。(独立行政法人日本海区水産研究所が九州大学応用力学研究所と共同開発したシステムで予測)

<今のところ大型クラゲの目撃個数は少ないものの、十分な注意をしてください。>



大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報の提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第5号

平成18年8月22日
石川県水産総合センター

今年度、本県で初めて大型クラゲの入網が確認されました。

県内の情報

8月21日、門前大敷網で6～7個、柴垣沖のゴチ網（海深40m）で1個、石川とぎの定置網、旋網（海深80m）で1～数個の入網がありました。また、金石沖のアカイカ釣り操業時に3個が目撃されました。

傘径は70～100cm程度で昨年度同期（50～70cm）よりやや大型のものです。

8月22日も門前大敷網、石川とぎ定置網で数個の入網がありました。

その他の県内漁協からの入網の情報はありません。

県外の情報

8月19日頃から福井県の複数の定置網に10個前後の入網がありました。

8月19日～21日にかけて、京都府京丹後久美浜町、兵庫県の美方郡新温泉町で数個～数十個の入網が見られています。また、島根県出雲市の定置網では数十個～500個が断続的に入網しています。

傘径はいずれも50～100cm程度です。

今のところ大型クラゲの入網個数は少ないようですが、十分な注意をしてください。

大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報の提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第6号

平成18年8月25日
石川県水産総合センター

禄剛埼北東沖で大型クラゲが確認されました。

県内の情報 (8月24～25日)

- ・ 禄剛丸の調査で、昨日(8月24日)、禄剛埼北東1.2マイル沖において、大型クラゲを10個体を確認しました。
- ・ 本日、珠洲市折戸から真浦付近の沿岸寄りで散発的な目撃がありました。
- ・ 輪島市の定置網で、2個体(死亡個体)入網しました。
- ・ 加賀市の塩屋から片野の定置網、刺し網に今年度初めての入網が確認されました。入網数は定置網では5～20個体、刺し網では3個体でした。
- ・ 傘径は50～100cmが主体です。

県外の情報

- ・ 福井県越前町小樟～河野の定置網で、8月23日、30～100個体以上が入網し、8月24日も100個前後の入網が続いています。但し、若狭湾内の入網は比較的少ないようです。
- ・ 京都府伊根町、宮津市の定置網で、8月21～22日、10～150個体/日の入網が確認されました。
- ・ 鳥取県の隠岐周辺のまき網、島根県恵曇沖のまき網で、8月23日、漁獲物重量の4.8%、30トンの入網が確認されました。
- ・ 傘径はいずれも40～100cm程度です。

これまでは内浦海域での確認はありませんが、大型クラゲが禄剛埼に達したことから、今後、内浦海域への来遊も懸念されますので、十分注意をしてください。

大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報の提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第7号

平成18年8月31日
石川県水産総合センター

内浦海域でも大型クラゲが確認されました。

県内の情報 (8月30～31日)

定置網の状況

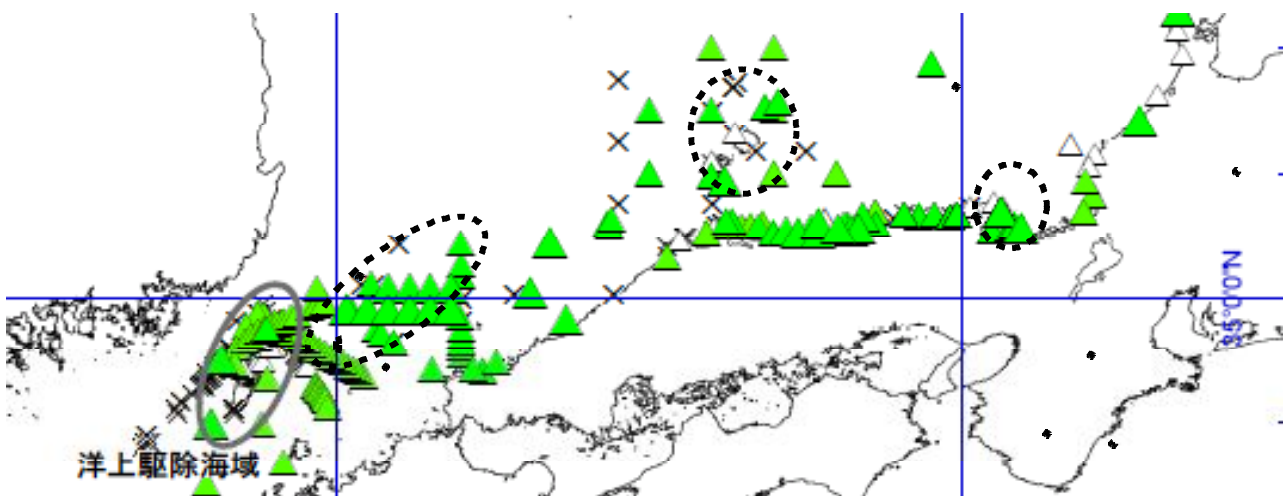
- ・8/30～31、珠洲市、能登町、能登島えの目沖で初めて入網が確認されました。数量は1～3個体/統で、傘径は30～70cmでした。
- ・加賀市～輪島市では10個前後の入網が続いています。
- ・加賀市では8月26日に100個体/統程度の入網がありましたが、その後は少なくなっています。傘径は70～100cmでした。


県外の情報

- ・福井県越前町では100個程度の入網が続いていましたが、最近は30個程度と少なくなってきています。若狭湾内の入網は比較的少ない状況が続いています。
- ・富山県、新潟県での目撃情報はありません。
- ・京都府伊根町の定置網で、40～250個体/日の断続的な入網が続いています。
- ・島根県沖の沖合底曳網では増加傾向傾向にあり、揚網できない時もあるようです。

(海域はN34°50 E130°0 ~N35°10 E131°0)

今のところ定置網へ入網数は少ないものの、内浦海域への来遊がみられ始めましたので、十分注意をしてください。



 大型クラゲの入網個体数の多い海域を示す



平成18年度 大型クラゲ情報 第8号

平成18年9月6日
石川県水産総合センター

加賀市、輪島市門前などの定置網で1000個体台 / 統の大型クラゲの入網が確認されました。

県内の情報 (9月1～6日)

定置網の状況

- ・加賀市、輪島市門前では、9月4～5日、1日当たり1000個体台 / 統の入網がありました。9月6日には、120～400個体 / 統の入網でした。
- ・小松市、志賀町富来では、9月5日、30～100個体 / 統の入網がありました。
- ・内浦海域では外浦に比べて少なく、数個体 / 統にとどまっています。

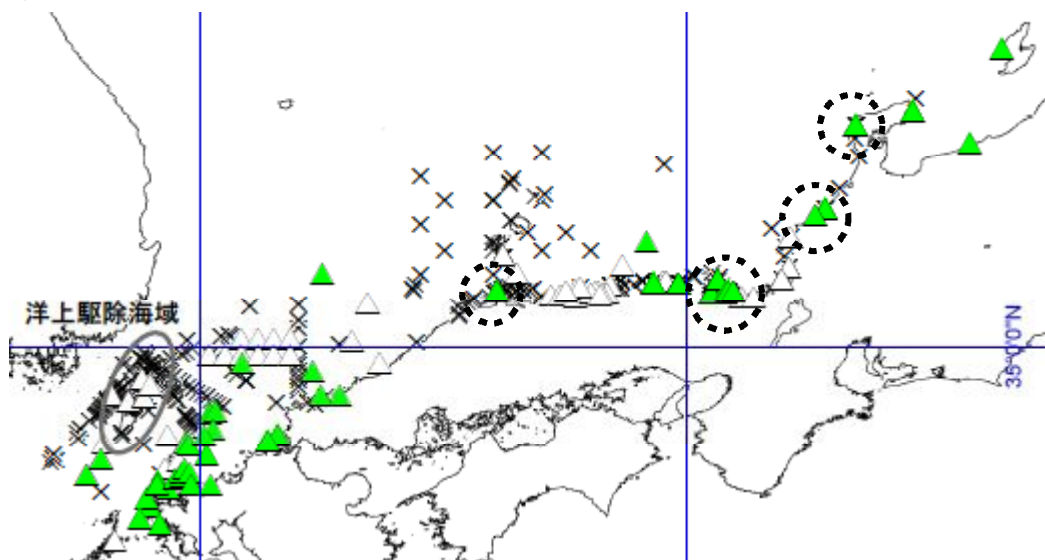
底曳網の状況

- ・底曳網では1～数個体 / 操業の入網が確認されています。

県外の情報 (9月1～5日)

- ・福井県嶺北地域の定置網では、多い網で数百個体程度の入網が続いています。嶺南地区の入網は比較的少ない状況が続いています。
- ・京都府京丹後市久美浜町、舞鶴市の定置網で、100～2000個体 / 日の入網があり、増加傾向がみられています。
- ・兵庫県美方郡の定置網では、8月下旬に1000個体の入網のありましたが、その後、減少して20～100個体で推移しています。

外浦海域にまとまった入網がみられるようになりましたので十分注意をしてください。



大型クラゲの入網個体数の多い海域を示す。



平成18年度 大型クラゲ情報 第9号

平成18年9月14日
石川県水産総合センター

県内の情報 (9月11~14日)

定置網の状況

- ・ 加賀市では、9月11日に800個体/統の入網がありましたが、9月14日には320個体/統とやや減少。
- ・ 小松市では、9月11~14日に0~15個体と小康状態が継続。
- ・ 志賀町富来では9月12日に1000個体以上が入網し、その後、対策網を敷設。
- ・ 輪島市門前では200個体前後の入網が継続。
- ・ 内浦海域では、5~数十個体/統の入網でやや増加傾向。

底曳網等の状況

- ・ 加賀市では9月14日、平均10個体前後/操業、多いところでは40~50個体/操業の入網があり、操業場所を選択。カレイ場に多い傾向。
- ・ 金沢市、南浦では9月13日、10個体前後/操業で、袋を切った場合もあった。エビ場では少なく、タイ場やカレイ場で多い傾向。
- ・ 加賀市ごち網のカレイ場で9月11~13日、10~30個体/操業の入網。

県外の情報 (9月11~14日)

- ・ 若狭湾内では、調査船の目視調査で40~287個体のまとまった群が確認されるとともに、これまで少なかった嶺南地区の定置網への入網も20~100個体以上/統に増加。
- ・ 京都府舞鶴市の定置網で、500~2000個体/統の入網。
- ・ 兵庫県美方郡の定置網で、200~300個体/統の入網。
- ・ 兵庫県の沖合底曳網では0~4個体/操業の入網。
- ・ 島根県隠岐郡西ノ島の定置網で600~5000個体/統のまとまった入網があり、隠岐島西郷付近で調査船から50個体以上を目視。

内浦海域に引き続き入網がみられ、内浦海域でも増加の兆しがみられるようになりましたので十分注意をしてください。



平成18年度 大型クラゲ情報 第10号

平成18年9月22日
石川県水産総合センター

県内の情報 (9月19~22日)

定置網の状況

- ・台風被害回避のため網上げや再敷設中で情報は少ないものの、増加傾向がみられます。
- ・加賀市では200~800個体/統の入網。
- ・能登町の小型定置網では10個体程度の入網。

底曳網等の状況

- ・加賀市の底曳網では岸寄り(ヘタ場)の多いところでは30~50個体/操業の入網。
- ・加賀市のゴチ網でも10~30個体/操業の入網。
- ・金沢市では10~20個体/操業の入網。対策網を使用。

調査船目視情報(白山丸・祿剛丸)

- ・調査船の目視結果では舳倉島付近にまとまった群れを発見。

月日	北緯	東経	個数	大きさ	おおよその海域
9/21	37-25.7	137-22.9	2	30~40	長手埼東沖
	37-39.8	137-14.8	1	40~50	嫁礁付近
	37-40.9	137-03.5	1	40~50	
	37-42.7 ~37-43.9	136-59.7 ~136-57.2	67	40~70	舳倉島南南東7~10海里付近
	37-44.6	136-55.8	3	40~70	同上
	37-46.2	136-51.9	45	40~70	同上
	37-14.6	137-08.6	8	80	能登町鵜川東沖3海里

県外の情報 (9月15~21日)

- ・福井県越前町の定置網では、台風による休漁のため数日分の溜まったこともあるが、500~1000個体/統の入網。また、福井県美浜町から高浜町の定置網で70~1000個体/統の入網。
- ・京都府舞鶴市の定置網で900~1000個体/統、京丹後市の定置網で50~200個体/統の入網。
- ・大型クラゲの分布域の先端は、9月16日に青森県三沢市まで到達。

台風による強風や潮流の影響で、沿岸へ寄る兆候がみられますので十分注意をしてください。



平成18年度 大型クラゲ情報 第11号

平成18年9月29日
石川県水産総合センター

加賀海域でかなりの量の入網が確認されるようになりました。

県内の情報（9月24～28日）

定置網の状況

- ・加賀市では、連日1000～数千個体/統の入網。大きさは傘径30cm程度の小型個体が混じり、9月28日には小型が約5割であった。
- ・白山市美川町では9月26日、1500個体/統の入網。
- ・金沢市では9月27日、1000個体/統の入網。
- ・輪島市門前町では150～500個体/統の入網が続いている。大きさは傘径で50～100cm程度。
- ・輪島市では20～30個体/統の入網。
- ・能登内浦では20～300個体/統の入網で、日によって増減がある。

底曳網等の状況

- ・金沢市の底曳網では引き続き、10～20個体/操業の入網。対策網を使用。
- ・輪島市の底曳網では4～5個/操業の入網。岸寄りに入網が多い。
- ・加賀市のゴチ網は平均10～30個体/操業の入網、最高は100～200個体/操業の入網もあった。
- ・羽咋市のゴチ網では10～30個体/操業の入網、クラゲの少ない漁場を選択して操業。
- ・珠洲市の底曳網では1～2個体/操業の入網。

刺し網等の状況

- ・加賀海域の刺し網ではクラゲが網に掛かり操業できない状況。

県外の情報（9月24～27日）

- ・福井県越前町の定置網では、500～1000個体/統の入網。また、福井県美浜町から高浜町の定置網では1000～5000個体/統の入網。
- ・京都府伊根町の定置網で800～2000個体/統、舞鶴市の定置網で150個体/統の入網。
- ・京都府の底曳網（水深150～200m）では50～60個体/操業の入網。
- ・鳥取県の定置網では漁獲物の3～4割がクラゲであり、大きさは20～30cmと小型。

入網の多い海域が加賀海域に集中しています。十分注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第12号

平成18年10月6日
石川県水産総合センター

加賀海域に加え、能登、内浦海域にもまとまった群が分布

○ 県内の情報 (10月2~5日)

調査船情報 (白山丸・禄剛丸)

- ・ 七ツ島南東3海里から禄剛埼北東2.5海里にかけて5~40個体の中小群が断続的に分布。
- ・ 能登内浦海域では右図のように、宇出津沖以南で2~146個体/海里が分布。
- ・ 宇出津沖以北では0~12個体/海里が分布。

定置網の状況

- ・ 加賀市では数千個体/統が続く。
- ・ 輪島市門前町では220~1200個体/統の入網が続いている。大きさは傘径で50~100cm程度。
- ・ 灘浦海域では5~数十個/統の入網。

底曳網等の状況

- ・ 加賀市の底曳網では20~30個体/操業の入網。

刺し網等の状況 (10月3~4日)

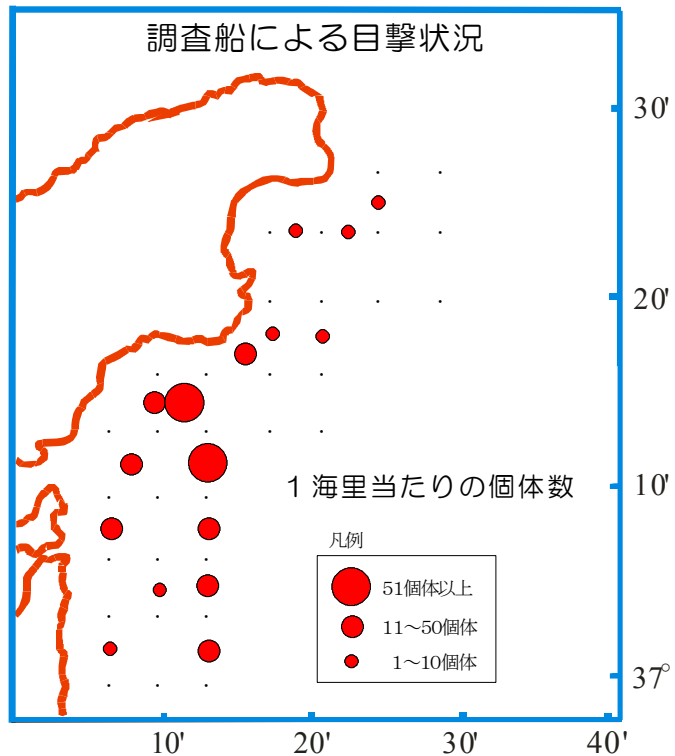
- ・ 加賀海域の刺し網では1~2個体/網の羅網であったが、増加傾向で操業に支障がでている。

○ 県外の情報 (10月2~4日)

- ・ 福井県越前町の定置網では、引き続き1000個体以上/統の入網。また、福井県小浜市付近の定置網では500~5000個体/統の入網。
- ・ 京都府伊根町の定置網で1500個体/統、舞鶴市の定置網で300~1300個体/統の入網。
- ・ 富山県朝日町~氷見市一帯の定置網で100個体前後/統の入網。

加賀海域に加えて、能登内浦海域にもまとまった群が接岸していますので、十分注意してください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。





平成18年度 大型クラゲ情報 第13号

平成18年10月18日
石川県水産総合センター

外浦海域では多量の入網が継続、 内浦海域では小康状態であるが、増加の兆し

○ 県内の情報 (10月10～18日)

定置網の状況

- ・ 加賀市の定置網では1000個体／統程度の入網が継続。大きさは傘径30～100cmの大小混じり。
- ・ 輪島市門前町の定置網では500～2000個体／統の入網が継続。
- ・ 能登町の定置網では10～20個体／統程度の入網であるが、増加の兆し。
- ・ 七尾市灘浦の定置網では5～50個体／統の入網。
- ・ 傘径50cm以下のクラゲが混じっていることから、定置網の従来の目合いの対策網では通過するものがあり、効果が低下しています。

底曳網等の状況 (10月10～17日)

- ・ 加賀海域の底曳網では対策網を使用しているが、操業場所を選択している。
- ・ 珠洲市の底曳網では対策網を準備中。
- ・ 羽咋市柴垣のゴチ網では100個体／操業の入網もあり、操業場所を選択している。

○ 県外の情報 (10月10～17日)

- ・ 10月10日・13日、航空機による若狭湾沖合の目視調査結果では福井県三国の北西沖10海里及び越前岬の西沖17海里付近で濃密分布。
- ・ 福井県越前岬から小浜市沖の定置網では500～5000個体／統の入網が続く。
- ・ 京都府舞鶴市の定置網では150～400個体／統の入網。
- ・ 兵庫県美方郡香美町の定置網で30～300個体／統の入網。
- ・ 島根県定置網で1500～2000個体／統の入網。
- ・ 秋田県、青森県で1000～2000個体／統の入網。

若狭湾沖合でも濃厚な分布が確認されています。十分な注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第14号

平成18年10月31日
石川県水産総合センター

**外浦海域では多量の入網が継続、
内浦海域ではやや沖合に濃密群がみられる。**

○ 県内の情報 (10月29～31日)

目視情報

10月31日の祿剛丸による宇出津～祿剛埼間の目視調査結果

海 域	目視個体数
宇出津～小木沖 2～3海里	50個体／海里
小木～珠洲市鵜飼沖 5海里	178
鵜飼～長手埼沖 3海里	263
長手埼～祿剛埼沖 2～3海里	69

傘径は30～150cmと大小混じり。

定置網の状況

- ・加賀市の定置網では入網数多く網が揚げられない状態。
- ・輪島市門前町の定置網では午前、午後の2回操業で、いずれも5000個体／統の入網。
- ・珠洲市の定置網では130～150個体／統の入網。
- ・能登町の定置網では数十～数百個体／統の入網で、日変動が大きい。
- ・七尾市灘浦の定置網では100個体以上／統の入網。

底曳網等の状況 (10月27～31日)

- ・金沢市の底曳網では対策網を使用、操業場所を選択している。特に水深150m前後入網が多い。
- ・羽咋市柴垣のごち網では100個体／操業の入網もあり、操業場所を選択している。
- ・輪島市の底曳網ではアンコウ漁場での入網が多い。

○ 県外の情報 (10月20～27日)

- ・福井県越前町の定置網では2000～3000個体／統の入網。傘径50～100cm。
- ・福井県小浜市から高浜町沖の定置網では750～5000個体／統の入網。
傘径30～50cmと小型が多い。
- ・京都府舞鶴市野原の定置網では1000～2000個体／統、京都府栗田湾周辺の定置網では10～300個体／統の入網。
- ・長崎県対馬豆酛湾の定置網では0～50個体／統の入網。

島根県出雲の定置網では今年度最大の入網となっています。
京都府～福井県の定置網では多量の入網が続いています。
内浦海域でも濃密群が目視されることから十分な注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第15号

平成18年11月15日
石川県水産総合センター

能登半島西側の沿岸域に濃密な群が分布

○ 県内の情報 (11月6～14日)

定置網の状況

- ・輪島市門前町の定置網では2000～4000個体/統の入網。時化回りもあり、操業切り上げ準備中。
- ・珠洲市の定置網では5～1500個体/統の入網。11月9日をピークに減少傾向。
- ・能登町、七尾市の定置網では50～500個体/統の入網で、やや減少して小康状態。傘径30～100cm。

底曳網等の状況 (11月13～14日)

- ・加賀市、金沢市の底曳網のカニ場では対策網を使用しており、衰弱個体が入網するものも大きな支障はない模様。クラゲ仕切り網が2尺目では傘径の小さいクラゲや切れ端の入網がある。
- ・加賀市のごち網では平均5～10個体/操業、最高50個体/操業の入網。

刺し網の状況

- ・加賀海域では水深10～100mの操業海域でみられ、多い時は100個体以上/連の羅網があり、操業反数を減らしている。傘径50～100cmのものに30～40cmの小さい個体も混じる。

外浦海域の航空機による分布調査結果 (10月31日)

- ・外浦海域では岸から60海里内で断続的に濃い分布域があり、特に、能登半島西側の沿岸に濃密な群が目視された。

○ 県外の情報 (11月1～13日)

- ・富山県氷見市の定置網では100～300個体/統の入網。
- ・福井県越前町の定置網では200～4000個体/統の入網。日ごとの入網数の変動が大きい。傘径30～100cm前後。
- ・京都府舞鶴市田井の定置網では20～500個体/統、伊根町の定置網では2000個体前後/統の入網。傘径100cm前後。
- ・兵庫県美方郡の定置網では1500～2000個体/統の入網。傘径80～100cm。
- ・島根県松江市の定置網は1500～3000個体/統の入網。傘径50～100cm。

- ・福井県の底曳網では10～20個体/操業の入網で、入網による大きな支障は出ていない。傘径30～50cmと小型が多い。
- ・若狭湾の目視調査結果では湾全般に分布し、特に湾東部に濃密な群が目視された。

能登半島西側などで濃厚な群が確認されていますので、引き続き十分な注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第16号

平成18年12月5日
石川県水産総合センター

加賀海域の底曳網のカニ場では小さい個体の入網が続いています。

○ 県内の情報 (12月1～4日)

定置網の状況

- ・外浦海域の定置網は時化のため操業切り上げ。
- ・珠洲市蛸島町では0～15個体／統の入網で、入網無しの日もみられる。
- ・能登町では10個体前後／統の入網。
- ・七尾市灘浦では20～30個体／統の入網。
- ・内浦海域の定置網では全般に減少傾向にある。

底曳網等の状況 (11月20日～12月4日)

- ・加賀市のゴチ網では20～30個体／操業の入網があり、半分は斃死個体。
- ・時化模様で情報は少ないが、金沢市の底曳網のカニ場では小さいクラゲのまとまった入網があり、防除網の目合を2尺目から1尺5寸目に替えて対処中。
- ・珠洲市の底曳網ではカニ場で入網があり、その内の深場での入網数が多い傾向。

国の調査船による目視調査

- ・能登半島北沖では11月末に1～9個体の群れを目視。傘径は50～100cm。

○ 県外の情報 (11月25日～12月4日)

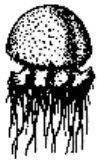
- ・福井県美浜町～高浜町の定置網では50～5000個体／統の入網。日毎の変動が大きい。
傘径は30～100cm。
- ・京都府舞鶴市、伊根町の定置網では200～800個体／統の入網。
傘径は100cm前後と50cm前後の2群。
- ・兵庫県美方郡の定置網では100個体／統の入網。ほとんど破片状態。
- ・山口県青海島沖の定置網では200個体／統の入網。

国の調査船による目視調査

- ・長崎県対馬周辺海域では11月中旬に1～10個体の群れを散発的に目視。
傘径は25～60cm。

能登半島内浦海域の入網数は減少傾向にありますが、加賀海域の底曳網や福井県、京都府では、引き続きまとまった入網がありますので、十分な注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第17号

平成18年12月15日
石川県水産総合センター

底曳網ではまとまった入網があり、対策網が必須の状況が続いています。

○ 県内の情報 (12月6~15日)

定置網の状況

- ・ 珠洲市蛸島町では0~20個体/統の入網で、入網無しの日もある。
- ・ 能登町、七尾市灘浦ではほとんど入網が無くなった。
- ・ 内浦海域の定置網では操業への支障は見られなくなった。

底曳網等の状況 (12月6~15日)

- ・ 加賀市の底曳網では対策網を使用して操業している。
- ・ 羽咋市の底曳網では引き続き、カニ場での入網数多く、破網被害もみられる。
- ・ 珠洲市の底曳網では対策網を使用しないと操業出来ない状況、全船が装備。
- ・ 加賀市のゴチ網、刺し網では入網数は減少傾向、破片等の入網割合が多くなった。

調査船による目視調査 (12月6・8日)

- ・ 内浦海域観測航行中、飯田湾及び沖合8海里付近に10~30個体/海里のやや濃い群を目視。また、能登島東沖から七尾市灘浦沖にかけては0.2~3個体/海里を目視。

○ 県外の情報 (12月6~15日)

- ・ 福井県美浜町~高浜町の定置網では10~1000個体/統の入網。日毎の変動が大きい。傘径は30~100cm、底曳網は10~20個体/網の入網。
- ・ 京都府舞鶴市の定置網では4~20個体/統の入網。
傘径は100cm前後と50cm前後の2群。
- ・ 兵庫県美方郡の定置網では100~1000個体/統の入網。大型の群が新たに加入。

調査船による目視調査 (12月11~13日)

- ・ 富山湾奥の富山県岩瀬、水橋沖1~4海里では観測停船中に1~7個体を目視。

能登半島内浦海域の入網数は減少傾向にありますが、加賀海域の底曳網にはまとまった入網がありますので、引き続き十分な注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成18年度 大型クラゲ情報 第18号

平成18年12月27日
石川県水産総合センター

底曳網では対策網の使用が必要な入網状況が続いています。

○ 県内の情報 (12月16~27日)

定置網の状況

- ・ 珠洲市蛸島町では10~20個体/統の入網が続いている。傘径は50~100cm。

底曳網等の状況 (12月16~27日)

- ・ 加賀市の底曳網では入網数がやや減少傾向、斃死個体の入網もみられる。
- ・ 金沢市の底曳網では対策網を使用しての操業が続いている。
- ・ 珠洲市の底曳網では対策網を使用して操業、狼煙沖、嫁礁周辺での入網数が多い模様。

○ 県外の情報 (12月16~26日)

- ・ 福井県の定置網では0~300個体/統の入網。底曳網では0~30個体/網の入網。
- ・ 京都府の舞鶴市、伊根町の定置網では5~50個体/統の入網。傘径は50~100cm。
- ・ 兵庫県美方郡の定置網では100~200個体/統の入網。大型個体や破片が混在。
- ・ 兵庫県但馬沖 (水深240m) の底曳網では170~190kg/操業の入網。

底曳網ではまとまった入網がありますので、引き続き十分な注意をしてください。

今後も大型クラゲの入網状況、入網位置などの情報提供をお願いします。



平成19年度 大型クラゲ情報 第1号

平成19年6月28日
石川県水産総合センター

東シナ海で大型クラゲの出現を確認 長崎県対馬周辺への出現は7月上中旬頃と予測

水産庁による大型クラゲ出現・予測情報が発表されましたので、お知らせします。

1. 大型クラゲの出現情報

- ・ 水産庁の調査船の調査で、6月12～13日、及び21～25日に東シナ海中央部で大型クラゲの出現が確認された。
- ・ 青島～下関間の国際フェリーの目視観測でも、6月19日に済州島北西の黄海で出現が確認された。
- ・ 韓国からの情報でも、上記の海域の他、朝鮮半島西岸及び南岸の一部で出現が確認されている。

2. 今後の予測

- ・ (独)水産総合研究センターによる、我が国周辺水域への出現予測では、7月上中旬頃までに長崎県対馬周辺に出現する可能性がある。
(昨年は7月21日、一昨年は7月8日に対馬に出現した。)

3. 情報提供のお願い

今年も心配していた大型クラゲの出現が確認されました。
県では内外の情報収集に努め、出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施していきます。大型クラゲの目撃や入網等の情報の提供をお願いします。

なお、6月27日付けの漁業情報サービスセンター等による大型クラゲ出現情報は
【<http://www.jafic.or.jp/kurage>】のアドレスでご覧になれます。



平成19年度 大型クラゲ情報 第2号

平成19年7月11日
石川県水産総合センター

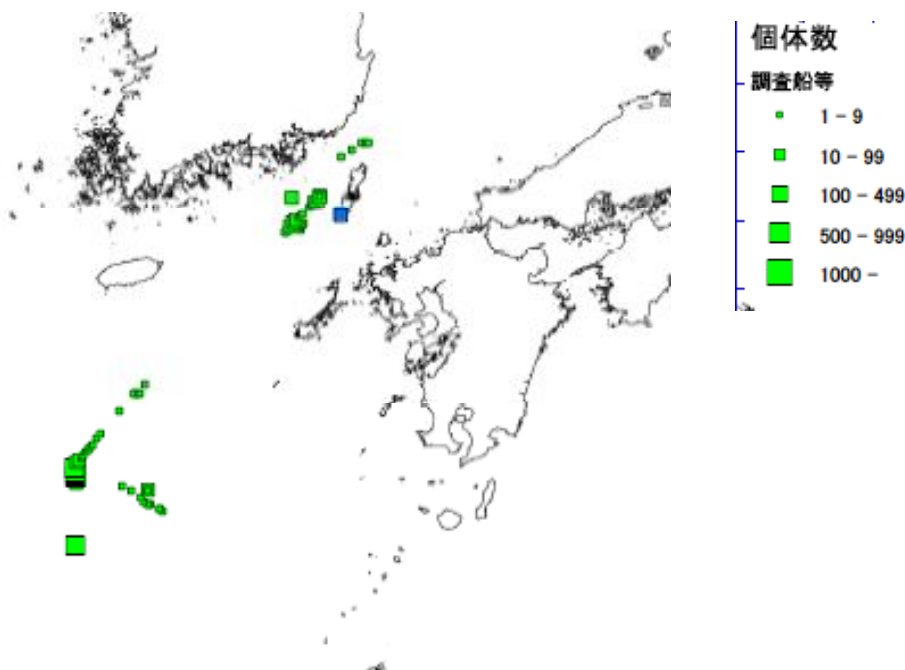
対馬の^{つつ}豆殻定置網で大型クラゲが入網 対馬の西沖、北沖の海域でも発見情報

1. 大型クラゲの出現情報

- 7月9日、対馬の豆殻定置網で10～15個体の入網がありました。
入網した大型クラゲの大きさ（傘径）は10～30cmで、今のところ小型です。
- 7月9日、対馬の西沖および北沖（下図）で1～30個体を、調査船（天鷹丸）が発見しています。大きさ（傘径）は10～50cmです。

2. 今後の見込み

- 対馬での出現時期は、昨年が7月21日、一昨年は7月8日であったことから、昨年より早く、一昨年並となっています。日本海への流入が確実となりました。



7月10日付けの漁業情報サービスセンター等による大型クラゲ出現情報は
【<http://www.jafic.or.jp/kurage>】のアドレスでご覧になれます。



平成19年度 大型クラゲ情報 第3号

平成19年8月 2日
石川県水産総合センター

対馬の^{うづ}豆殻定置網で大型クラゲの入網数が増加傾向 島根県浜田市の北北東沖海域にも出現

1. 大型クラゲの出現情報

<入網情報>

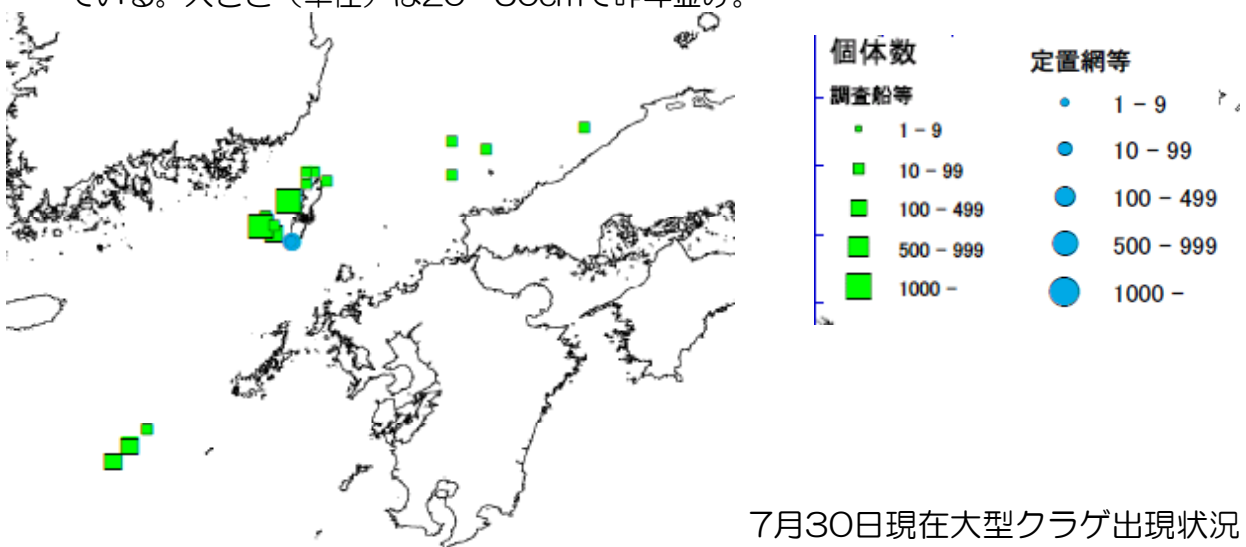
- 7月27～30日、対馬の豆殻定置網でエチゼン・ヒゼンクラゲ混じりで約300個体が入網し、増加傾向にある。
- 7月25日、島根県の浜田市北北東15海里沖で底曳網調査時に4個体が入網。
大きさ（傘径）は30～50cm。

<出現情報>

- 7月21～28日、対馬の周辺海域で数十～200個体のまとまった群れが出現。
大きさ（傘径）は20～30cm。
- 7月12・25日、対馬海峡を通過する大型クラゲの目視情報は、対馬西水道の韓国側で多い。
今後、日本海沖合への分布も予想される。（分布密度は0～0.31個体/100m²）
大きさ（傘径）は20～60cm。

2. 昨年との比較

- 昨年同期の分布範囲は対馬周辺であった。今年は昨年より1週間程度早い分布・移動となっている。大きさ（傘径）は20～50cmで昨年並み。



7月30日現在大型クラゲ出現状況

7月30日付けの漁業情報サービスセンター等による大型クラゲ出現情報の
【<http://www.jafic.or.jp/kurage>】のアドレスでご覧になれます。



平成19年度 大型クラゲ情報 第4号

平成19年8月8日
石川県水産総合センター

兵庫県香住付近の定置網に大型クラゲが初めて入網 対馬の豆酛定置網では入網継続

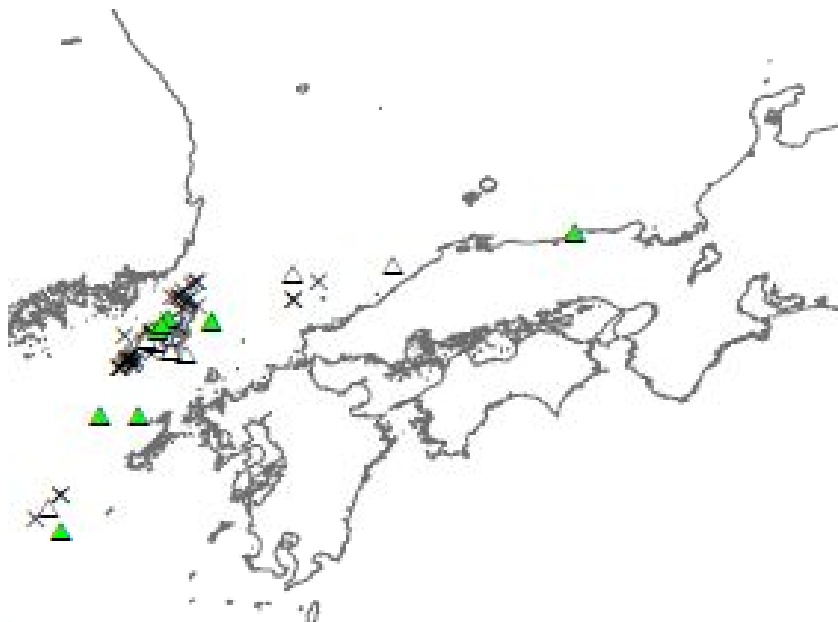
1. 大型クラゲの入網・出現情報

<入網情報>

- ・ 8月2日、兵庫県香住町付近の定置網に、今期初めて、大型クラゲ1個体が入網。
大きさ（傘径）は35cm。
- ・ 7月30～31日、対馬の豆酛定置網で、エチゼン・ビゼンクラゲ混じりで300個体以上の入網が継続。

<出現情報>

- ・ 7月18～24日の韓国の目視情報では、黄海南部と東シナ海西北部海域に濃密群が分布している。今後、対馬海峡を経て、日本海へ分布を拡大するの可能性もある。
大きさ（傘径）は30cm主体で15～60cm。



▲ 最近1週間の発見位置

△ 2週間～1週間前の発見位置

× 1ヶ月前までの発見位置

8月6日現在大型クラゲ出現状況

8月6日付けの漁業情報サービスセンター等による大型クラゲ出現情報の
【<http://www.jafic.or.jp/kurage>】のアドレスでご覧になれます。



平成19年度 大型クラゲ情報 第5号

平成19年8月20日
石川県水産総合センター

京都府京丹後市の定置網に大型クラゲが初めて入網

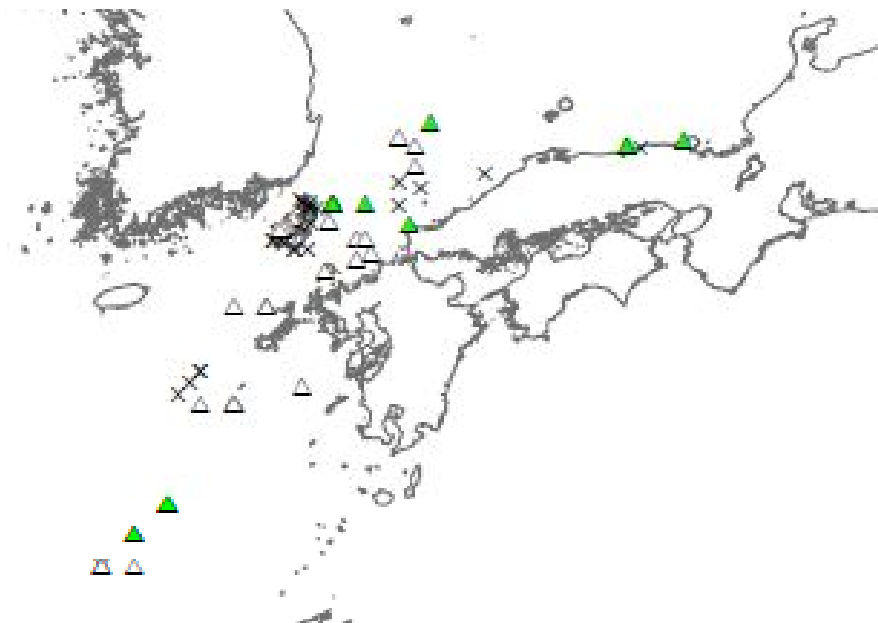
1. 大型クラゲの入網・出現情報

<入網情報>

- ・ 8月16日、京都府京丹後市網野町の定置網に、今期初めて、大型クラゲ1個体が入網。
大きさ（傘径）は40cm。

<出現情報>

- ・ 対馬海峡のフェリーの目視観測結果では、西水道（対馬～釜山）で0.6～10.4個体／10000m²、東水道（博多～対馬）は0個体。
- ・ 速報であるが、島根県の沖合底曳網でまとまった入網情報がある。
- ・ 8月13～17日の韓国周辺の目視情報では、韓国のほぼ全沿岸域において分布がみられている。平均傘計60cm。
- ・ 8月上旬、東シナ海の以西底曳網では10個体程度の入網。
大きさ（傘計）は20～30cm。
- ・ これらの情報から、大型クラゲは日本海沖合へ分布している可能性がありますので、注意してください。



▲ 最近1週間の発見位置

△ 2週間～1週間前の発見位置

× 1ヶ月前までの発見位置

8月17日現在大型クラゲ出現状況



平成19年度 大型クラゲ情報 第6号

平成19年8月27日
石川県水産総合センター

今期、県内の定置網（加賀市）に初めて大型クラゲの入網を確認

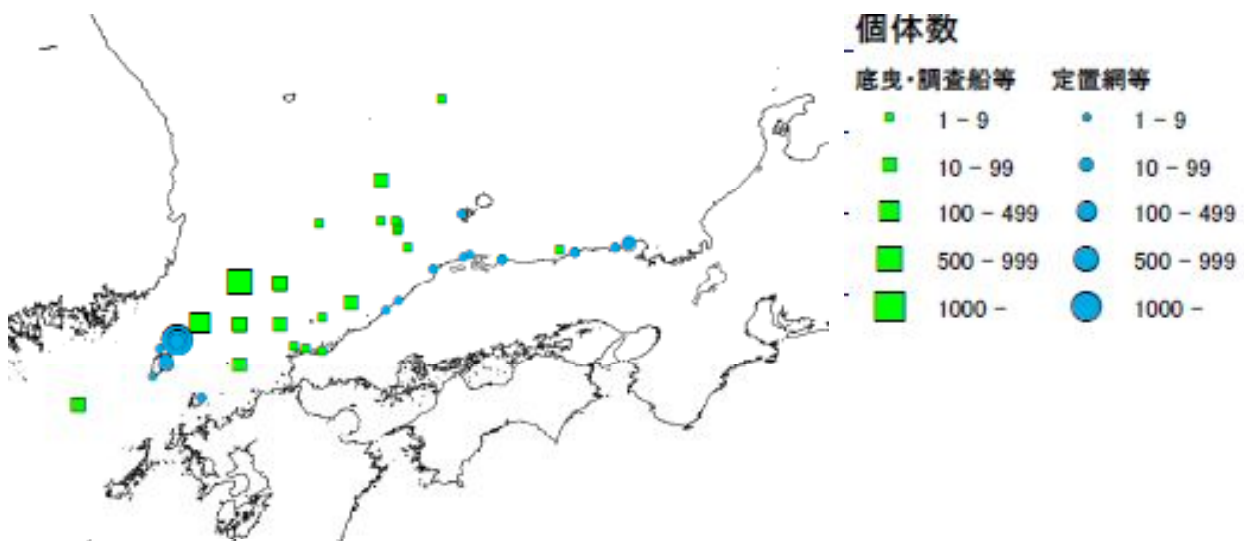
<県内の入網情報>

- ・ 8月26日、本県の加賀市の定置網で、今期、初めて大型クラゲ1個体の入網を確認。昨年、県内で初めて確認情報があったのは8月21日であり、5日遅れ。確認された大型クラゲの大きさ（傘径）は50cmで、昨年同期の70～100cmよりやや小型。
- ・ 県内のその他海域での入網情報はありません。

<県外の情報>

- ・ 8月25日、福井県大飯町の定置網に初めて入網。
- ・ 8月23日、島根県の定置網で4個体の入網。大きさ（傘径）は20～30cm。
- ・ 8月15～20日、対馬の定置網で80～1000個体の入網。大きさ（傘径）は30～50cm。
- ・ 8月16～24日、山口県沖の底曳網で数十～数百個体の入網があり、破網被害もでている。

<県内の定置網で入網が確認されました。また、対馬、山陰沖海域ではまとまった入網の情報もあります。十分に注意してください。>



JAFIC大型クラゲ情報（8月25日現在）より
（福井県・石川県の情報は未記入）

今後とも大型クラゲの入網状況や入網位置などの情報提供をお願いします。



平成19年度 大型クラゲ情報 第7号

平成19年8月31日
石川県水産総合センター

県内の外浦の定置網、ごち網、刺し網に散発的な入網

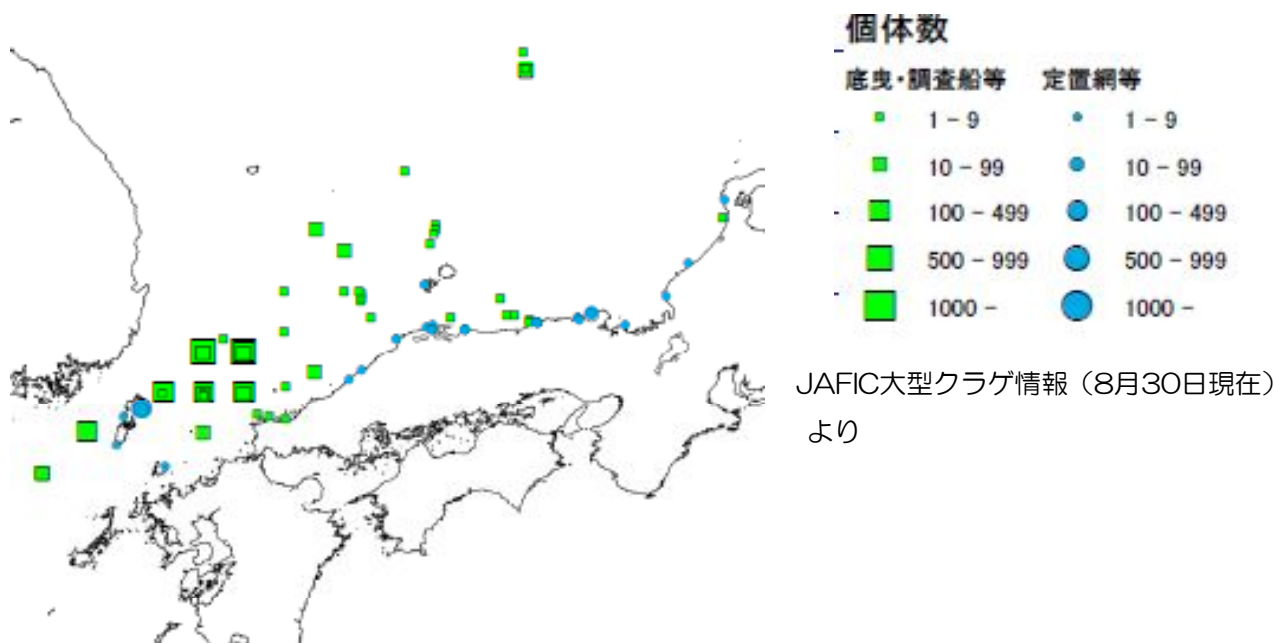
<県内の入網情報>

- 8月29～30日、加賀市、富来町の定置網で、大型クラゲ2～3個体／網の入網。大型クラゲの大きさ（傘径）は50cm。
- 8月28日、加賀市の刺し網で1個体／網の入網。傘径は25～50cm。
- 8月29日、羽咋市のごち網で、2個体の入網。傘径は30cm。
- 8月31日、輪島市門前町の定置網で1個体の入網。傘径は40cm。

<県外の情報>

- 福井県の定置網での入網数は1～2個体／網であるが、大飯町から越前町まで拡大しつつある。
- 8月27日、京都府の定置網で0～3個体／網の入網。
- 8月25～26日、鳥取県田後沖のイカ釣り漁場で大型クラゲのまとまった群を発見。
- 8月23～28日、島根丸の沖合分布調査結果では隠岐諸島西方海域で確認。（1～18個体／30分曳網）。
- 8月20～21日、大和堆南西海域の底曳網で5～20個体の入網。

<今のところ、本県沿岸での分布数量は少ないものの、沖合海域で分布も予想されます。十分に注意してください。>



今後は底曳網海域の情報も併せて提供をお願いします。



平成19年度 大型クラゲ情報 第8号

平成19年9月12日
石川県水産総合センター

外浦海域の定置網、底曳網で入網個体数が増加 傘径は80~100cmと大型個体も混入

<県内の入網情報>

定置網（9月7~12日）への入網個体数は増加傾向。

- ・ 9月9~12日、加賀市の定置網で4~30個体/統の入網。
- ・ 9月8日、小松市の定置網で5個体/統の入網。
- ・ 9月10日頃、志賀町の定置網で約20個体/統の入網。
- ・ 9月10・11日、輪島市門前町の定置網で10~15個体/統の入網。
- ・ 9月9~12日、輪島市曾々木の定置網で1~2個体/統の入網。

傘径は20~80cmと大型の個体も混じるようになった。

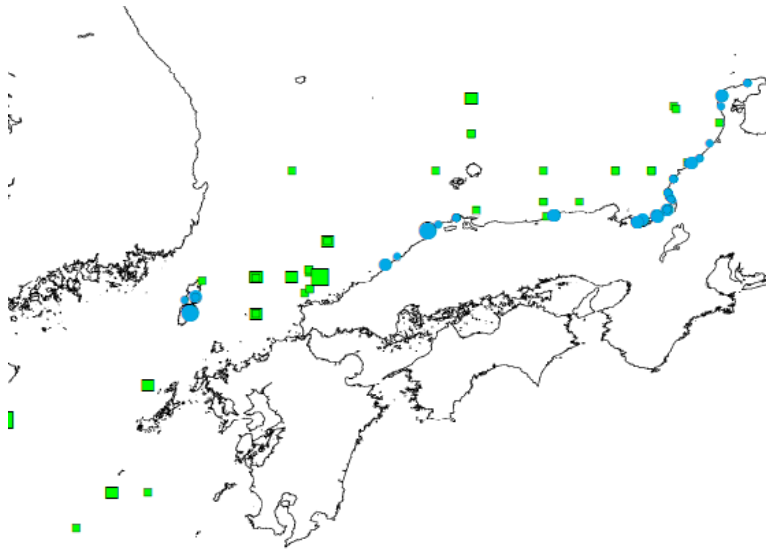
ごち網・底曳網（9月5~12日）の入網個体数も増加傾向で、多い場合は10個体/網。

- ・ 9月5~9日、加賀市のごち網で0~7個体/隻の入網。
傘径は50~80cmと大型個体も混じる。
- ・ 9月10、12日、金沢市北西沖30海里付近の底曳網で3~4個体/網の入網。
傘径は40cm前後が主体であるが、1mサイズも混じる。
- ・ 9月12日、輪島市のまき網で15個体の入網。

<県外の情報>

- ・ 9月6~10日、福井県の定置網で5~60個体の入網。特に福井県高浜地先で多い傾向。傘径は30~50cm。
- ・ 9月1~5日、若狭湾沖のまき網で1~3個体の入網。傘径は30~60cm。
- ・ 9月上旬、兵庫県の定置網で10~20個体の入網。傘径は30~50cm。
- ・ 9月上旬、対馬~見島付近の底曳網で10~100個体の入網。傘径は70~100cm。

<本県の外浦海域での入網個体数が増加傾向にあります。十分に注意してください。>



個体数

底曳・調査船等	定置網等
■ 1 - 9	● 1 - 9
■ 10 - 99	● 10 - 99
■ 100 - 499	● 100 - 499
■ 500 - 999	● 500 - 999
■ 1000 -	● 1000 -

9月11日現在の出現状況

今後とも入網場所、数量等の
情報提供をお願いします



平成19年度 大型クラゲ情報 第9号

平成19年9月19日
石川県水産総合センター

今期初めて、内浦海域の定置網に入網
外浦海域の定置網では数個体程度の入網が継続

<県内の情報>

発見情報

- ・ 9月18日、白山丸が能登町小木沖で2個体を発見。傘径は50cm程度。

定置網 (9月17~19日)

- ・ 9月19日、能登町の小型定置網で1個体が入網。傘径は50cm。
- ・ 9月17~18日、加賀市の定置網で0~1個体/統の入網。
- ・ 9月17日、輪島市門前町及び普々木の定置網で5~10個体/統の入網。

ごち網・底曳網 (9月12~19日)

- ・ 9月12~13日、加賀市のごち網で0~5個体/隻の入網。傘径は60~100cm。
- ・ 9月19日、金沢市北西~西北西沖30海里付近の底曳網で0~2個体/網の入網。傘径は40~60cm。

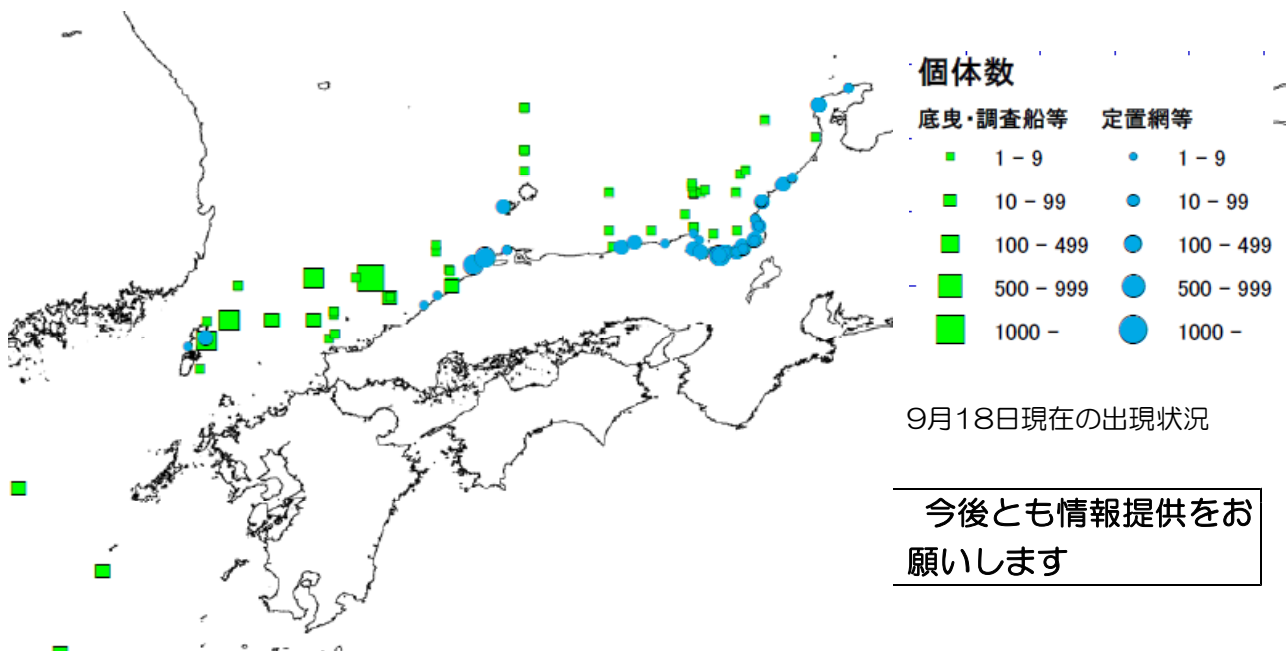
刺し網

- ・ 外浦海域の刺し網は0~1個体程度の散発的入網。破片も混じる。

<県外の情報>

- ・ 9月9~12日、若狭湾沖の底曳網で1~4個体が入網。衰弱個体が混じる。
- ・ 9月10~14日、兵庫県の定置網で1~10個体が入網。傘径は50cm。
- ・ 9月12~13日、隠岐島の定置網で200個体/網の入網。傘径30~80cm。
- ・ 9月11~12日、山口県見島北西海域の底曳網で8~100個体が入網が続く。
- ・ 9月9~13日、秋田県の底曳網で1~10個体が入網。

<本県の内浦海域でも分布するようになりました。十分に注意してください。>





平成19年度 大型クラゲ情報 第10号

平成19年9月28日
石川県水産総合センター

志賀町～輪島市の定置網で100個体以上の入網 能登半島外浦海域の底曳網でやや増加傾向

<県内の情報>

発見情報

- ・ 9月27日、白山市沖で取締船が1～2個体を散見。傘径は50～100cm。
- ・ 9月19日、七尾市佐々波沖で1個体を目視。傘径は50cm。

定置網（9月25～28日）

- ・ 9月25～28日、加賀市及び小松市の定置網で2～18個体／統の入網。傘径は60～100cm。
- ・ 9月27日、志賀町富来、輪島市門前町、大沢の定置網で100～300個体／統の入網。傘径は50～70cm。
- ・ 9月26～27日、輪島市町野町の定置網で2～8個体／統網の入網。

ごち網・底曳網（9月24～27日）

- ・ 9月24～25日、加賀市～羽咋市沖のごち網で2～25個体／隻の入網。傘径は80～100cm。
- ・ 9月27日、舩倉島周辺の底曳網で4～8個体／網の入網。傘径は50～100cm。

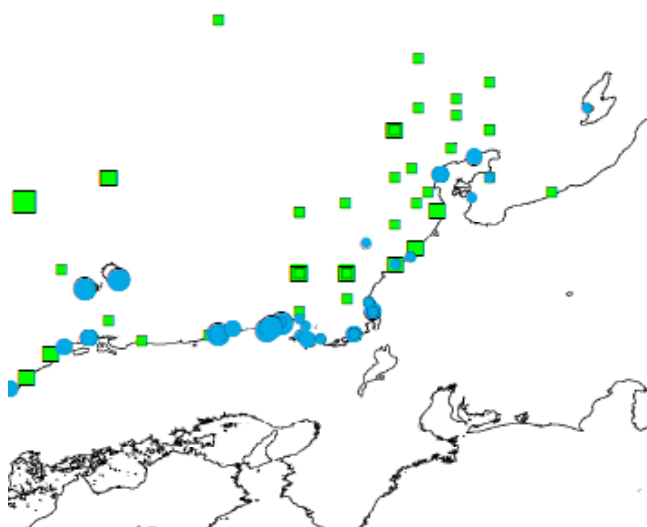
刺し網

- ・ 外浦海域の刺し網では引き続き散発的な入網。

<県外の情報>

- ・ 9月17～21日、能登半島西・北沖の底曳網で2～33個体/隻の入網。傘径は50cm。
- ・ 9月22～26日、福井県の定置網で1～5個体/統の入網。
- ・ 9月21～26日、兵庫県～京都府久美浜の定置網で20～100個体/統の入網。
- ・ 9月11～20日、島根県沖～隠岐島周辺の定置網で0～200個体/統の入網。

<外浦海域の広い範囲で分布するようになってきました。十分に注意してください。>



個体数

底曳・調査船等		定置網等	
■	1 - 9	●	1 - 9
■	10 - 99	●	10 - 99
■	100 - 499	●	100 - 499

9月27日現在の出現状況

今後とも情報提供をお願いします



平成19年度 大型クラゲ情報 第11号

平成19年10月4日
石川県水産総合センター

加賀海域の定置網で増加傾向。
輪島市の定置網でも100個体近くの入網が続く。

<県内の情報>

発見情報

- ・ 10月2日、志賀町沖で取締船が10個体を目視。傘径は100cm。
- ・ 10月3日、柴垣沿岸で、釣り人が10個体以上の群を目視。

定置網（10月1～4日）

- ・ 10月1～4日、輪島市町野町の定置網で1～15個体／統の入網。
- ・ 10月2～4日、輪島市門前町の定置網で50～100個体／統の入網が続く。
傘径は40～70cm。
- ・ 10月4日、加賀市、小松市の定置網で62～250個体／統の入網。増加傾向。
傘径は60～100cm。

ごち網・底曳網（10月1～4日）

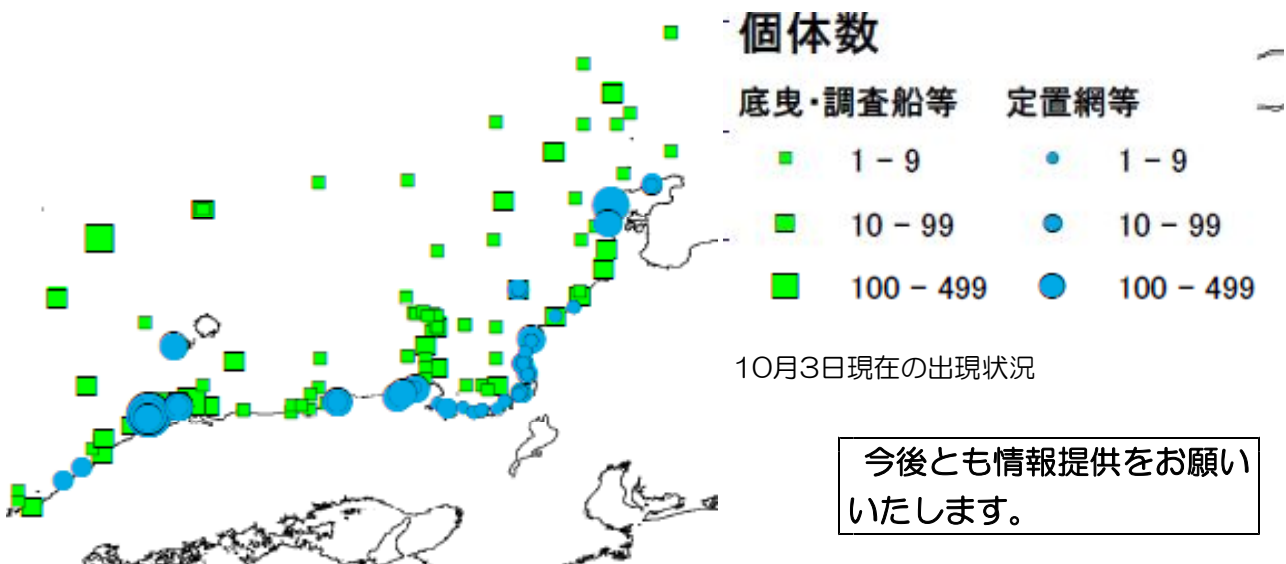
- ・ 10月1～3日、加賀市のごち網で1～31個体／隻。増加傾向。
- ・ 10月4日、輪島市北沖40海里付近の底曳網でまとまって入網（数量は不明）。
傘径は60～80cm。

刺し網

- ・ 10月3日、加賀市の刺し網で2～3個体が羅網。傘径は80～100cm。

<県外の情報>

- ・ 9月28日、島根県平田（島根半島）の定置網で3000個体／統の入網。その他の網でも30～300個体／統の入網。日ごとの増減が大きい。
 - ・ 10月2日、福井県越前岬の定置網で0～200個体／統の入網。傘径は30～100cm。
- <外浦海域の広い範囲で分布するようになってきました。十分に注意してください。>



今後とも情報提供をお願いいたします。



平成19年度 大型クラゲ情報 第12号

平成19年10月18日
石川県水産総合センター

輪島市の定置網で300～800個体の入網が続く。
内浦海域の定置網で散発的な入網が始まる。

<県内の情報>

定置網

- 10月10～16日、能登町の定置網で1～8個体／統の入網。
- 10月14・17日、加賀市の定置網で15～20個体／統の入網。
- 10月15～17日、輪島市門前町の定置網で300～800個体／統の入網が継続。
- 10月15～17日、輪島市町野町の定置網で3～12個体／統の入網。
傘径は50～90cm。

ごち網・底曳網

- 10月14・15日、加賀市のごち網で10～20個体／隻の入網。
- 10月15日、金沢市沖水深65m付近（タイ場）の底曳網で揚網できない程の入網。
- 10月15・17日、羽咋市沖のごち網で80～100個／隻の入網。

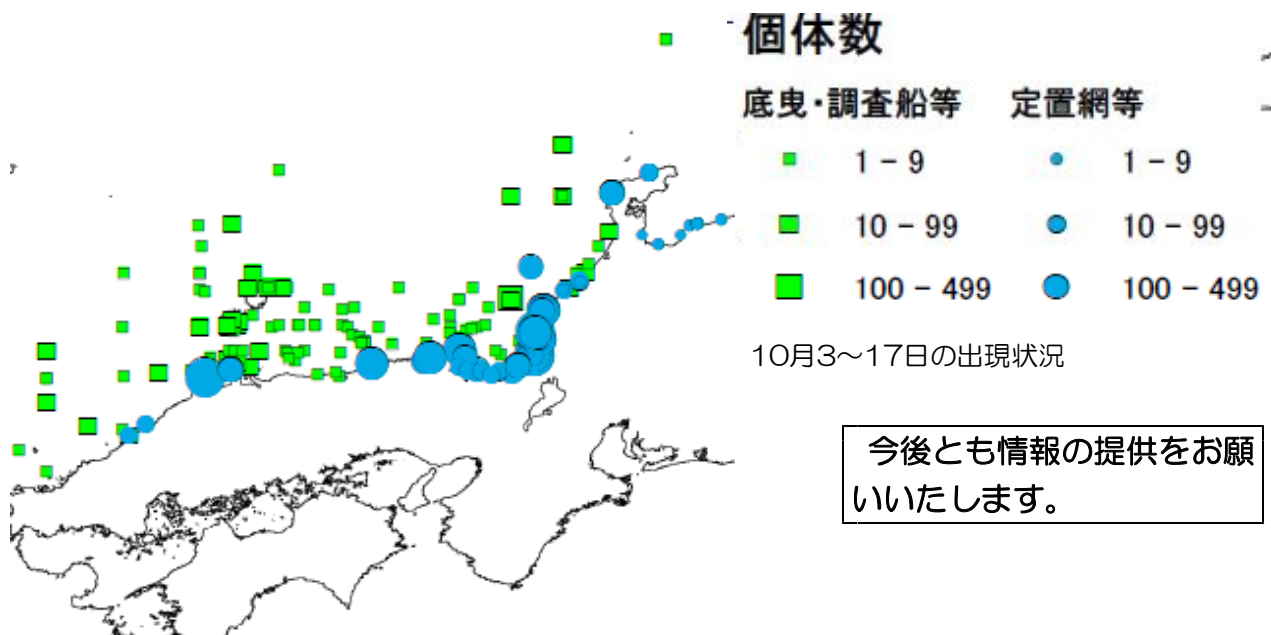
刺し網

- 10月中旬、加賀市の刺し網で3～4個体が羅網。

<県外の情報>

- 10月10～16日、京都府伊根町・舞鶴市の定置網で3～150個体／統の入網。
傘径50～100cm。
- 10月17日、福井県越前町の定置網で300～600個体／統の入網。
傘径は50～100cm。
- 10月15日から福井県漁連が大型クラゲ洋上駆除を開始した。

<福井県の定置網でまとまった入網が続いています。十分に注意してください。>



今後とも情報の提供をお願いいたします。



平成19年度 大型クラゲ情報 第13号

平成19年10月31日

石川県水産総合センター

外浦海域の定置網で40～2500個体と入網のばらつきがあるものの増加傾向。

<県内の情報>

定置網

- 10月27～31日、加賀市の定置網で40～700個体／統の入網。
死んだ個体が半数以上にみられる。
- 10月27～31日、輪島市門前町の定置網で600～2500個体／統の入網。
- 10月28～29日、輪島市町野町の定置網で50～300個体／統の入網。
- 10月30日、珠洲市の定置網で30～40個体／統の入網。
- 10月30～31日、能登町から七尾市の定置網で10～数十個体／統の入網。
傘径は概ね50～120cm。

ごち網・底曳網

- 10月24～28日、加賀市沖のごち網で60～114個体／隻の入網。
- 10月25日、加賀市沖の底曳網で2～50個体／網の入網。
- 10月24～28日、羽咋市沖のごち網で15～36個体／隻の入網。
- 10月31日、輪島市北沖40海里付近（エビ場）の底曳網で1～2個体／網の入網。

刺し網

- 10月下旬、加賀市沖の刺し網で多い時は20～50個体／隻が羅網。

<県外の情報>

- 10月26日、京都府網野の定置網で1500個体／統の入網。
- 10月29～30日、福井県小浜及び越廼の定置網で1000個体／統の入網。
傘径は50～100cm。
- 10月下旬、島根県隠岐島後の定置網で、数十～1000個体／統の入網が継続。
能登半島外浦から福井県、京都府に至る海域でまとまった入網が続いています。

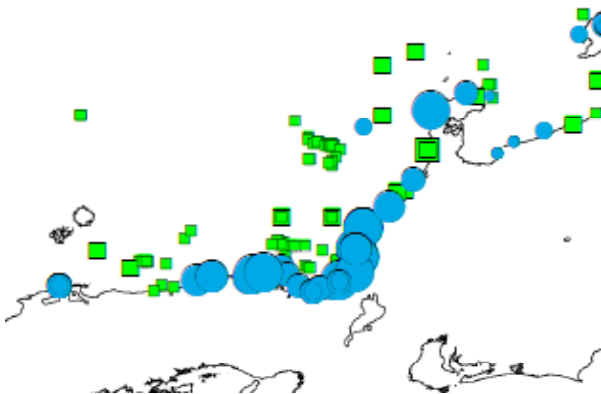
十分に注意してください

個体数

底曳・調査船等	定置網等
■ 1 - 9	● 1 - 9
■ 10 - 99	● 10 - 99
■ 100 - 499	● 100 - 499

10月17～30日の出現状況

今後とも情報の提供をお願い
致します。





平成19年度 大型クラゲ情報 第14号

平成19年11月7日

石川県水産総合センター

外浦海域の定置網では、多いところで2000個体／統の入網が継続。
内浦海域の定置網では、最高30個体／統の散発的な入網。

<分布情報>

- 10月15日～11月6日の東京海洋大学「神鷹丸」による大型クラゲの分布調査によると、能登外浦海域、越前の沿岸、隠岐島周辺海域に多く分布している。

<県内の情報>

定置網

- 11月3～6日、加賀市の定置網で10～250個体／統の入網。死んだ個体が半数以上みられる。
- 11月3～6日、輪島市門前町の定置網で600～2000個体／統の入網。
- 11月4～6日、珠洲市の内浦海域側の定置網で5～30個体／統の入網。
- 11月6日、能登町から七尾市の定置網で2～30個体／統の入網。
傘径は概ね50～120cm。

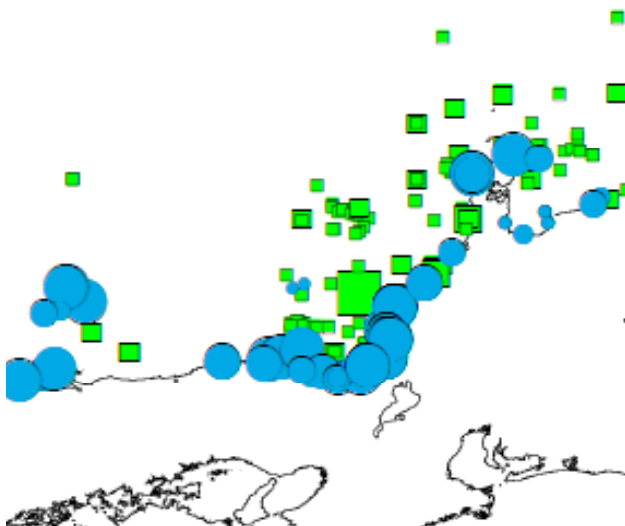
ごち網・底曳網

- 11月4～5日、白山市沖のごち網で60～100個体／隻の入網。
- 11月6日、金沢市沖（カ二場）の底曳網で0～4個体／網の入網。

<県外の情報>

- 11月2日、福井県南越前町から若狭町の定置網で1500個体前後／統の入網。
越前町の定置網で200～300個体／統の入網が続く。
傘径は50～100cm。
- 11月上旬、島根県隠岐、出雲の定置網で数百～1400個体／統の入網があり、再び増加傾向。

依然として、福井県から能登半島外浦に至る海域でまとまった入網が続いています。
十分に注意してください



大型クラゲ出現図

10月23日～11月5日

個体数

底曳・調査船等	定置網等
■ 1 - 9	● 1 - 9
■ 10 - 99	● 10 - 99
■ 100 - 499	● 100 - 499

今後とも情報の提供をお願い致します



平成19年度 大型クラゲ情報 第15号

平成19年11月16日
石川県水産総合センター

福井県、島根県の定置網では依然として1000個体以上の入網が継続。
外浦海域の定置網では対策網を導入している関係で、数十～300個体の入網が継続。
内浦海域の定置網では数十個体程度の入網。

<県内の情報>

定置網

- 11月7～15日、加賀市の定置網で6～20個体／統の入網。対策網（バパス網）の導入によって入網数が減少しているものと想定される。一方、クラゲ破片の混入が多い。
- 11月7～16日、輪島市門前町の定置網で50～300個体／統の入網。対策網導入。
- 11月7～16日、珠洲市の内浦海域側の定置網で5～20個体／統の入網。
- 11月14日、七尾市の定置網で1000個体以上／統の入網があったが、その後は減少。その他の内浦海域の定置網では10個体前後／統の入網。
- 傘径は概ね40～100cm。

ごち網・底曳網

- 11月7～15日、加賀市～白山市沖のごち網で10～75個体／隻の入網。
- 11月9・16日、金沢市沖（カニ場）の底曳網で1～5個体／網の入網。

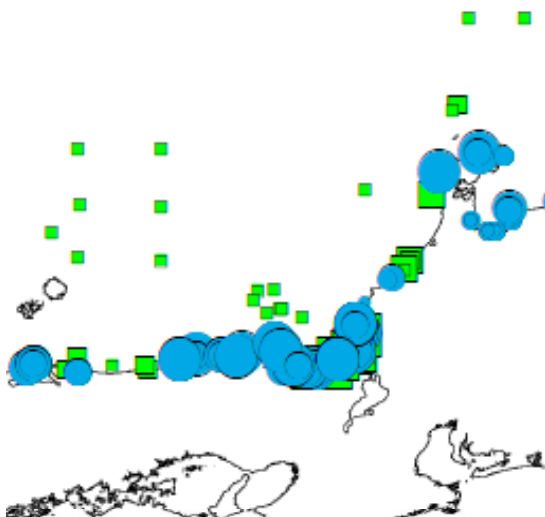
<県外の情報>

- 11月11～14日、福井県小浜市から南越前町の定置網で1500～10000個体／統の入網。傘径は50～100cm。
- 11月中旬、島根県隠岐、出雲、石見の定置網で数十～2000個体／統の入網。傘径は70～90cm。

島根～福井県の定置網では依然として大量入網が継続しています。十分に注意してください

大型クラゲ出現図

11月2日～15日



個体数

底曳・調査船等	定置網等
■ 1 - 9	● 1 - 9
■ 10 - 99	● 10 - 99
■ 100 - 499	● 100 - 499

今後とも情報の提供をお願い致します



平成19年度 大型クラゲ情報 第16号

平成19年11月27日

石川県水産総合センター

内浦海域の定置網では日変化が大きく、数十～300個体／統の入網で増加傾向。
福井県～島根県の定置網では依然として2000～4000個体／統の入網が継続。

<県内の情報>

定置網

- ・ 11月22～27日、珠洲市の内浦海域側の定置網で10～200個体／統の入網。増加傾向。
- ・ 11月20～27日、能登町の定置網で数十個体／統の入網。
- ・ 11月20～27日、七尾市の定置網で50～60個体／統の入網。多い時には200～300個体／統の入網もある。傘径は100cmサイズが半分混じる。

ごち網・底曳網

- ・ 11月23～27日、加賀市～白山市沖のごち網で130～285個体／隻の入網。
- ・ 11月26日、金沢市沖（カニ場）の底曳網で0～10個体／網の入網。傘径100cm。

刺し網

- ・ 11月25・26日、小松市沖の刺し網で30～40個体／統の羅網。

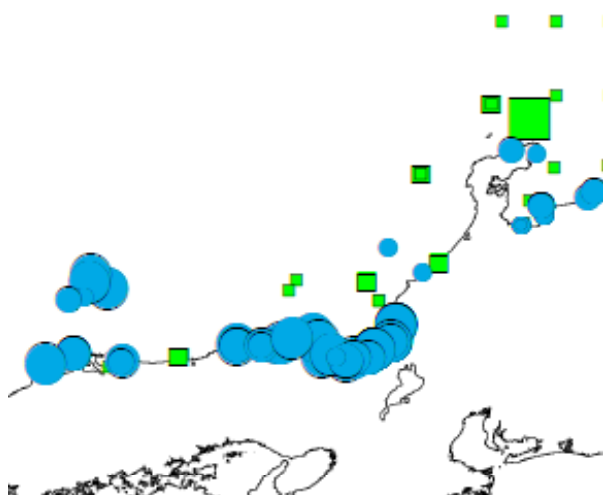
<県外の情報>

- ・ 11月19～20日、福井県高浜町から南越前町の定置網で500～5000個体／統の入網。傘径は50～100cm。
- ・ 11月14～22日、京都府京丹後市の定置網で2000～3000個体／統の入網。
- ・ 11月24・25日、島根県隠岐と出雲の定置網で数百～2000個体／統の入網。

島根県～福井県の定置網では依然として大量入網が継続しています。十分に注意してください！！

大型クラゲ出現図

11月13～26日



個体数

底曳・調査船等

定置網等

■ 1 - 9

● 1 - 9

■ 10 - 99

● 10 - 99

■ 100 - 499

● 100 - 499

今後とも情報の提供をお願い致します



平成19年度 大型クラゲ情報 第17号

平成19年12月12日
石川県水産総合センター

祿剛埼北西沖の底曳網漁場で増加傾向。

福井県～島根県の定置網では依然として500～4000個体／統の入網が継続。

<県内の情報>

定置網

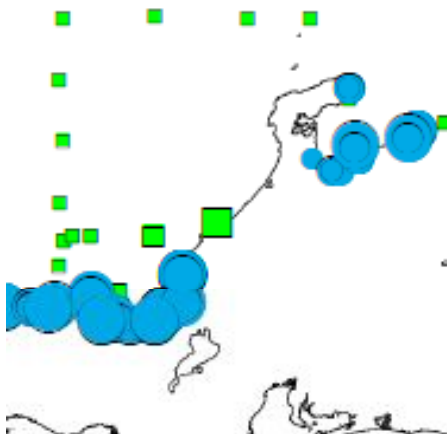
- ・ 12月5～12日、珠洲市の内浦海域側の定置網で20～150個体／統の入網。
- ・ 12月11日、能登町の定置網で1～10個体／統の入網。
- ・ 12月11～12日、七尾市の定置網で最高200個体／統の入網。場所による入網差が大。
- ・ 傘径は50～100cm。

ごち網・底曳網

- ・ 12月6～11日、加賀市～白山市沖のごち網で16～44個体／隻の入網。やや減少傾向。
- ・ 12月11日、金沢市沖（カニ場）の底曳網で5～10個体／網の入網。増加傾向。傘径は30～100cm、100cm以上も混じる。
- ・ 12月12日、珠洲市祿剛埼北西20海里付近で操業の底曳網漁場で入網数が増加。周辺海域一帯に分布している模様。

<県外の情報>

- ・ 12月10日、福井県若狭町から越前町の定置網で500～3000個体／統の入網。傘径は100cm以上。
- ・ 12月4～10日、京都府舞鶴市の定置網で1000～2000個体／統の入網。傘径は50～100cm。
- ・ 12月上旬、島根県隠岐島の定置網で500～1000個体／統の入網が継続。浜田市や松江市の定置網でも100～3000個体／統の入網。傘径は100cm。



日本海西部の定置網では依然としてまとまった入網が続いています。珠洲市沖でも増加傾向にあります。十分に注意してください！！

大型クラゲ出現図

11月28日～12月11日

今後とも情報の提供をお願い致します



平成19年度 大型クラゲ情報 第18号

平成20年1月8日
石川県水産総合センター

祿剛埼北沖の底曳網漁場では10個体／網の入網。

福井県の定置網では日変動が大きいものの、20～2000個体／統の入網が継続。

<県内の情報>

目視情報（1月7日）

- ・ 長手埼東沖2海里で約30個体の群れを目視。
- ・ 祿剛埼北西沖18海里で1～2個体を散見。

定置網

- ・ 1月4～8日、珠洲市の内浦海域側の定置網で0～10個体／統の入網。
- ・ 1月4～8日、能登町の定置網で10～100個体／統の入網。
- ・ 1月7日、七尾市の定置網で数個体／統の入網。
- ・ 傘径は50～100cm。

底曳網・ごち網

- ・ 1月4～7日、加賀海域の底曳漁場のカニ場では10個体／網、カレイ場では40～50個体／網の入網。
1月4～7日、加賀海域のごち網漁場では、多い時に50～60個体／網の入網。
- ・ 1月7日、珠洲市祿剛埼北沖15海里付近の底曳網漁場で10個体／網程度の入網が継続。

<県外の情報>

- ・ 12月下旬、島根県隠岐島の定置網で最高100個体／統の入網。減少傾向。
- ・ 1月4～7日、福井県高浜町から美浜町の定置網で20～2000個体／統の入網。日変動が大きい。

内浦海域の定置網漁場では小康状態ですが、若狭湾や底曳網漁場ではまとまった入網があります。引き続き十分に注意してください！！

今後とも情報の提供をお願い致します



平成20年度 大型クラゲ情報 第1号

平成20年8月6日
石川県水産総合センター

現時点で、大型クラゲの入網情報はありません。

1. 日本近海での目視情報（種類を確認中）

- ・ 7月29～30日、東シナ海（31° N 127° E）で5～10個体（傘径25～30cm）を目視。
- ・ 7月27日、山口県の見島西沖で1個体（傘径25cm）を目視。
- ・ 7月29日、対馬の西水道（対馬と韓国の間）で10個体（傘径30cm）を目視。

2. 大型クラゲの調査結果

- ・ 青島～下関間の国際フェリーの目視観測結果では、黄海中西部海域、渤海の多い箇所では0.17～0.9個体/100平方メートルを目視している。昨年8月（10個体/100平米）より少ない。
- ・ 韓国の情報では5月中旬に済州島で、6月中旬以降は朝鮮半島の西岸・南岸・東岸で出現が確認されている。

2. 今後の予測

- ・ 現時点では日本沿岸で大型クラゲの入網情報はありませんが、朝鮮半島の周辺で確認されていることから、日本海の沖合海域に分布している可能性もあります。今後の情報に注意してください。

（一昨年は7月21日、昨年は7月8日に対馬に出現した。）

3. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。
大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成20年度 大型クラゲ情報 第2号

平成20年8月22日

石川県水産総合センター

現時点まで、県内外での大型クラゲの入網報告はありません。

1. 日本近海での目視情報

- ・ 8月12日、対馬東方海域で1個体（傘径40cm）の発見がありました。

2. 県外の情報

- ・ 現時点では日本沿岸で大型クラゲの入網情報はありません。

3. 今後の予測

- ・ 今年度の大型クラゲの日本周辺海域での出現は少ない可能性があります。今後の情報に注意してください。

4. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。

大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成20年度 大型クラゲ情報 第3号

平成20年9月10日
石川県水産総合センター

県内外での大型クラゲの漁具への入網情報はありません。

1. 日本近海での目視情報（調査船による結果）

- ・ 8月26～28日、隠岐諸島以西海域での調査ネットへの入網はありません。
- ・ 9月5～6日、山口県沖の見島周辺2ヶ所で、1～2個体/ヶ所の発見がありました。同海域での調査ネットへの入網はありません。

2. 県外の情報

- ・ 現時点では日本沿岸で、大型クラゲの漁具への入網情報はありません。
- ・ 9月上旬、韓国の沿岸及び黄海では大型クラゲの確認情報があります。

3. 今後の予測

- ・ 日本周辺海域での大型クラゲの出現は少ない状況が続いていますが、今後の情報に注意してください。

4. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。

大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成20年度 大型クラゲ情報 第4号

平成20年9月19日
石川県水産総合センター

県内外での大型クラゲの漁具への入網情報はありません。

1. 日本近海での目視情報

- ・ 8月25～31日、9月9～10日の調査船「白山丸」による能登半島北沖及び大和堆周辺海域での目視確認はありませんでした。
- ・ 9月3～16日、東経134度15分以西海域における調査船の分布調査で調査ネットへの入網はありませんでした。
- ・ 9月7日に、対馬の東沖で1個体（傘径 40cm）、9月14日に隠岐諸島南西約5海里沖で1個体（傘径 50cm）の目視情報がありました。

2. 県外の情報

- ・ 現時点では、日本沿岸での大型クラゲの漁具への入網情報はありません。
- ・ 9月中旬、韓国の沿岸では大型クラゲの確認情報があります。

3. 今後の予測

- ・ 日本周辺海域での大型クラゲの出現個体数は少なく、それも日本海西部に限られています。今後の情報に注意してください。

4. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。

大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成20年度 大型クラゲ情報 第5号

平成20年9月29日

石川県水産総合センター

県内での大型クラゲの漁具への入網情報はありません。

1. 日本近海での目視情報

- ・ 9月23日に隠岐諸島西沖で5～10個体（傘径50cm）、9月26日に対馬の豆酸崎の定置網に2個体（傘径30cm）の発見や入網の情報がありました。ただし、エチゼンクラゲであるかを確認中です。
- ・ 9月17日～24日の調査船「白山丸」による能登半島北沖及び大和堆周辺海域での目視確認はありませんでした。

2. 県外の情報

- ・ 韓国沿岸で、9月下旬、大型クラゲの確認箇所が増加したとの情報があります。

3. 今後の予測

- ・ 日本周辺海域での大型クラゲの出現個体数は少なく、依然として日本海西部海域に限られていますが、今後の情報に注意してください。

4. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。

大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成20年度 大型クラゲ情報 第6号

平成20年10月14日

石川県水産総合センター

対馬～見島付近で、定置網、底曳網に少数の入網がありました。
県内で漁具へ入網情報はありません。

1. 日本近海での目視情報

- ・ 9月29日～10月1日、長崎県対馬～山口県見島の周辺海域で底曳網に1～10個体（傘径30～75cm）の入網がありました。ただし、種類を確認中です。
- ・ 10月4～5日、東シナ海の済州島付近でまき網に数個体（傘径50～80cm）の入網がありました。
- ・ 10月10日、対馬の定置網に1個体（傘径80cm）の入網がありました。
- ・ 10月1～2日、調査船「白山丸」による能登半島北西沖海域（北緯38度以南）での目視確認はありませんでした。

2. 県外の情報

- ・ 10月上旬、韓国沿岸での確認数量はやや減少傾向にあるものの、依然、継続している。

3. 今後の予測

- ・ 個体数は少ないものの、日本海西部海域で漁具へ入網がありました。
今後の情報に注意してください。

4. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。

大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成20年度 大型クラゲ情報 第7号

平成20年10月20日

石川県水産総合センター

対馬～見島付近で、底曳網、定置網に少数の入網が継続。
県内で、漁具への入網情報はありません。

1. 日本近海での目視情報

- ・ 10月11～14日、山口県見島北沖で底曳網に1～2個体（傘径50～100cm）、10月8～13日、対馬西沖で底曳網に5～20個体（傘径50～70cm）の入網がありました。
- ・ 10月15日、対馬の定置網に1個体（傘径50cm）の入網がありました。

2. 県内の情報

- ・ 県内で、漁具への入網情報はありません。
- ・ 10月15日、金沢港付近でビゼンクラゲの目視報告がありました。（傘径30cm前後）ビゼンクラゲは、本県でも希に報告があります。取り上げると体色は青みかかっているのでエチゼンクラゲとは区別できます。

3. 今後の予測

- ・ 目視個体数は少ないものの、日本海西部海域で漁具への入網が継続しています。今後の情報に注意してください。

4. 情報提供のお願い

県では今後も内外の情報収集に努め、情報提供を実施していきます。

大型クラゲの目撃や入網等の情報がありましたら、連絡をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第1号

平成21年7月10日
石川県水産総合センター

1. 大型クラゲの出現状況について

(1) 県外の定置網等の情報

- ・6月30日以降、長崎県対馬で定置網への入網が続いている。
- ・7月4～7日、対馬西岸一帯の定置網に40～1000個体/統の入網があった。
- ・傘径は20～30cmで、現在のところは小型である。

(2) 対馬海峡・東シナ海の情報

- ・対馬海峡フェリーの目視調査では、7月7日、対馬北部に高密度の分布が認められた。
- ・国際フェリーの目視調査では、6月20～24日、青島～博多間の黄海中央部と済州島近海で、上海～博多間の上海沖～済州島南沖でそれぞれ分布が認められた。
- ・傘径はいずれも10～50cmである。
- ・韓国の目視情報では、7月3日、朝鮮半島西岸、南岸および済州島で分布が認められた。

2. 今後の見通し

- ・長崎県対馬で大型クラゲの出現が確認されたことから、今後、本州日本海側沿岸への来遊が予想されますので、情報にご注意ください。

※ 昨年、本県沿岸への来遊はありませんでした。

※ 平成19年は、7月9日に対馬で、8月26日に加賀市の定置網で初めて確認されました。

3. 情報提供のお願い

- ・県では、大型クラゲの出現状況や防除対策事例等の情報提供を実施して行きます。
- ・大型クラゲの目撃や入網等がありましたら、速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第2号

平成21年7月16日
石川県水産総合センター

大型クラゲの主群は長崎県対馬周辺に分布し、その先端は山口県見島沖に達している。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県外の定置網等の情報 (7月10~13日)

- ・長崎県対馬西・北岸の定置網で500~5000個体/統の入網があった。
- ・長崎県対馬東岸の定置網で50~500個体/統の入網があった。
- ・長崎県対馬豆酸崎(下対馬)の定置網で100~3000個体/統の入網があったが、日変動が大きい。
- ・傘径はいずれの海域も20~50cmとやや大きくなった。

(2) 洋上目視情報

<対馬周辺海域>

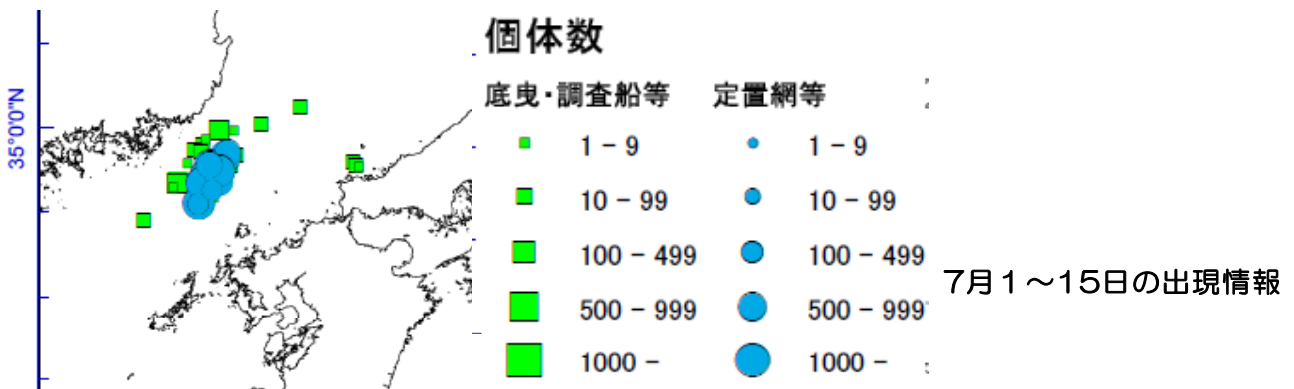
- ・7月3~7日、上対馬周辺海域で0.2~1.9個体/100m²と密度の高い海域があった。傘径は20~30cm。

<日本海沿岸域>

- ・7月14~15日、調査船が、山口県下関北西25海里及び見島沖で10~400個体を確認した。傘径は10~60cm。

2. 今後の見通し

- ・長崎県上対馬で多く確認されている大型クラゲは、韓国東岸を北上した後、沖合域を中心に分布を東方に広げ、7月下旬頃に隠岐諸島周辺に達するものと予測されています。今後、本県沿岸への来遊が予想されますので、十分ご注意ください。



大型クラゲの目撃や入網等がありましたら、速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第3号

平成21年7月22日
石川県水産総合センター

大型クラゲは対馬周辺から山口県沖に分布し、その先端は隠岐海峡に達した。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県外のまき網等の情報

・7月12～19日、対馬東沖から山口県沖の海域で、まき網に70～600個体／統が入網した。傘径は20～50cm。

(2) 洋上目視情報

・7月17～20日、対馬周辺と山口県北方60～70海里の海域で高密度群（100個体／100m²）を確認した。傘径は15～70cm。

・7月21日、調査船が隠岐海峡の分布を確認した。

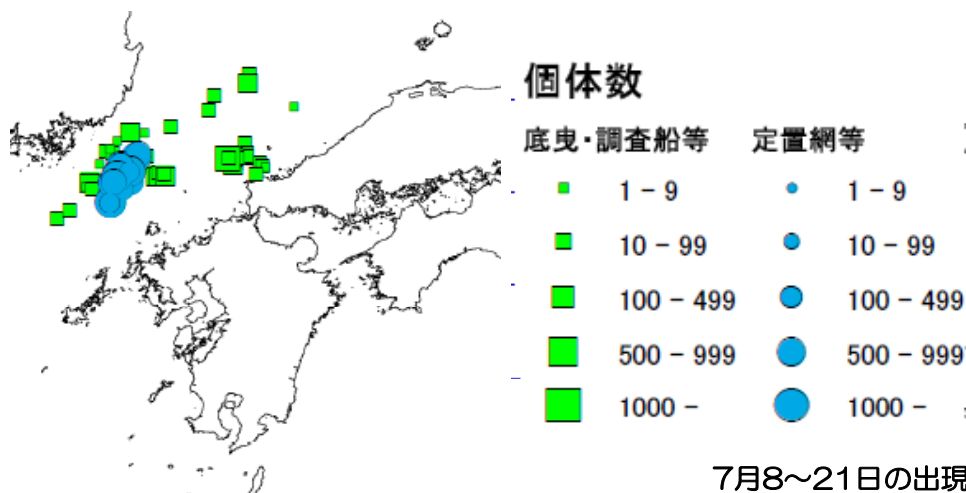
(3) 韓国情報

・7月11～17日、韓国の西・南岸および東岸でも確認され、韓国東岸の海流に乗って日本海沖合へ分布を広げることが想定される。

・済州島の一部海域では大量出現（傘径20～60cm）が確認されている。

2. 今後の見通し

・大型クラゲは対馬周辺から山口県沖で高密度群が確認されています。分布の先端が隠岐海峡に達したことから、今後の情報に十分注意してください。



(隠岐海峡の位置は図示していません)

大型クラゲの目撃や入網等がありましたら、速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第4号

平成21年7月30日
石川県水産総合センター

大型クラゲの沿岸域への分布は島根半島に達した。大和堆でも分布が確認された。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 沖合底曳網の情報

・7月23・27日、大和堆（北緯39° 20′ 東経135° 10′ 付近）の底曳網で各1個体／統の入網。傘径は40cm。

(2) 県外の定置網・まき網等の情報

・7月23～24日、島根県益田市の定置網で20～100個体／統、島根半島で1～3個体／統の入網。傘径は30～50cm。

・7月25～27日、対馬の定置網で100～5000個体／統の入網。傘径は60～70cm主体であるが、80～90cmの大型個体も混じる。

・7月28日、隠岐島の定置網で200個体／統の入網。傘径50cm。

・7月20～26日、対馬東沖30海里のまき網で20～500個体／網の入網。傘径は30～50cm。

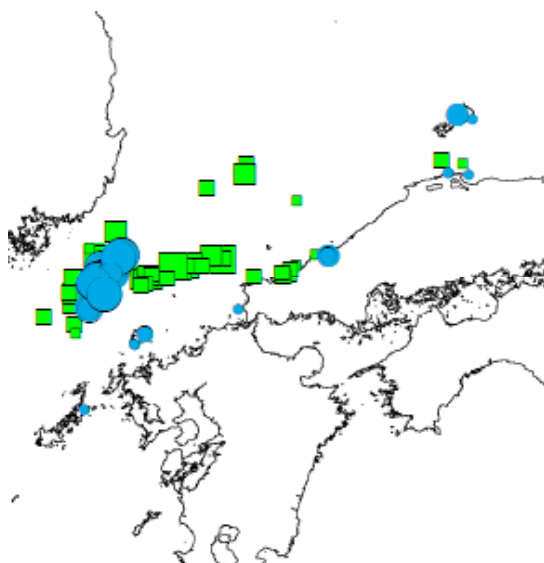
(3) 洋上目視情報

・7月22～23日、山口県須佐沖数海里で数個～数十個体を目視。傘径は50～100cm。

・7月25～27日、対馬周辺海域で高密度群を目視。傘径は30～70cm。

2. 今後の見通し

・大型クラゲの分布の中心は対馬～山口県沖ですが、その先端は序々に東方へ拡大し島根半島に達しており、早ければ8月上旬にも石川県の近海に達すると予想されます。今後の情報に十分注意してください。



個体数

底曳・調査船等

定置網等



1 - 9



1 - 9



10 - 99



10 - 99



100 - 499



100 - 499



500 - 999



500 - 999



1000 -



1000 -

7月15～28日の出現情報

大型クラゲの目撃や入網等がありましたら、速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第5号

平成21年8月6日
石川県水産総合センター

大型クラゲの分布の先端は京都府丹後半島北沖に達した。
日本海での分布の中心は対馬から隠岐諸島周辺にある。済州島西方及び東シナ海でも高密度の分布が確認された。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県外の定置網・まき網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
7/21	山口県青海島	定置網	100～200個体/統	20～50
7/27～8/3	長崎県壱岐島	定置網	10～20個体/統	20～50
7/29～31	島根県隠岐島	定置網	4～150個体/統	20～40
7/30～8/3	対馬周辺	定置網	100～500個体/統	50～80
7/27～30	隠岐島周辺	まき網	5～70ト/網	不明

(2) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備考
7/21	済州島～青島間	最高15個体/100m ²	10～50	調査船
7/22	対馬海峡 西水道	最高 1個体/100m ²	30～60	〃
〃	東水道	低密度であるが広範囲に分布	10～60	〃
7/22	東シナ海中央部	最高12個体 / 100m ²	20～50	〃
7/22	山口県青海島沖	最高0.3個体 / 100m ²	20～65	〃
8/1～3	丹後半島北4～10海里	7～30個体	30～50	㇏、籠漁船・調査船

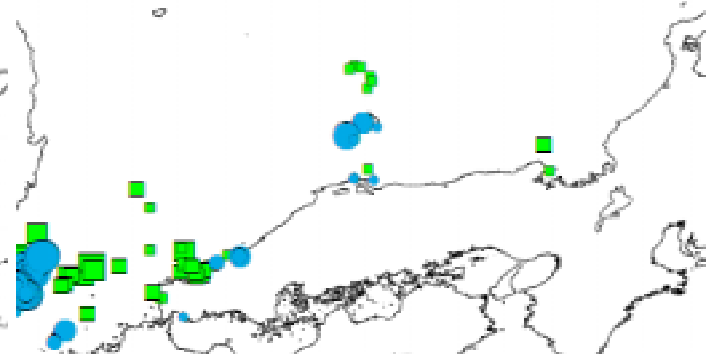
2. 今後の見通し

・大型クラゲの沿岸域の分布の中心は対馬から隠岐諸島周辺にあり、その先端は京都府丹後半島北沖に達し、8月上旬にも石川県の近海に達すると予想されます。十分注意してください。

凡例

底曳・調査船等 定置網等

■ 1-9	● 1-9
■ 10-99	● 10-99
■ 100-499	● 100-499
■ 500-999	● 500-999
■ 1000-	● 1000-



7/21～8/4
の出現情報

大型クラゲの目撃や入網等がありましたら、速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第6号

平成21年8月11日
石川県水産総合センター

- 8月9日、今年度初めて加賀市沿岸の刺し網で大型クラゲの入網があった。
- 県内のその他の海域からの入網情報はない。
- 日本海での分布の中心は引き続き対馬から隠岐諸島周辺にある。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内の漁具への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/9	加賀市5~6km沖	刺し網	2~3個体/統	約60
8/10	安宅~輪島	定置網	入網情報無し	

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/4	島根県隠岐諸島	定置網	350~500個体/統	40~60
8/5	京都府京丹後市~伊根町	定置網	1~3個体/統	約50
8/6~7	上対馬島	定置網	100~1700個体/統	50~100
8/5~7	兵庫県余部町付近	定置網	1~20個体/統	30~40
8/10	福井県高浜	定置網	1個体/統	50

(2) 洋上目視情報

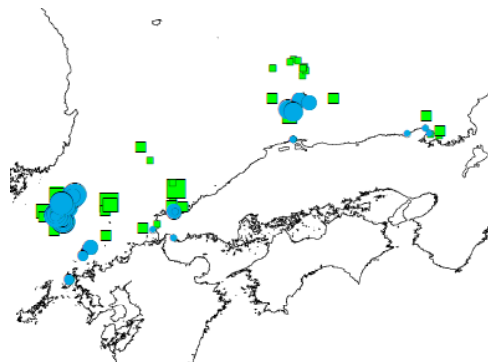
月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
8/6	若狭湾 舞鶴市北西8海里沖	18個体/3海里	30~50	調査船
8/3~7	加賀海域北西40海里及び輪島北沖30海里付近	目視なし		白山丸

2. 今後の見通し

・大型クラゲが加賀市沿岸に来遊しました。今後、分布の先端は本県沿岸沿いを北上移動するものと予想されます。十分注意してください。

凡例

底曳・調査船等	定置網等
■ 1 - 9	● 1 - 9
■ 10 - 99	● 10 - 99
■ 100 - 499	● 100 - 499
■ 500 - 999	● 500 - 999
■ 1000 -	● 1000 -



7/25~8/8の出現
情報

大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第7号

平成21年8月20日
石川県水産総合センター

大型クラゲの県内の分布海域は、加賀市沖から輪島市曾々木沖まで拡大した。京都府、福井県の定置網では、多いところで100～900個体/統の入網があり、増加傾向にある。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/14～19	加賀市沖	定置網	3～50個体/統	20～40
8/14	金沢市北沖3.5海里	アサギ釣り	1個体/隻 目視	40
8/15～16	小松市沖	定置網	1個体/統	60～70
8/17	美川～高浜沖	ごち網	1～17個体/網	30～70
8/17～19	輪島市門前町沖	定置網	1～2個体/統	30～40
8/18	志賀町西北西沖3海里	まき網	5個体/統	30
8/18	志賀町沖	定置網	3個体/統	40
8/18	輪島市沖	まき網	1個体/統	60
8/19	輪島市曾々木沖	定置網	1個体/統	30

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/6～13	山口県見島北沖	底曳網	10～60個体/統	30～100
8/11～17	京都府伊根町・舞鶴市沖	定置網	1～100個体/統	50
8/16～17	長崎県上対馬	定置網	50～100個体/統	50～100
8/17～19	福井県高浜町から福井市沖	定置網	1～900個体/統	30～70
8/13～18	兵庫県西部海域	定置網	50～700個体/統	30～60

(3) 洋上目視情報

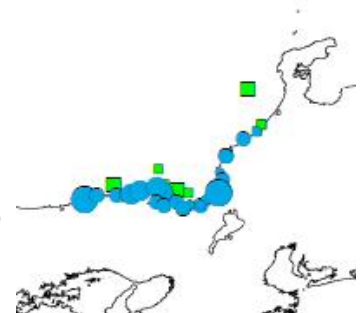
月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
8/8～12	兵庫県丹後半島北沖50海里	400個体/100m ²	50～100	調査船
8/15	隠岐諸島知夫里島南方沿岸	500～600個体/群	80	航空機
"	島根県松江市沖合	300～400個体/群	80	"

2. 今後の見通し

・兵庫県から福井県沖に至る定置網でまとまった入網があります。今後、これらの群は本県沿岸に来遊すると予想されますので、十分注意してください。

(右図 8/6～19 凡例は前回と同じ)

大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報提供をお願いします。





平成21年度 大型クラゲ情報 第8号

平成21年8月26日
石川県水産総合センター

大型クラゲの県内の分布は、外浦海域一帯で見られている。
内浦海域の飯田湾と七尾市沖でも各1個体が確認された。
島根県や福井県の定置網では、多いところで300個体/統の入網がある。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/20~22	加賀市沖	定置網	8~20個体/統	40~70
8/20~26	小松市沖	定置網	0~13個体/統	50~60
8/20~24	羽咋市沖	ごち網	1~24個体/網	40~50
8/20~26	輪島市門前町沖	定置網	0~5個体/統	40~50
8/20~25	輪島市曾々木沖	定置網	0~1個体/統	30~40
8/25	珠洲市飯田湾	-	1個体 目視	100
8/26	七尾市沖	定置網	1個体/統	30

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/17~23	山口県見島周辺海域	底曳網	10~200個体/統	25~70
8/18~20	島根県松江市沖	定置網	200~300個体/統	50~60
8/18~20	隠岐諸島南沖	まき網	50~700個体/統	30~60
8/21	大和堆海域	底曳網	4~5個体/網	30~100
8/22~24	福井県高浜町から福井市沖	定置網	15~300個体/統	30~50

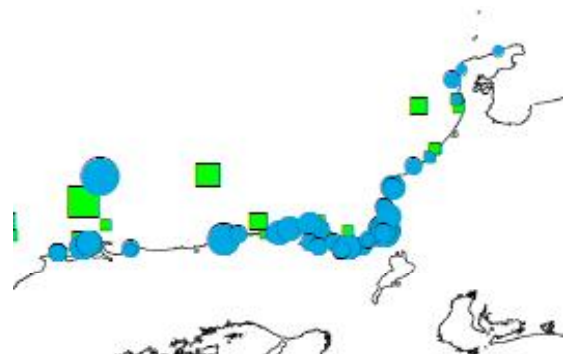
(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
8/18	対馬海峡西水道 韓国釜山沖	0.6個体/100m ²	20~40	7日-
"	対馬海峡東水道 対馬東沖	0.05個体/100m ²	50~100	"
8/19~23	隠岐諸島西沖50~70海里	1~54個体/群	20~100	調査船

2. 今後の見通し

石川県内に入網個体数は、現時点ではやや少ない状況にありますが、日本海西部海域ではまとまった入網があるので、十分注意してください。

(右図 8/11~24 凡例は前回と同じ)



大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第9号

平成21年9月1日
石川県水産総合センター

県内の大型クラゲの入網個体数は、外浦海域の定置網で最高200個体/統と、増加傾向にある。

京都府、福井県の定置網では、多いところで1800~3000個体/統と、入網個体数が急増した。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/27	羽咋市柴垣沖	ごち網	3~14個体/網	50~60
8/28	輪島市北沖	定置網	1~10個体/統	50~60
8/29	加賀市沖	定置網	60個体/統	40~60
8/29	小松市沖	定置網	200個体/統	50~60
8/28~31	輪島市曾々木沖	定置網	0~7個体/統	40
8/29~31	輪島市門前町沖	定置網	50~70個体/統	40~60

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
8/16~17	隠岐諸島 隠岐の島町沖	定置網	4000~5000個体/統	40
8/17~24	長崎県壱岐島周辺海域	定置網	50~700個体/統	20~70
8/24~28	京都府伊根町から舞鶴市沖	定置網	10~1800個体/統	50
8/27~28	福井県福井市から越前町沖	定置網	2000~3000個体/統	40~50
"	福井県美浜町から高浜町沖	定置網	11~38個体/統	40~50
8/28	新潟県佐渡島高千沖	定置網	500個体/統	50~60

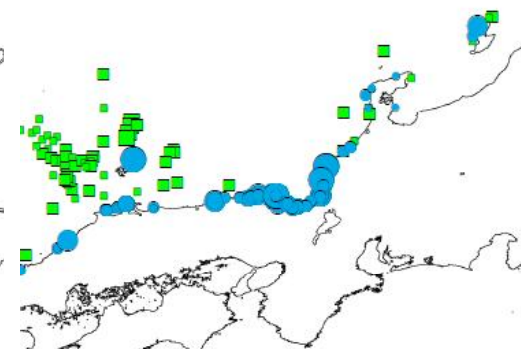
(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
8/26	舳倉島・七ツ島周辺	3~10個体/海里	50~80	舳倉航路

2. 今後の見通し

京都府、福井県沖で入網個体数が急増しており、石川県の外浦海域でも増加傾向にあります。十分な注意をしてください。

個体数



(8/16~29状況)

大型クラゲの目撃や入網等の速やかな情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第10号

平成21年9月4日
石川県水産総合センター

県内の大型クラゲの入網個体数は、外浦海域（加賀～門前）の定置網の多いところで1000個体以上/統と急増した。

加賀海域の底曳網漁場では、タイ場（浅場）で多く、揚網できない場合もある。エビ場（深場）では2～6個体/網（対策網使用）の入網。

京都府、福井県沖の定置網では、多いところで2000～8000個体/統の入網が継続している。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
9/1～2	加賀市沖	ごち網	20～60個体/網	50～60
9/1～2	加賀市～羽咋市沖	定置網	800～6500個体前後/統	40～70
9/2～3	輪島市門前町沖	定置網	1500～2500個体/統	40～60
9/3	加賀海域タイ場（水深100m前後）	底曳網	40個体/網	30～50
9/3	加賀海域エビ場（水深400m前後）	底曳網	2～6個体/統	大小混じり
9/2	祿剛崎沖東から南東5～15海里	底曳網	0～4個体/網	30～40
9/1～2	七尾市沖	定置網	1個体/統	40～70

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
8/29	隠岐諸島 隠岐諸島沖	定置網	200個体/統	40
9/2	京都府伊根町から舞鶴市沖	定置網	50～2000個体/統	50
9/2	福井県福井市～高浜町沖一帯	定置網	40～8000個体/統	30～60
8/30	新潟県佐渡市高千沖	定置網	500個体/統	50～60

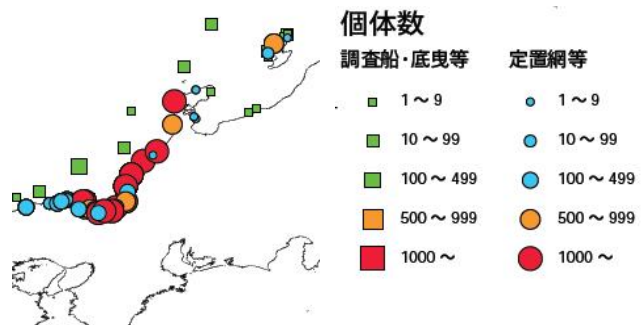
(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
9/2	祿剛崎北沖3海里	3個体	30～50	取締船

2. 今後の見通し

京都府、福井県で大量入網が続いており、石川県の外浦海域沿岸で急増しています。十分な大型クラゲ対策を行ってください。

(右図 8/21～9/3状況)



大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第11号

平成21年9月10日
石川県水産総合センター

県内の大型クラゲは、外浦海域（加賀～門前）の定置網の多いところで1000個体／統の入網が継続している。

祿剛崎沖の底曳網漁場や七尾市沖の定置網で入網がみられるようになった。
京都府、福井県沖の定置網では、2000個体／統の入網が継続している。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
9/4～6	金沢港北西沖30～40海里	底曳網	4～5個体／網(対策網)	30～50
9/6～9	加賀市沖	底曳網	0～50個体／網	30～50
9/6～9	祿剛崎北から南東沖6～15海里	底曳網	0～14個体／網	30～50
9/7～9	加賀市～羽咋市沖	ごち網	30～100個体／網	50～60
9/7～10	加賀市沖	定置網	30～1200個体／統(対策網)	40～70
9/7～10	輪島市沖	定置網	5～250個体／統	50～70
9/7～10	輪島市門前町～大沢沖	定置網	50～1500個体／統(対策網)	40～70
9/7～10	珠洲市飯田湾	定置網	5～35個体／統	30～80
9/7～10	輪島市町野町沖	定置網	3～20個体／統	60
9/7～10	七尾市沖	定置網	0～1個体／統	40～70

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
9/7	京都府京丹後市から舞鶴市沖	定置網	30～2000個体／統	50
9/7～9	福井県福井市～南越前町沖	定置網	80～2000個体／統	50～60
9/7	富山県朝日町沖	定置網	3個体／統	50～60
9/8	島根県松江市沖	定置網	100～500個体／統	40～50

(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
9/9	祿剛崎東から北東沖3～15海里	1～12個体の群	40～50	調査船他
"	能登町赤崎沖2海里	2個体	30～40	取締船

2. 今後の見通し

京都府、福井県、石川県の外浦海域沿岸でまとまった入網が続いています。内浦海域への来遊の兆しもみられることから、十分な大型クラゲ対策を行ってください。

(8/26～9/9の状況)

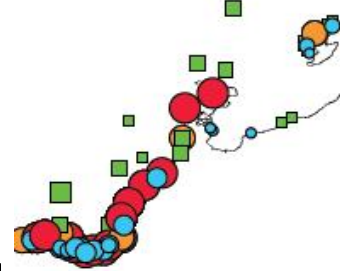
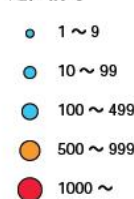
大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。

個体数

調査船・底曳等



定置網等





平成21年度 大型クラゲ情報 第12号

平成21年9月17日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内では外浦海域の定置網の多いところで400～500個体/統の入網が継続、内浦海域でも100個体/統の入網がみられるようになった。

底曳網では3～50個体/統の入網がみられる。

福井県福井市～越前町沖の定置網では、急増して10,000個体/統以上の入網となった。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
9/11	加賀市から金沢市沖	底曳網	4～50個体/網(対策網)	70～100
9/14～16	祿剛崎南東～北東沖6～15海里	底曳網	3～10個体/網	30～70
9/14～16	加賀市～羽咋市沖	ごち網	5～50個体/網	50～60
9/14～17	加賀市沖	定置網	2～400個体/統(対策網)	50～70
9/15～16	小松市沖	定置網	7～50個体/統	20～60
9/14～16	輪島市門前町	定置網	3～500個体/統(対策網)	40～70
9/14～16	輪島市町野町沖	定置網	30～100個体/統	30～60
9/16～17	能登町沖	定置網	20～100個体/統	50
9/14～16	七尾市沖	定置網	1～70個体/統	30～70

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
9/8～14	京都府京丹後市から伊根町沖	定置網	10～5000個体/統	50
9/11～14	京都府舞鶴市沖	定置網	50～300個体/統	50
9/14～15	富山県入善町沖	定置網	400～500個体/統	30～50
9/17	福井県福井市～越前町沖	定置網	1000～30,000個体/統	50～60
9/17	福井県小浜市～高浜町沖	定置網	200～300個体/統	50～60

(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
9/9～16	大和堆周辺	2～多数群	100	白山丸
9/15	長手崎～小木の離岸3海里付近	2～18個体/海里	40～70	取締船
9/10～11	福井県敦賀市～越前市沖	0～80個体/10分 間曳網	40～70	曳網調査

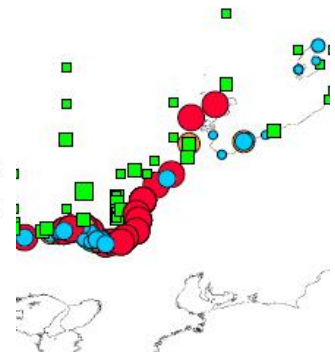
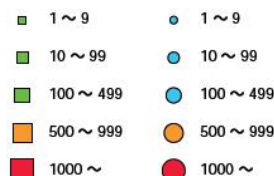
2. 今後の見通し

福井県の定置網で大量に入網しており、石川県への来遊が予想されます。引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。

(9/3～9/16の分布状況)

個体数

調査船・底曳網 定置網等



大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第13号

平成21年9月25日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内の外浦海域の定置網で、入網の多いところで1000~4,000個体/統と増加した。

内浦海域の定置網では100~400個体/統の入網が続いている。

底曳網では3~35個体/網の入網が続いている。

福井県福井市~越前町沖の定置網では、10,000個体以上/統の入網が続いている。

傘径80~100cmの大型個体が混じるようになった。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
9/18	加賀市沖	ごち網	5~30個体/網	50~60
9/23	加賀市沖	定置網	2,000個体/統(対策網)	50~70
9/23~25	小松市沖	定置網	10~1,000個体/統	30~60
9/23~25	輪島市北沖40海里	底曳網	2~7個体/網(対策網)	30~70
9/20~24	祿剛崎南東~北東沖5~13海里	底曳網	3~35個体/網	30~100
9/22~25	輪島市町野町沖	定置網	5~35個体/統(対策網)	20~50
9/20~24	珠洲市内浦海域	定置網	160~400個体/統	50~80
9/22~25	輪島市門前町沖	定置網	300~4,000個体/統(対策網)	40~70
9/21~25	七尾市沖	定置網	6~100個体/統	30~70
9/24~25	能登町沖	定置網	3~100個体/統	30~50

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
9/17~18	島根県隠岐諸島沖	定置網	1,000個体/統以上	100前後
9/25	福井県福井市~越前町沖	定置網	1,000~20,000個体/統	50~100
9/25	福井県小浜市~高浜町沖	定置網	300個体/統	30~50

(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径 cm	備 考
9/24	長手崎~祿剛崎の距2海里付近	5~11個体/海里	20~80	取締船

2. 今後の見通し

福井県の定置網で大量入網が続いており、今後、県内でもまとまった入網が予想されます。引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。

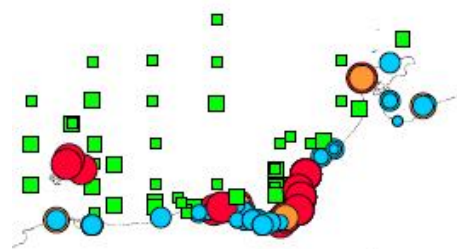
個体数

調査船・底曳等

- 1~9
- 10~99
- 100~499
- 500~999
- 1000~

定置網等

- 1~9
- 10~99
- 100~499
- 500~999
- 1000~



(9/11~9/24の分布状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第14号

平成21年10月7日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内の外浦海域の定置網では10～数千個体/統の入網があり、加賀海域で多い傾向にある。

内浦海域の多いところでは200～1000個体/統の入網がある。

底曳網では1～50個体/網の入網がある。

京都府から福井県沖の定置網では海域差がみられ、多いところでは1,000個体以上/統の入網が続いている。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業への入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
10/1～5	加賀市沖(水深100～200m)	底曳網	5～50個体/網	40～100
10/1～5	祿剛崎南東沖10～18海里	底曳網	1～9個体/網	20～80
10/1～5	加賀市～羽咋市沖	ごち網	1～100個体/網	60～100
10/1～3	加賀市沖	定置網	2,500～8,000個体/統	40～90
10/1～6	小松市沖	定置網	150～1,000個体/統	30～70
10/1～6	輪島市沖	定置網	10～500個体/統	30～80
10/6	珠洲市～能登町の内浦海域沿岸	定置網	200～1,000個体/統	50～60
10/1～3	七尾市沖	定置網	2～30個体/統	30～80

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
9/27～28	京都府京丹後市沖	定置網	400～2,000個体/統	50～100
9/27～28	京都府舞鶴市沖	定置網	50～300個体/統	50
9/29	福井県嶺南地域沖	定置網	20～600個体/統	40～80
10/1～2	富山県朝日町沖	定置網	200個体/統	30～60
10/3～5	福井県嶺北地域沖	定置網	800～7,000個体/統	50～80

(3) 洋上目視情報

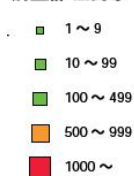
月/日	海 域	目視個体数	傘径cm	備考
9/29～30	祿剛崎北西70～100海里	4～6個体/15分間停船中	50～100	白山丸
9/29～30	能登半島～佐渡島間海域	1～5個体/15分間停船中	50前後	調査船

2. 今後の見通し

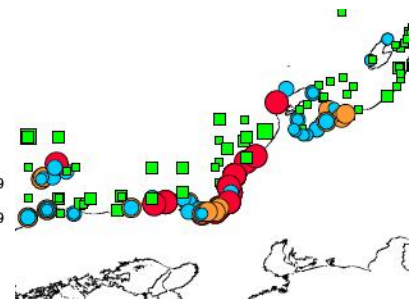
大型クラゲは、今後、日本海西部海域からの来遊に加え、台風18号の通過後には沖合からの接岸が予想されます。引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。

個体数

調査船・底曳等



定置網等



(9/20～10/6の分布状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第15号

平成21年10月20日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内の外浦海域の定置網では1,000個体以上/統の入網、内浦海域の定置網では5~200個体/統の入網が続いている。

底曳網では1~50個体/網の入網がある。

傘径100cm前後の大型個体が混じるようになった。

福井県沖の定置網では50~3,000個体/統の入網が続いている。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
10/14~15	祿剛崎北東沖17~21海里	底曳網	1~28個体/網	20~100
10/15~16	輪島市北沖40海里	底曳網	3~7個体/網	50~100
10/19	加賀市沖(水深100~200m)	底曳網	5~50個体/網	40~100
10/15~16	加賀市~白山市沖	ごち網	5~200個体/網	50~70
10/16~17	輪島市沖	定置網	2,000~4,000個体/統	40~80
10/16~18	七尾市沖	定置網	5~20個体/統	30~100
10/19	加賀市沖	定置網	2,800個体/統	40~90
10/19	珠洲市~能登町の内浦海域沿岸	定置網	100~200個体/統	50~60

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
10/15~16	福井県南越前町沖	定置網	100~3,000個体/統	80~100
10/15~16	福井県美浜から小浜市沖	定置網	50~2,500個体/統	80~100
10/16	富山県朝日町沖	定置網	300個体/統	30~60
10/16~17	鳥取県沖	まき網	0~30ト/網	

(3) 洋上目視情報

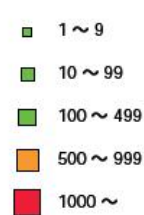
月/日	海 域	目視個体数	傘径cm	備考
10/15	越前岬西沖15海里	4個体/海里	-	調査船
10/14~15	猿山岬北北西沖50海里	1~10個体/海里	-	調査船

2. 今後の見通し

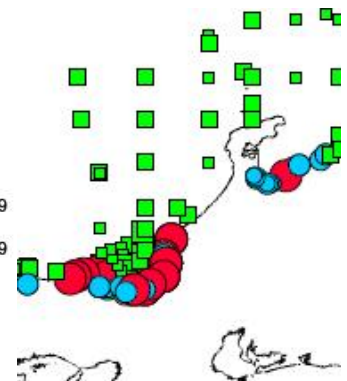
大型クラゲは、日本海西部海域のまき網や定置網で大量入網が続いている外、沖合でも高密度海域が確認されており、今後も石川県への来遊が予想されます。引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。

個体数

調査船・底曳網等



定置網等



(10/6~10/19の分布状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第16号

平成21年10月28日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内の外浦海域の定置網では日変動があるものの、多いところでは1,000個体以上/統の入網がある。

内浦海域の定置網では3~200個体/統の入網が続いている。

底曳網では7~200個体/網の入網がある。

福井県沖の定置網では20~5,000個体/統の入網がある。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
10/22	輪島市北沖43海里	底曳網	7個体/網	30~40
10/22~24	加賀市沖(ニギス場水深140m)	底曳網	100~200個体/網	40~80
10/23~26	祿剛崎北東沖13~17海里	底曳網	11~50個体/網	30~100
10/23~26	加賀市~白山市沖	ごち網	10~100個体/網	50~70
10/23	珠洲市沖	定置網	200個体/統	30~50
10/25~26	加賀市沖	定置網	150~1,500個体/統	40~50
10/25~27	輪島市沖	定置網	10~500個体/統	40~90
10/26~27	輪島市門前町沖	定置網	1,000~5,000個体/統	30~50
10/26~27	七尾市沖	定置網	3~100個体/統	30~100

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
10/22	兵庫県沖	定置網	250~300個体/統	30~60
10/23	福井県南越前町~美浜町沖	定置網	400~5,000個体/統	50~100
10/23	福井県若狭町から小浜市沖	定置網	20~300個体/統	80~100
10/23	富山県沖	定置網	1~100個体/統	30~60

(3) 洋上目視情報

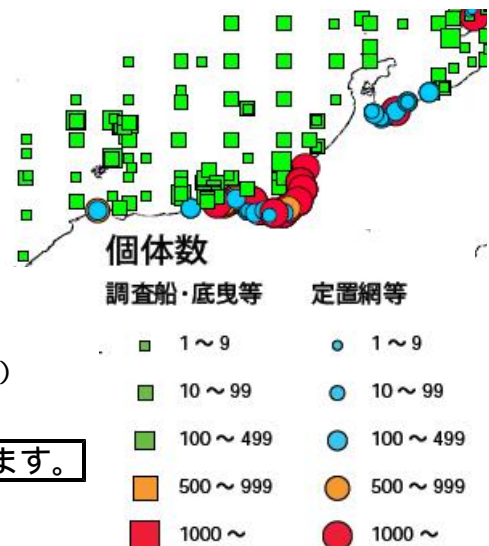
日本海の沖合域では、能登半島西方及び隠岐諸島周辺に高密度海域が確認された。(調査船)

2. 今後の見通し

大型クラゲは、入網個体数に日変動があるものの、福井県沿岸や能登半島西方沖合で高密度の分布域が確認されており、今後も石川県への来遊が予想されます。

引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。

(10/13~10/26の分布状況)



大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第17号

平成21年11月5日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内の定置網では10～1,000個体/統の入網がある。

底曳網では3～30個体/網の入網がある。

福井県沖の定置網では150～20,000個体/統の入網が続いている。

能登半島の猿山岬から祿剛埼北西に至る沖合海域で高密度の分布が確認されている。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
10/29～30	猿山岬北西沖30海里	底曳網	3～10個体/網	30～100
10/30	祿剛埼南東沖15海里	底曳網	30個体/網	30～100
10/28～30	珠洲市沖	定置網	10～150個体/統	80
10/28～31	加賀市沖	定置網	10～150個体/統	40～50
10/28	輪島市沖	定置網	50個体/統	30～50
10/28～30	輪島市門前町沖	定置網	500～1,000個体/統	30～60
11/1～3	七尾市沖	定置網	20～1,000個体/統	30～100

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

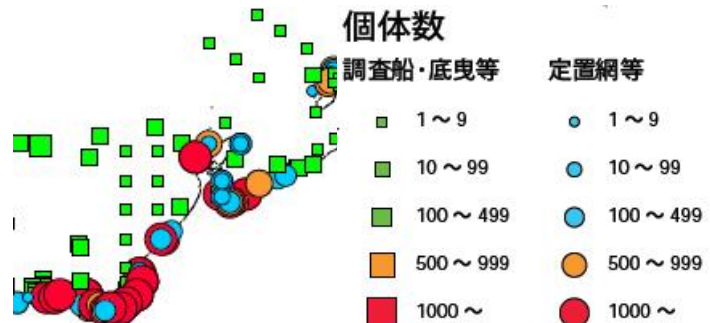
月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
10/29～30	富山県朝日町沖	定置網	20～800個体/統	30～60
10/29～30	富山県高岡市沖	定置網	5～100個体/統	
10/30	福井県越前町～南越前町沖	定置網	200～2,000個体/統	80～100
10/30	福井県美浜町～高浜町沖	定置網	150～20,000個体/統	80～100

(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径cm	備考
10/28	福井県若狭湾沖合	1～15個体/停船20分間	50～80	調査船
10/28～29	能登半島北西沖10～30海里	10～20個体/停船20分間	70～100	白山丸

2. 今後の見通し

大型クラゲは、県内や福井県の定置網の多いところで1,000個体/統以上の入網があります。また、能登半島北西の沖合海域にも高密度の分布が確認されており、今後も石川県への来遊が予想されます。



引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。

(10/20～11/2の分布状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第18号

平成21年11月13日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、県内の定置網では内浦・外浦海域ともに50～1,000個体/統の入網がある。

底曳網では20～50個体/網の入網がある。

京都府から福井県沖の定置網では、多いところで1,500～30,000個体/統の入網が続いている。

内浦海域の長手埼から祿剛埼沖、能登島から灘浦沖で高密度の分布が確認された。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
11/6～9	小松市沖	刺し網	10～300個体/網	60～100
11/6～9	加賀市沖	ごち網	10～100個体/網	60～100
11/8～10	加賀市沖(水深300～400m)	底曳網	40～50個体/網(対策網)	40～100
11/8～9	祿剛埼北及び北東沖20海里	底曳網	20～30個体/網	30～100
11/7～13	輪島市門前町沖(対策網)	定置網	50～1,000個体/統	30～60
11/8～9	珠洲市沖	定置網	100～150個体/統	80
11/9～10	七尾市沖	定置網	100～800個体/統	30～100

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
11/5～6	富山県沖	定置網	1～300個体/統	30～100
11/7～10	京都府京丹後市～舞鶴市沖	定置網	80～1,500個体/統	50～100
11/8～12	福井県越前町～南越前町沖	定置網	300～30,000個体/統	30～80
11/8～12	福井県美浜町～若狭町沖	定置網	100～3,000個体/統	80～100

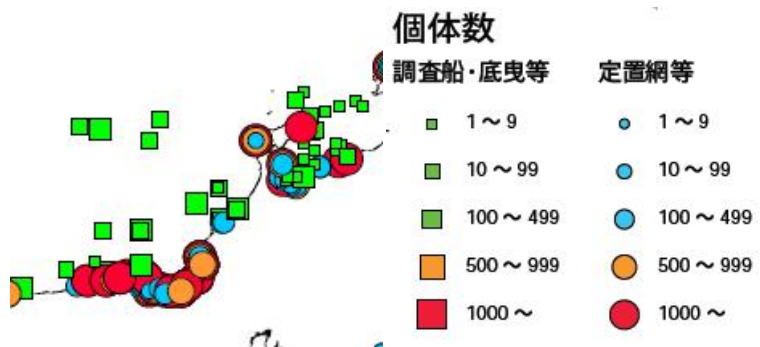
(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径cm	備考
11/5～6	長手埼～祿剛埼東沖5海里	17～25個体/停船20分間	50～70	調査船
11/9	能登島～灘浦沖	2～9個体/停船5分間	50～100	調査船
11/9	富山県魚津市北西沖2海里	163個体/海里	50～70	調査船

2. 今後の見通し

大型クラゲは、京都府、福井県で大量入網が続いており、今後も県内の外浦海域への接岸や内浦海域への流入が予想されます。

十分な大型クラゲ対策を行ってください。



(10/30～11/12の分布状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第19号

平成21年11月20日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、内浦海域の定置網では10～1,000個体/統の入網がある。
外浦海域の定置網はほぼ操業を切り上げた。

底曳網では加賀海域で多く、50～100個体/網の入網がある。

京都府から福井県沖の定置網では、多いところで1,000～3,000個体/統の入網が続いている。

対馬海峡の分布密度は上対馬北沖を除いて、低下傾向にある。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
11/13	小松市沖	刺し網	80～100個体/網	70～120
11/13	加賀市沖	ごち網	30～100個体/網	40～60
11/13	加賀市沖(水深300～380m)	底曳網	50～100個体/網	40～100
11/19	祿剛埼北北東沖19海里	底曳網	15個体/網	50～100
11/16～18	珠洲市沖	定置網	500～1000個体/統	100
11/16～18	七尾市沖	定置網	10～70個体/統	30～100

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

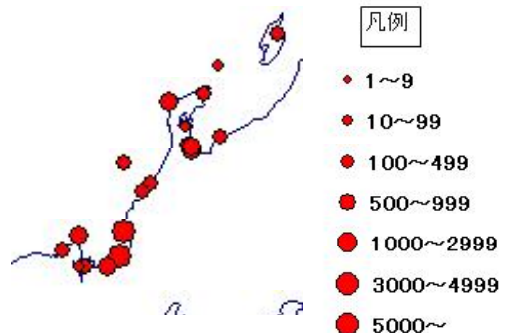
月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
11/10～13	富山県沖	定置網	1～3,000個体/統	30～100
11/15	京都府伊根町沖	定置網	2,500個体/統	50～100
11/15～17	京都府京丹後市～舞鶴市沖	定置網	10～1,000個体/統	50～100
11/17～18	福井県越前町～南越前町沖	定置網	2,000～3,000個体/統	30～80
11/17～18	福井県若狭町～小浜市沖	定置網	50～10,000個体/統	80～100

(3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径cm	備考
11/5～6	上対馬北沖	0.2～0.3個体/100m ²	-	調査船
11/10	釜山～対馬海域	0.016個体/100m ²	20～80	フェリー

2. 今後の見通し

大型クラゲは、京都府、福井県で大量入網が続いていることから、今後も県内沿岸への来遊が予想されます。また、富山湾内の滞留も想定されますので引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。



(11/10～11/18の本県周辺海域の入網状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。



平成21年度 大型クラゲ情報 第20号

平成21年12月4日
石川県水産総合センター

大型クラゲは、内浦海域の定置網では10～300個体/統の入網がある。
底曳網では、加賀沖・金沢沖・祿剛埼沖ともに、20～100個体/網の入網がある。
兵庫県・福井県沖の定置網では、多いところで1,100～15,000個体/統の入網が続いている。

祿剛埼沖で濃密群を確認した。

1. 大型クラゲの出現状況

(1) 県内漁業の入網情報

月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径 cm
11/25～30	加賀市沖	ごち網	10～30個体/網	60～100
11/26～12/2	小松市沖	刺し網	100～500個体/隻	30～100
11/25～30	加賀市沖(水深300～380m)	底曳網	30～100個体/網	40～100
11/26	金沢市北西30海里付近はどこでも	底曳網	30～40個体/網	-
11/27～12/2	祿剛埼北北東沖10～26海里	底曳網	20～80個体/網	30～100
11/25～12/2	珠洲市沖	定置網	10～300個体/統	100
11/25～30	七尾市沖	定置網	10～100個体/統	30～100

(2) 県外の定置網・底曳網の入網情報

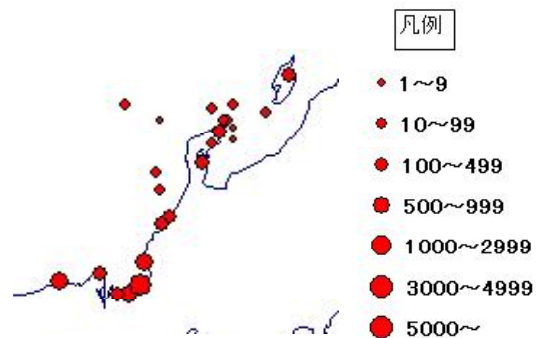
月/日	海 域	漁業種類	入網個体数	傘径cm
11/21～27	富山県	定置網	1～2,000個体/統	-
11/22～26	兵庫県沖	定置網	700～1,100個体/統	70～100
11/30～12/1	福井県越前町～南越前町沖	定置網	300～3,000個体/統	80～100
11/30～12/1	福井県若狭町～小浜市沖	定置網	50～15,000個体/統	80～100

3) 洋上目視情報

月/日	海 域	目視個体数	傘径cm	備考
12/2	祿剛埼沖	帯状に多数	50～100	調査船
12/2	祿剛埼～佐渡島間	1～12個体/15分停船中	50～70	調査船

2. 今後の見通し

大型クラゲは、内浦海域の定置網で入網個体数が一時よりやや減少していますが、兵庫県・福井県沖では1,000個体以上/統の入網が続いており、今後も県内沿岸への来遊が予想されます。また、祿剛埼沖では濃密群が確認されていることから、引き続き十分な大型クラゲ対策を行ってください。



(11/25～12/2の本県周辺海域での入網状況)

大型クラゲの目撃や入網等の情報提供をお願いします。